NEC

普通紙パーソナルファクシミリ

技術基準適合認定品

スピークス

SP-DA120/SP-DA120W
SP-DA220/SP-DA220W

(エス ピー ディー エー / エス ピー ディー エー ダブル)

取扱説明書

保証書付

使用シーンにより受信スタイルを選べる
（SP-DA220/SP-DA220W のみ）

●スマート受信スタイル・・・・P.23

通話をさかのぼって録音できる
（SP-DA220/SP-DA220W のみ）

●さかのぼり録音・・・・・・・P.44

ボタンひとつで迷惑電話お断り

●迷惑電話お断り・・・・・・・P.46

ベルを鳴らさず留守録・受信

●おやすみモード・・・・・・・P.62

小さなお子様のいたずら防止

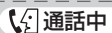
●チャイルドロック・・・・・・P.75

ナンバー・ディスプレイ（P.63）
キャッチホン（P.70）
モデムダイヤルイン（P.72）

注意
- 本機をご使用の前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。
- 保証書は裏表紙にあります。

準備
かんたんに使う
べんりに使う
さらに使いやすくする
こんなときは

はじめに

このたびは、コードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークスSP-DA120/DA120W」「スピークスSP-DA220/DA220W」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

型名	器機構成	増設できる子機の台数
SP-DA120/SP-DA220	親機（本機）と子機 1 台	最大 2 台
SP-DA120W/SP-DA220W	親機（本機）と子機 2 台	最大 1 台

本書では SP-DA120/SP-DA220 に子機を増設した場合を中心に説明しています。SP-DA120W/SP-DA220W で異なる項目については、「※ SP-DA120W/SP-DA220W では・・・」と記載しています。

本書の見かた

本書の構成	ページ	記述内容
準備	P.8 ～ 25	本機を使うための準備（組み立てや接続）、覚えておきたい操作の基本などを説明しています。本機をお使いになる前に一通り目を通しておいてください。
かんたんに使う	P.26 ～ 35	電話、ファクス、コピー、留守番電話をできるだけ簡単に使う方法を説明しています。本機をすぐにお使いになりたいときに、お読みください。
べんりに使う	P.36 ～ 73	電話、ファクス、コピー、留守番電話の便利な機能を説明しています。さまざまな機能を使ってより便利にお使いになりたいときに、お読みください。
さらに使いやすくする	P.74 ～ 78	画面表示の調整やベル音の調整など、お好みに応じて本機をさらに使いやすくする方法を説明しています。
こんなときは	P.79 ～ 101	困ったときの対処方法、本機のお手入れの方法、修理のご依頼や増設について説明しています。

■本書の表記

待受中	電話やファクスの着信を待っている状態（通話も送信／受信もしていない状態）です。 本書で説明している操作はほとんどの場合「待受中」に行います。**特に断りのない場合は待受中に操作してください。**着信中、通話中に行う操作は見出しに次のイラストで示しています。
着信中　着信中	着信を受けてベルが鳴っている状態です。
通話中　通話中	電話をかけたり受けたりして、相手と通話をしている状態です。
親機　子機	親機と子機の操作が異なる場合は、左のマークで示しています。
DA120/120Wのみ　DA220/220Wのみ	SP-DA120/120W または SP-DA220/220W のみでご利用になれる機能であることを示しています。
ボタン名称	本機の本体にボタン名が印字されているボタンは、そのボタン名を示しています。詳細は「ボタンの名称と機能概要」（P.10、P.12）をご覧ください。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、停電、あるいは天災等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機を廃棄・譲渡するときは、お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去してください。「本機の登録／設定を出荷時に戻したいとき」（P.95）
- 子機には防水機能がありませんので、ぬれた手で子機を操作したり、水をかけたりしないでください。水ぬれによる故障は保証対象外です。修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い
本機のご使用にあたって、NTT 東日本または NTT 西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT 東日本またはNTT 西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は不要**となります。詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）**へお問い合わせください。

安全にお使いいただくために　～必ずお読みください～

本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠危険　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

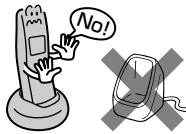
絵表示の例

（高温注意）：△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

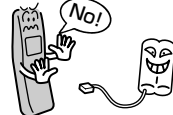
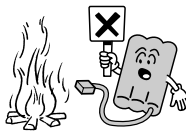
（分解禁止）：⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

（電源プラグをコンセントから抜け）：●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠危険

充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。

電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

⚠危険

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

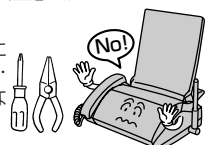
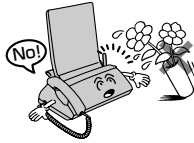
⚠警告

次のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態があるとき
- 本機を落としたり、破損したとき
- 内部に水が入ったとき

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。

⚠警告

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

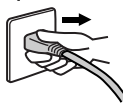
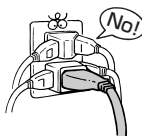
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
・接地工事（第 D 種）が行われている接地端子
次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
・ガス管・電話専用アース線・避雷針
・水道管や蛇口

ＡＣ 100 Ｖの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

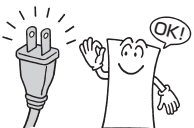
電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
・使用を制限された場所では使用しないでください。
例：医療用電子機器の近くなど

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。
修理は販売店にご相談ください。

子機をねじったり、重いものを載せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

ペットの糞尿がかからないようにしてください。発煙や発火の原因となることがあります。

⚠注意

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

インクフィルム交換などで操作パネルを開けるときは金属部品の角や歯車部品には、触らないように注意してください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開け閉めするときは、指はさみ、指のけがにご注意ください。

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本機の上に重いものを載せないでください。本機の破損、故障の原因となります。

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。本機の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

記録紙は、青焼紙と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をおすすめします。

インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。

インクフィルムは、開封した状態で放置しないでください。

ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

⚠注意

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

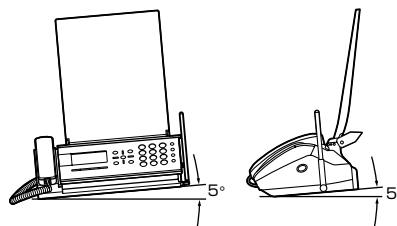
冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、写らない部分が発生する原因となります。

極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。

以下のようなところには置かないでください。
・クーラー、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
・ほこりや振動が多い場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

本機の設置場所によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える

本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水滴がついた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
・受話口や送話口の穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
・子機に水滴がついたまま、充電器に戻さないでください。

本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

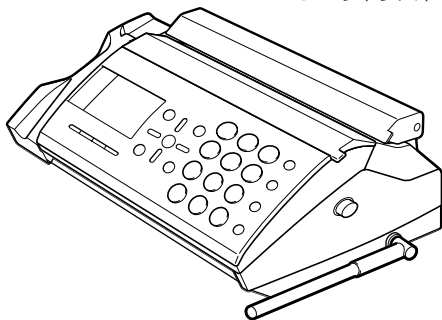
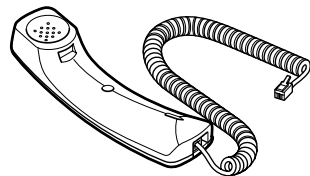
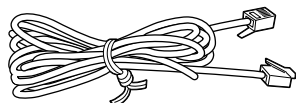
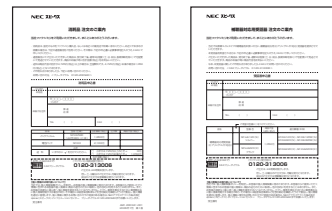
目　次

さらに使いやすくする

こんなときは

準　備

本体と付属品の確認

付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください（P.94）。

※記録紙は添付されておりません。別途ご用意ください。「おすすめする記録紙」（P.23）

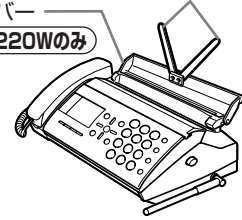
各部の名称とはたらき

親機

■正面・右側面

記録紙サポーター
DA220/220Wのみ
記録紙のセット方法は、記録紙カセットまたは記録紙サポーターを使用する場合の2通りがあります。
利用シーンによって、どちらかを選んでご使用ください。

記録紙
挿入口カバー
DA220/220Wのみ

記録紙サポーター

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

記録紙カバー

記録紙排出口

ディスプレイ
「ディスプレイの見かた」(P.13)

原稿挿入口カバー
原稿をセットするときをのぞいて閉じておいてください。

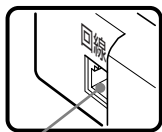
受話器
（誘導コイルタイプの補聴器がご使用になれる、ヒヤリングエイド対応受話器もご用意しています。
別紙「補聴器対応用受話器　注文のご案内」）

アンテナ

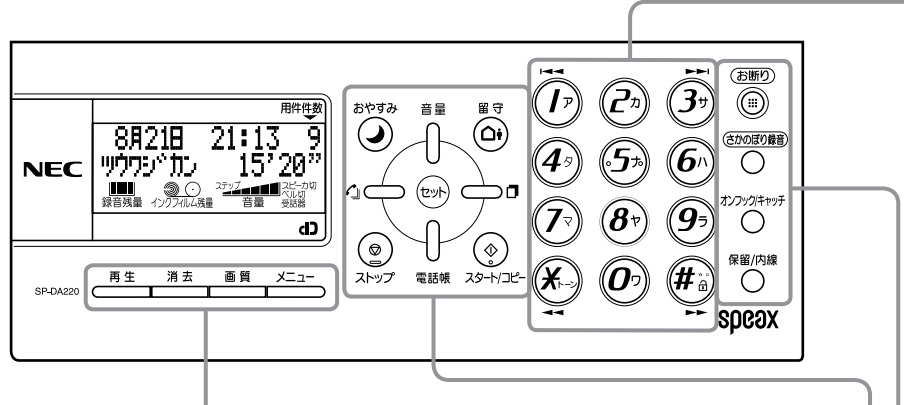
原稿排出口

操作パネル

操作パネル開ボタン
操作パネルを開けるときに押します。

■背面・左側面

※ 本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるもので、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

ボタンの名称と機能概要

本書では操作パネルのボタンの名称を次のように表記しています。本機にボタン名が印字されているものはそのボタン名がわかるようにしています。なお、「かんたんに使う」編ではボタン名とともにボタンの形状も記しています。

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
再生	再生	［**再生**］	録音された用件の再生 （➔P.32）
消去	消去	［**消去**］	用件の消去、入力文字の消去 （➔P.32、104）
画質	画質	［**画質**］	画質モードの変更 （➔P.51）
メニュー	メニュー	［**メニュー**］	メニューの選択 （➔P.11）

ボタン		本書の表記		機能概要
		かんたんに使う	べんりに使う	
おやすみ		［**おやすみ**］	［**おやすみ**］	おやすみモードの設定／解除 （➔P.62）
留守		［**留守**］	［**留守**］	留守設定／解除 （➔P.30、31）
ストップ		［**ストップ**］	［**ストップ**］	ファクスの送信やコピーをやめる （➔P.29） 登録や設定を途中でやめる （➔P.11）
スタート/コピー		［**スタート／コピー**］	［**スタート／コピー**］	ファクスの送信／コピーの開始 （➔P.29） ファクスの手動受信 （➔P.50）
左、（着信データ） 上、音量 下、電話帳 右、（リダイヤル） 同じボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。	セット	セット	［**セット**］	入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
	上下左右	［**上**］／［**下**］／［**左**］／［**右**］		電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動
	音量	［**音量**］		ベル音／受話音／スピーカ音の調整（➔P.48）
	電話帳	［**電話帳**］		電話帳を表示させる （➔P.41）
	（着信データ）	［**左**］（着信データ）		着信データを表示させる （➔P.67）
	（リダイヤル）	［**右**］（リダイヤル）		リダイヤルデータを表示させる （➔P.36）

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
1〜9、0、#	1〜9、0、#	[1]〜[9]、[0]、[#]	番号の指定、項目の選択
	ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」		電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
*	*	[*]	再生位置の操作（約15秒前にスキップ）（P.33）DA220/220Wのみ
			トーン信号を送る（P.49）
#	#	[#]	再生位置の操作（約30秒先にスキップ）（P.33）DA220/220Wのみ
			チャイルドロックの一時解除（P.76）
1	1	[1]	再生位置の操作（先頭、前の用件）（P.33）
3	3	[3]	再生位置の操作（次の用件）（P.33）

ボタン	本書の表記		機能概要
	かんたんに使う	べんりに使う	
お断り	[**お断り**]	[**お断り**]	お断りメッセージで応答する（P.46）
さかのぼり録音 DA220/220Wのみ	[**さかのぼり録音**]	[**さかのぼり録音**]	通話録音を保存する（P.44、45）
			電話番号にポーズ（—）を入れる
通話録音 DA120/120Wのみ	[**通話録音**]	[**通話録音**]	通話を録音する（P.45）
			電話番号にポーズ（—）を入れる
オンフック/キャッチ	[**オンフック／キャッチ**]	[**オンフック／キャッチ**]	受話器を持たずに電話をかける（P.37）
			キャッチホンを受ける（P.70）
保留/内線	[**保留／内線**]	[**保留／内線**]	通話を保留にする（P.41）
			内線電話をかける（P.43）

■メニューの使いかた

あらかじめ設定しておく必要のある本機の動作モードや詳細な機能の調整などは、メニューを使って操作します。

- メニューを使うときは、待受中（ファクスの送信／受信をしていないとき）や受話器による通話中にメニューを押します。
- 7種類のメインメニューがあり、ダイヤルボタンの1〜7で選べます。「機能設定／登録早見表」（P.100）
- メインメニューの下位にはいくつかの機能メニューがあり、メニューを何度か押して選びます。
- 操作を終了するときは、[**ストップ**] を押します。

❗ 操作の途中で90秒以上何もしないとメニューを終了して待受中に戻ります。

▷ **操作の途中でやめるには：** [**ストップ**] を押す。

子機

ボタンの名称と機能概要

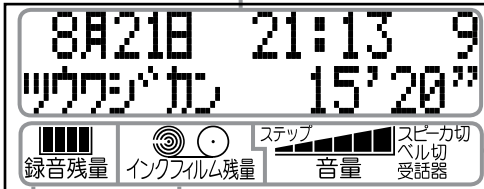
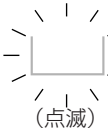
ボタン	本書の表記 かんたんに使う	本書の表記 べんりに使う	機能概要
1～9、0、#	1～9、0、#	[1]～[9]、[0] [#]	番号の指定、項目の選択
	ダイヤルボタン 例：「ダイヤルボタンで電話番号を入力」		電話番号／日時などの入力 相手先名などの入力
＊トーン	＊トーン	[＊]	トーン信号を送る （P.49）
#	#	[#]	チャイルドロックの一時解除（P.76）
オンフック	オンフック	[オンフック]	子機を持たずに電話をかける（P.37）
内線	内線	[内線]	内線電話をかける （P.43）
保留 消去	保留 消去	[保留 消去]	通話を保留にする （P.42）
			入力文字の消去 （P.104）

ボタン		本書の表記 かんたんに使う	本書の表記 べんりに使う	機能概要
メニュー		○[メニュー]	[メニュー]	メニューの選択
				入力した数字や文字の決定 選択した項目の決定
左、（着信データ） 上、音量 下、電話帳 右、（リダイヤル）	▲ ＜ ＞ ▼	[上] ／ [下] ／ [左] ／ [右]		電話帳を選択する 登録した情報やメニューの設定項目の選択 カーソルの移動
	音量	[音量]		ベル音／受話音／スピーカ音の調整（P.48）
	電話帳	[電話帳]		電話帳を表示させる （P.41）
同じボタンに2つ以上の機能があります。操作の対象に応じて機能が変わります。	（着信データ）	[左]（着信データ）		着信データを表示させる （P.68）
	（リダイヤル）	[右]（リダイヤル）		リダイヤルデータを表示させる（P.36）
キャッチ		○[キャッチ]	[キャッチ]	キャッチホンを受ける （P.70）
				電話番号にポーズ（－）を入れる
通話		通話	[通話]	電話をかける （P.26）
				電話を受ける （P.34）
切		切	[切]	電話を切る （P.26）
				登録や設定を途中でやめる

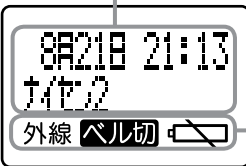
ディスプレイの見かた

親機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、登録・設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。

子機

全点灯時の絵表示（ピクト）を表しています。

バックライトは、ボタン操作開始時や着信時に点灯し、動作終了後、約15秒で消灯します。

■通話時間表示

電話中は、ディスプレイに通話時間の目安が表示されます。

親機 ツウワジカン 10'30" … ダイヤルしたあと、約10秒経つと表示されます。また、相手が出ると0秒から表示し直されます。

❗ 受話器を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。

子機 10'30 … (通話)を押すと表示されます。相手が出てもそのまま続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

❗ 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

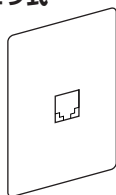
接続する回線の準備

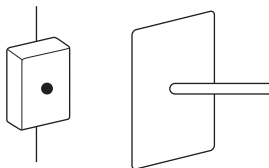
ご利用の回線に応じて接続してください。本機を接続できる回線には次のようなものがあります。

一般電話回線	一般電話（加入電話）の回線です。壁などにある電話コンセントに接続します。
ADSL回線	一般電話回線で接続できるデジタル通信回線です。電話共用型（タイプ1）では本機とパソコンなどの通信を同時に行えます。本機はスプリッタの電話用端子に接続します。
INSネット64	NTT東日本・NTT西日本の提供するISDN回線です。ターミナルアダプタ（TA）を通してデジタルサービスユニット（DSU）に接続します。 1本で2回線を同時に使えるので本機とパソコンなどによる通信が同時に行えます。
アナログモデムに接続する	一般電話回線に接続したアナログモデムに接続します。パソコンに内蔵されたアナログモデムにも接続できます。アナログモデムに接続されたパソコンなどによる通信と本機の通信を、同時に行うことはできません。

一般電話回線に接続するには

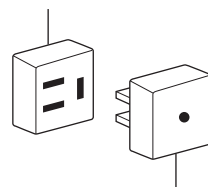
壁などにある電話コンセントを確認してください。電話コンセントがモジュラ式でない場合、そのままでは接続できません。電話コンセントには次のような種類があります。

■ モジュラ式

そのままで接続できます。

■ 直接配線（ネジ止め式）

回線の工事が必要です。

NTT東日本・NTT西日本の窓口へご相談ください。

❗接続工事には工事担任者の資格が必要です。

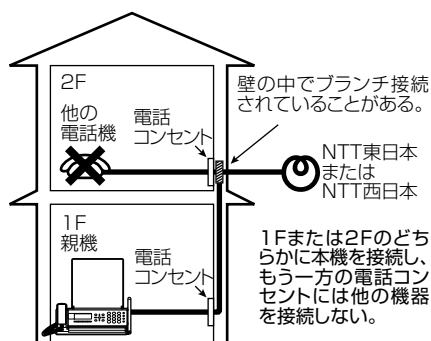
■ プラグ式（3ピン）

市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

ブランチ接続するときの注意

本機をブランチ接続の電話回線に接続した場合、他の電話コンセントに電話機などを接続しないでください。

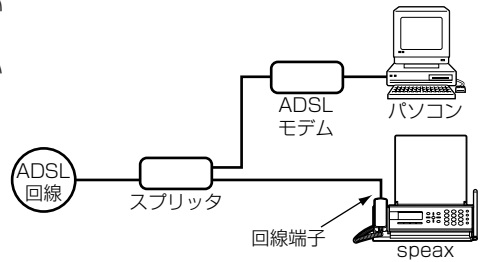
❗壁の中でブランチ接続になっている回線があります。ご自宅に2つ以上の電話コンセントがある場合は、あらかじめご確認ください。

❗他の電話機などと同時に接続すると次のようなことが起こります。

- **電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。**
- ・ファクスを送受信しているとき、同時に接続されている電話機の受話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ・ファクスが受信できないことがあります。
- ・ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。

ADSL回線に接続するには

本機をスプリッタのTEL（またはPHONE）端子に接続します。詳しい接続方法はスプリッタやADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。

ADSL回線を利用するには、ADSL接続事業者と次の契約（有料）が必要です。

電話共用型（タイプ1）

- ADSL回線に接続するには、本機のほかに次の機器が必要です。
  ・ADSLモデム　・スプリッタ
- 誤った接続をすると、通話中の雑音や本機誤動作の原因となります。正しい接続方法をご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
- ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。お気づきの点がありましたら、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
- ADSLモデムと接続した場合、回線の自動選択ができないことがあります。ご使用の回線種別を確認のうえ、手動設定してください。
  「回線種別を設定し直すには」（P.22）

一般電話回線からADSL回線に変えたときに電話やファクスが使えなくなることがあります。

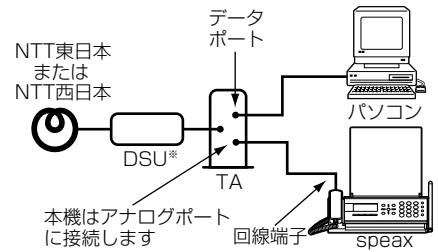
次のことを確認してください	対処のしかた／お問い合わせ先
ブランチ接続をしていませんか?	ブランチ接続をしている場合は、同じ回線に接続されている他の機器を取り外してください（ブランチ接続P.14）。
スプリッタを交換することで使えるようになる場合があります。	ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

IP電話機能付きADSLモデムに接続したときの注意

	このようなときは	これを確認してください	対処のしかた／お問い合わせ先
電話	・ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない ・携帯電話にかけられない ・フリーダイヤルなど特殊な相手先にかけられない	次の手順で正常に動作するか確認してください。 1. 本機をADSLモデムから取り外す 2. ADSLモデムを電話コンセントから取り外す 3. 本機を直接、電話コンセントに接続する	左の手順で正常に動作する場合、IP電話のご契約内容やADSLモデムの設定などが原因として考えられます。ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。
ファクス	・送信／受信の異常がひんぱんに起こる	ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送信／受信できないことがあります。	一般電話回線を経由して電話する方法でご使用ください。詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧になるか、ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

INSネット64に接続するには

本機をターミナルアダプタ（TA）のアナログポートに接続します。詳しい接続方法はターミナルアダプタ（TA）の取扱説明書をご覧ください。

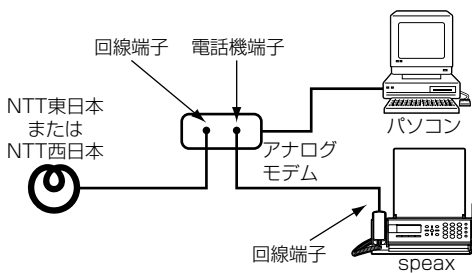
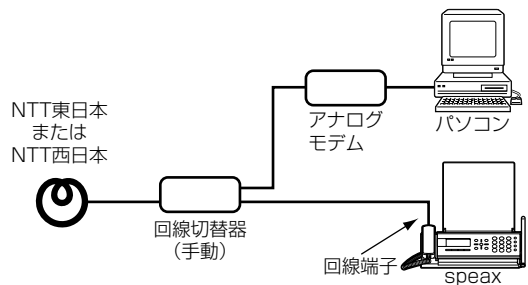
INSネット64を利用するにはNTT東日本・NTT西日本との契約（有料）が必要です。

- INSネット64に接続するには本機のほかに次の機器が必要です。
  - ・ISDNターミナルアダプタ（TA）
  - ・デジタルサービスユニット（DSU）
  - ※TAとDSUが一体になった製品もあります。
- 回線種別はターミナルアダプタ（TA）の取扱説明書でご確認のうえ、設定してください。
  「回線種別を設定し直すには」（P.22）
- ターミナルアダプタ（TA）のダイヤル桁間タイマなどの設定によっては次のような電話番号に電話がかけられないことがあります。
  - ・ポーズ（－）を入れて電話帳に登録した電話番号

ナンバー・ディスプレイ／ダイヤルインを利用するときの注意

ナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。
ダイヤルイン（モデムダイヤルイン）	ターミナルアダプタ(TA)の取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタ(TA)の機種または設定によっては、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。その場合は、本機のダイヤルインの設定を○×（利用しない）に設定してください。 「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.72）

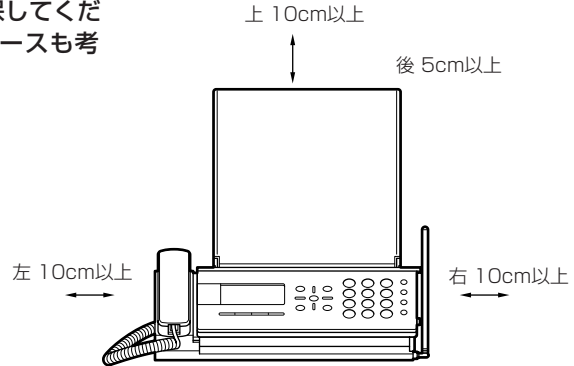
アナログモデムやアナログモデム内蔵型パソコンに接続するには

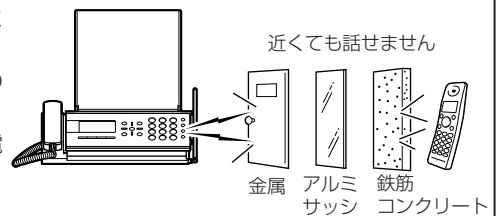
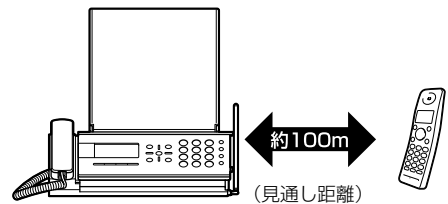
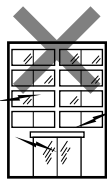
本機をアナログモデムの電話機端子に接続します。回線切替器をお使いの場合は回線切替器に接続します。詳しい接続方法はアナログモデムや回線切替器の取扱説明書をご覧ください。

■ アナログモデム（アナログモデム内蔵型パソコン）に接続するとき

■ 回線切替器に接続するとき

- 回線種別は手動で設定してください。「回線種別を設定し直すには」（P.22）
- アナログモデムに接続したパソコンなどで電話を受けるときは、本機の「電話／ファクス自動切替」（P.35）がはたらく前に着信できるように設定してください。設定方法は、アナログモデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- アナログモデムに接続したパソコンなどによる通信と本機の通信を、同時に行うことはできません。
  - ・アナログモデムやアナログモデム内蔵型パソコンで通信中は本機を操作しないでください。
  - ・本機で通話中やファクスの送信中／受信中には、アナログモデムにつないだパソコンなどから通信をしないでください。

設置する場所の確認

右の図を参考に操作を行うのに十分なスペースを確保してください。消耗品の交換や点検、お手入れなど行うスペースも考慮してください。

- 親機を壁にかけて使用することはできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に動作しないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
  - ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ（TA）、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびAC アダプタ
  - ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CD プレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信／コピー画質がうすくなったり、本機の誤動作、故障の原因となります。
- 「安全にお使いいただくために」（P.3）の記載も参照してください。

親機と子機の電波の届く範囲

- 使用できる範囲は、親機と子機の間に障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。
- 子機と子機で通話（子機間通話、SP-DA120/SP-DA220は子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください。子機どうしが近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。
- 親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

金属製家具の近くなど

マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機の準備

子機の使用上のご注意

本機の子機は、2.4～2.4835GHz（ギガヘルツ）の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域を回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80mです。本機には、それを示す右記のマークが貼り付けられています。

■ **電波に関するご注意**

<ワイヤレス機器の使用上のご注意>

本機は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、本機の電源プラグを抜いて機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

本機の子機と同じ周波数帯域（2.4GHz）の電波を利用している機器の近く（下記参照）では、電波干渉により子機での通話や周辺機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。設置およびご使用になる際は下記の点にご注意ください。

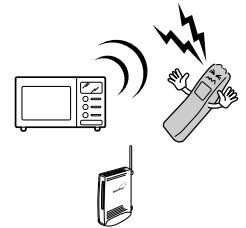
● 子機を電子レンジなどの近くで使用しないでください。子機での通話の音声が途切れたり、使用できなくなることがあります。親機も電子レンジなどから3m以上離して設置してください。

● ラジオ、テレビ、無線機器およびアンテナ線から3m以上離れてご使用ください。雑音や映像の乱れの原因になります。

● 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境では、子機での通話が途切れたり、無線LAN機器の動作に影響を及ぼすことがあります。親機や子機は、なるべく無線LAN機器から3m以上離れてご使用ください。または、WIFI BANDの設定を変更してみてください。

「WIFI BAND（ワイファイ　バンド）を変更する」（P.74）

● その他、下記の中にも同じ周波数帯の電波を使用している機器があります。下記の機器の周辺でも子機での通話の音声が途切れたり、使用できなくなる場合があります。機器の動作に影響を与える場合もありますので、なるべく離れて設置およびご使用ください。

- ・火災報知機
- ・工場や倉庫などの物流管理システム
- ・マイクロ波治療器
- ・自動ドア
- ・自動制御装置
- ・アマチュア無線局
- ・ワイヤレス機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- ・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- ・Bluetooth TM対応機器やVICS（道路交通網システム）など

子機は電波を使用しているため、通話を傍受（第三者が無線電波を故意または偶然に受信）されることが考えられます。この点に配慮して（重要な通話は親機を使用するなど）ご使用ください。

■ **その他のご注意**

● 親機との距離が離れると、送話／受話が途切れるなど通話が不安定になり、子機からのボタン操作の無線信号が親機に正しく伝わらず、動作が不安定になることがあります。このような場合は親機に近づいてご使用ください。

● 通話中に「ポッ、ポッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると、約30秒後に親機側で保留になります。さらに約1分経過すると電話が切れます。なお、電波状態によっては、保留されずに電話が切れてしまうこともあります。

● 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約3.4V以下になる）と子機は使用できなくなります。

● 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

● ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

● ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。

● 子機の通話中に電池パックを取り外さないでください。まれに誤動作することがあります。

電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
  また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

子機を組み立てる

1 子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

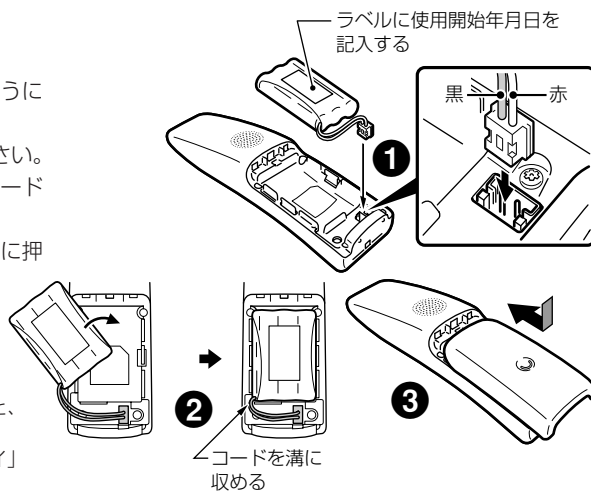
2 電池パックを取り付ける

❶ コネクタを配線の向き（赤／黒）に注意して図のように差し込む
・向きが合わない状態で無理に押し込まないでください。

❷ 電池パックを図のようにセットし、溝に合わせてコードを収める

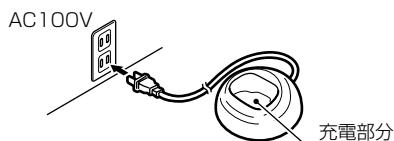
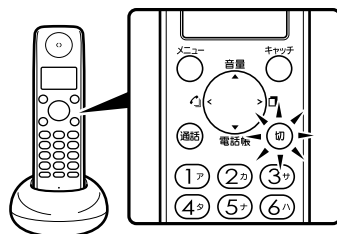
❸ 電池カバーを図のように子機の溝に合わせ、軽く下に押しながら手前から奥へすべらせるように差し込む
・電池カバーを外すときは、下に押しながら手前に引きます。

❗電池パックのラベルに使用開始の年月日を記入しておくと、交換時期の参考になります。

❗親機の電源が接続されていないときは、「ツウワ　ケンガイ」と表示されます。

⚠注意
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。
- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

子機を充電する

⚠**危険** ●付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
⚠**警告** ●ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
●充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
⚠**注意** ●充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

1 充電器を電源に接続する
充電器のプラグを電源コンセントに差し込む

2 子機を充電器に置く
図のようにボタンが手前になるように置く
・充電が始まると (切) が赤く点灯します。
・充電器に置いている間は (切) が点灯したままになりますが、過充電になることはありません。

充電時間：約10時間（ご購入のとき、あるいは電池の残量がない状態から）
フル充電した子機の使用可能な時間　連続通話時：約6時間　**連続待受時：**約300時間
※親機の電源が入っていない状態では、子機の連続待受時間は短くなります。

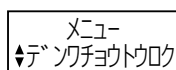
■ 残量が不足したときの警告

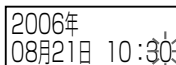
状態	ディスプレイの表示	警告音
待受中	(電池マーク)(点灯)「ジュウデン　シテクダサイ」	「ピーピピッ」(ボタンを押したときに鳴る)
通話中※	(電池マーク)(点灯)	「ピッ、ピッ、ピッ...」

※：通話中に警告音がした場合、そのまま通話を続けると、約1分後に通話が切れます。

● ご購入のときは充電されていません。はじめてご使用のときは、10時間以上充電してください。
● 子機は長期間使わない場合を除いて、できるだけ充電器に戻してください。
・充電器に置いている間は (切) が点灯していますが、充電しすぎることはありません。
● 子機を長期間使わない場合（充電器の電源プラグを抜いておくとき）は、電池パックを取り外してください。
・電池パックを子機に入れたまま充電せずに放置すると劣化することがあります。
● 充電しても使用時間が短くなった場合
・電池パックの寿命です。電池パックを交換してください。→「子機の電池パックを交換する」(P.90)
● 充電器はテレビやステレオ、携帯電話の充電器などと別の電源コンセントにつなぐことをおすすめします。
・同じ電源コンセントにつなぐと、雑音の原因となることがあります。
・同じ電源コンセントにつなぐ場合は、テレビやステレオ、携帯電話の充電器などから充電器をできるだけ離して置いてください。

子機の日時を設定する

1 ○［**メニュー**］を押す

メニュー
◆デンワチョウトウロク

2 ［**上**］または［**下**］で「ヒヅケ・ジコク」を選び ○［**メニュー**］を押す

メニュー
◆ヒヅケ・ジコク

2000年
01月01日 00:00

3 ダイヤルボタンで現在の日付と時刻を入力する

2006年
08月21日 10:30

● 日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。
年　：西暦（下2桁）
月日：（例： 8月21日→0821）
時刻： 24時間制（例：午後9時13分→2113）

4 ○［**メニュー**］を押す

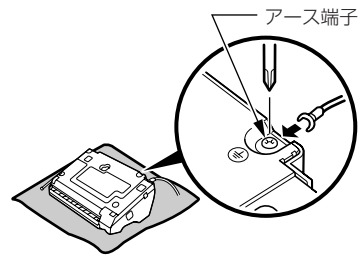
● 本機の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。また、親機の電源が入っていない場合は、さらに月差が大きくなることがあります。

親機の準備

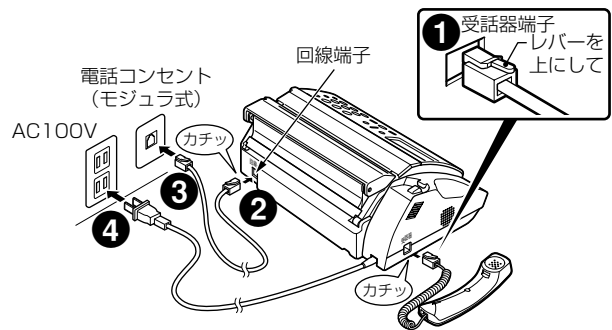
親機の接続

⚠注意

● 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。
アース線は別売品となります。

アース接続は、親機を裏返して行います。その際、記録紙カセットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように座布団などを敷いてください。
プラスドライバとアース線を準備してください。
➔📖「安全にお使いいただくために」（P.3）

1 本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープなど梱包材をはがす

2 受話器／電話回線／電源を接続する

❶受話器端子に受話器用コードを差し込む
❷回線端子に電話回線接続コードを差し込む
❸壁などにある電話コンセントに電話回線接続コードのもう一方の端を差し込む
❹電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む

3 アンテナをたてる

❗ 電話コンセントの種類　➔📖「一般電話回線に接続するには」（P.14）

▷ **受話器コードや電話回線接続コードを抜くときは：**レバーを押しながら引き抜く。
▷ **ADSL回線に接続するには：**（➔📖P.15）
▷ **INSネット64に接続するには：**（➔📖P.16）
▷ **アナログモデムやアナログモデム内蔵型パソコンに接続するには：**（➔📖P.16）

回線種別や時刻を設定する

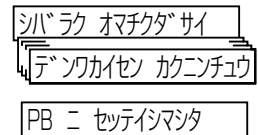
1 回線種別を設定する

電源プラグをコンセントに接続すると、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。

・接続した回線に応じて、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

プッシュ回線：「PB　ニ　セッテイシマシタ」
ダイヤル回線：「DP　ニ　セッテイシマシタ」

シバ゛ラク オマチクダ゛サイ
デ゛ンワカイセン カクニンチュウ

PB ニ セッテイシマシタ

2 時刻をセットする

❶(セット)を押す
・時刻を設定せずに終了するには (◎)[**ストップ**] を押します。

❶
ジ゛コクセッテイ シマス
セット ヲ オシテ クダ゛サイ

'00　1/ 1　0:00
カンリョウ ハ セット ヲ オス

❷ダイヤルボタンで現在の日付と時刻を入力し、(セット)を押す
・ 日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。
年　：西暦（下2桁）
月日：（例： 8月21日→0821）
時刻： 24時間制（例：午後9時13分→2113）

❷
'06 08/21 21:13
カンリョウ ハ セット ヲ オス

▷**「カイセンセッテイ　シテクダサイ」と表示されたら：**手動で設定する。「回線種別を設定し直すには」（本ページ下）

❗ ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタ（TA）／ひかり電話対応機器などを本機に接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。ご利用の回線種別をご確認のうえ手動で設定してください。

▷**時刻を設定し直すときは：**「時刻を設定し直すには」（本ページ下）

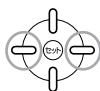
❗ 親機から1日1回「グー」と音がして、原稿読み取り部が光ります。これは親機が自動的に動作チェックを行っているためで、故障ではありません。そのままご使用ください。

回線種別を設定し直すには

接続した回線に応じて回線種別を設定することができます。

❗ ご利用の回線種別がわからない場合は、NTT東日本・NTT西日本の支店または営業所にお問い合わせください。
❗ INSネット64をご利用の場合（ターミナルアダプタ（TA）に本機を接続するとき）はPB（プッシュ回線）に設定してください。
❗ ADSL回線をご利用の場合でも回線種別の設定は必要です。

ご購入時の設定：DP（ダイヤル回線）

4 ［**左**］または［**右**］で回線種別を選び セット を押す

❗接続した回線に応じて選びます。
プッシュ回線：「カイセンシュベツ　PB」
ダイヤル回線：「カイセンシュベツ　DP」
本機に自動選択させる：「ジドウカイセンセンタク」

▷**「デンワカイセン　カクニン」と表示されたら：**電話回線の接続を確認する。

▷**「カイセンセッテイ　シテクダサイ」と表示されたら：**手動でPBまたはDPを選ぶ。

❗ご購入後、初めて回線に接続して電源を入れると本機が自動で回線種別を設定します。手動で回線種別を設定したあとは、電源を入れ直しても自動では設定されません。

時刻を設定し直すには

❗ 日付・時刻の入力する数字が一桁の場合は、十の位に「0」を入力してください。
年　：西暦（下2桁）
月日：（例： 8月21日→0821）
時刻： 24時間制（例：午後9時13分→2113）

❗本機の時計は平均月差±60秒以内です。周囲の温度により月差は変わります。

記録紙のセット

おすすめする記録紙

本機を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。
オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙）

サイズ：A4
厚さ：0.08mm ～ 0.1mm
（500枚包でおよそ40mm ～ 50mmの厚さ）

❗ 厚さの目安：この取扱説明書（本ページ）の厚さが約0.08mmです。

より鮮明な印刷品質をお求めの方には、下記の記録紙をおすすめします。
FUJIFILM　ファクス用普通紙（熱転写用紙、A4サイズ×100枚）
型名：FAX　A4×100

❗ 感熱紙は使用できません。
❗ 次のような記録紙は使用しないでください。
給紙不良や紙づまりの原因になります。
・オーバーコートされた普通紙
・OHP フィルム
・表面に光沢のある紙
・一度プリントした紙の裏面
・一度複数枚送りした紙
・しわのある紙、折れた紙
・湿っている紙
・薄い紙（紙厚が0.08mm より薄い紙）
・厚い紙（紙厚が0.1mm より厚い紙）
・長期間セットしたままの紙

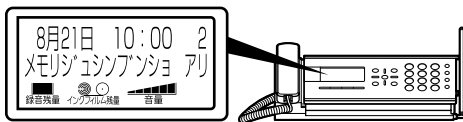
❗ 記録紙はメーカーによって印刷品質や給紙性能が異なります。上記の範囲の記録紙でも、大量に購入される前に、本機によるプリントを試してみることをおすすめします。
❗ 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残った記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下にして先端をそろえ、そっと置くようにセットしてください。
❗ 未使用の記録紙は、ご購入時の袋などに入れ、日光や湿気の影響を受けにくい場所で保管してください。

スマート受信スタイル

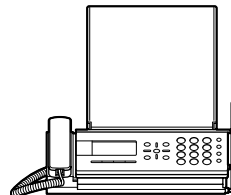
利用シーンにより、受信スタイルを選ぶことができます。

■ カセットレス受信

記録紙カセットを外した状態でコンパクトに利用できますので、ファクス受信の少ない方におすすめです。
ファクスを受信すると「メモリ受信文書あり」とディスプレイに表示されます。受信したファクスをプリントするときは、記録紙を記録紙サポーターにセットして操作します（記録紙は5枚までセット可能）。

「記録紙のセットのしかた」（本ページ下）
「メモリ代行受信したファクスをプリントする」（P.55）

■ カセット受信

ファクス受信が多い方は、記録紙カセットを装着してご利用になることをおすすめします。
ファクスを受信すると、自動的にプリントします（記録紙は20枚までセット可能）。

「記録紙のセットのしかた」（本ページ下）

記録紙のセットのしかた

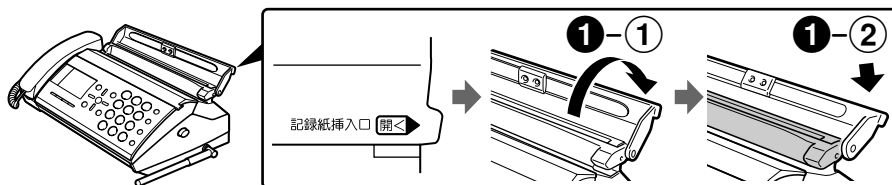
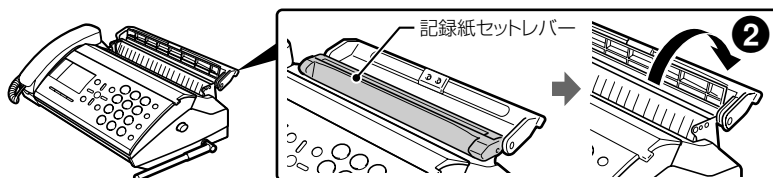
▷ **記録紙をセットするときは：**
右記のように記録紙をさばいてセットしてください。
❗ プリント中には記録紙を追加しないでください。

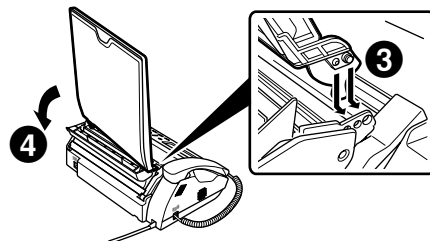
■ 記録紙カセットを使用する場合

セットできる枚数：最大20枚
・ファクスで送られてきた原稿が長いと、1枚の原稿が2枚以上の記録紙に分割されることがあります。このとき、あとから記録紙を追加すると、1枚目の原稿からくり返しプリントされます。記録紙はなるべく多めにセットしておくことをおすすめします。

1 記録紙カセットを取り付ける

※SP-DA120/120Wをご購入の場合は手順❶、❷は不要です。手順❸から始めてください。

❶記録紙挿入口カバーを開き（❶-①）、さらに「カチャ」と音がするところまで記録紙挿入口カバーを開く（❶-②）

❷記録紙セットレバーを開く

❸記録紙カセットの片側を親機の穴に差し込む

❹記録紙カセットの反対側を親機の穴に差し込む
・取り付けたあと、記録紙カセットを前後に軽く動かして、外れないことを確認してください。

2 記録紙をセットする

❶記録紙カバーを開き、手前にたおす

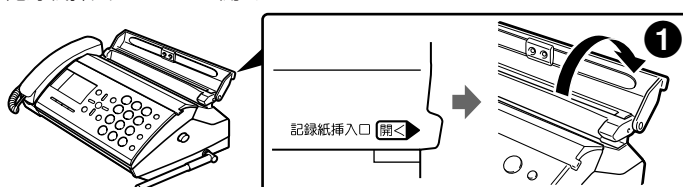
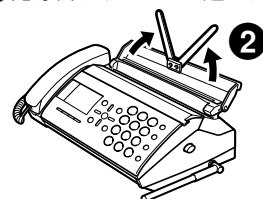
❷記録紙を入れる
・紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。
・無理に押し込まないでください。

❸記録紙カバーを閉じる
・必ず閉じてからお使いください。

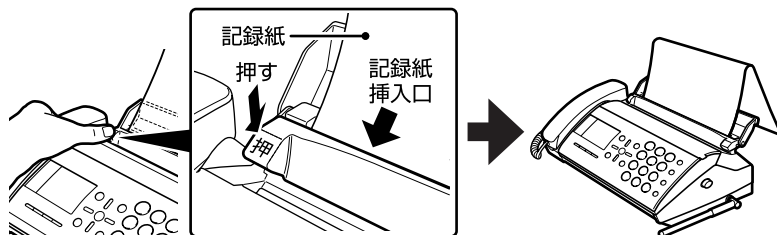
■ 記録紙サポーターを使用する場合 （DA220/220Wのみ）

セットできる枚数：最大５枚
・ 記録紙サポーターを使用する場合は、印刷するときに記録紙をセットしてください。
・ 印刷しないときは、ホコリよけのため、記録紙挿入口カバーを閉じてください。
❗ 記録紙セットレバーの「押」マーク（イラストの親指部分）は左側のみに付いていますが、右側を押しても記録紙をセットできます。
❗ 記録紙セットレバーは、左右のロックが確実にかかった状態で記録紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
❗ 親機背面をのぞき込むときは、記録紙サポーターを収納してください。顔などにあたるとけがの原因になることがあります。

1 記録紙サポーターをセットする

❶記録紙挿入口カバーを開く

❷記録紙サポーターを起こす

2 記録紙をセットする

❶記録紙セットレバーを押しながら、記録紙を記録紙挿入口にセットする
・紙はよくさばき、さばいた方を下にそろえます。
・無理に押し込まないでください。

❷記録紙セットレバーから手を離す

組み立てと接続が正しくできたか確認する

電話をかけてみる

回線に正しく接続できたか、電話をかけて確認します。「ダイヤルボタンを押してかける」（P.26）
また、別の電話から本機にかけて正しく受けられるか確認します。「電話やファクスを受ける」（P.34）

こんなときは	対処方法／参照先
電話がかけられない	「困ったときは（Q&A）」（P.81）
電話が受けられない	ナンバー・ディスプレイサービスへのご加入と本機の設定を確認してください。 **加入しているとき**　：○×（利用する）に設定する。 **加入していないとき**：○×（利用しない）に設定する。 「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」（P.63）
	ダイヤルインサービスへのご加入と本機の設定を確認してください。 ・ダイヤルインサービスをご利用のときは、ナンバー・ディスプレイサービスに加入していなくても、本機のナンバー・ディスプレイの設定を○×（利用する）にします。 「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.72）

コピーをとってみる

インクフィルムが正しくセットされているか、また記録紙が正しくセットできたか、コピーをとって確認します。
「コピーをとる」（P.29）

こんなときは	対処方法／参照先	
記録紙排出口から 白紙が出た	原稿を正しくセットしたか確認してください。原稿は裏向きに（コピーする面を記録紙カバーの方へ伏せて）セットします。「原稿セットのしかた」（P.28）	
ディスプレイに メッセージが表示された	キロクシヲ　イレテクダサイ	記録紙を入れます。「記録紙のセット」（P.23）
	キロクシガ　ツマリマシタ	「紙づまりのとき」（P.79）
	ゲンコウガ　ツマリマシタ	

▷**コピーを途中でやめるには：**［**ストップ**］を押す。
▷**操作を間違えたときは：**親機 ［**ストップ**］を押す。　子機 切を押す。または充電器に戻す。
❗ご購入のときの本機の設定は「機能設定／登録早見表」（P.100）でご確認ください。
また、今の設定をプリントアウトすることもできます。「リストをプリントする」（P.77）
・ご購入のときはファクスを自動で受けられるように設定されています。「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」（P.74）

回線付加サービスを利用するには（ナンバー・ディスプレイなど）

ナンバー・ディスプレイやダイヤルイン、キャッチホン・ディスプレイなど回線付加サービスを利用するには、あらかじめ本機の設定が必要です。

□**ナンバー・ディスプレイ**「ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する」（P.63）
□**キャッチホン・ディスプレイ**「キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する」（P.70）
□**モデムダイヤルイン**「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.72）

※ キャッチホンは、あらかじめ本機で設定しなくてもお使いになれます。「キャッチホン」（P.70）

かんたんに使う

電話をかける

ダイヤルボタンを押してかける

親 機

❗次のときは電話がかけられません。
- ディスプレイに「ナイセン2　シヨウチュウ」と表示されている（子機が使用中）。
- コピーやファクスを使用している。
- 他の機能の設定や、電話帳などの登録をしている。

1 受話器をとり「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

ダイヤルボタン

3 通話が終わったら受話器を戻す

❗コピーやファクスを使ったあとは受話器が暖かくなることがありますが、異常ではありません。

▷**番号を間違えたときは：**
受話器を戻し、もう一度とってから電話番号を押す。

❗先に電話番号を押してから、受話器をとってもかけられます。

子 機

❗次のときは電話がかけられません。
- ディスプレイに「カイセン　シヨウチュウ」と表示されている（親機または他の子機が使用中）。
- 親機でコピーやファクスを使用中、または機能の設定や電話帳の登録をしている（「ピピッ」という音がして「シヨウチュウ」と表示される）。
- ディスプレイに「ツウワ　ケンガイ」と表示されている（電波の届かない場所にいる、または親機の電源プラグが抜けている）。

❗「ツウワ　ケンガイ」と表示されているときに（通話）を押すと、親機との接続動作を行ったあと待機表示になります。もし待機表示にならなければ、親機に近づいてもう一度（通話）を押してください。

❗通話中に「ピーピーピー」と音がするとき
親機の（◇）［**スタート／コピー**］を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

1 子機を充電器からとり（通話）を押して「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

3 通話が終わったら（切）を押して子機を戻す

▷**「ツー」の音が聞こえないときは：**
（切）を押し、もう一度（通話）を押す。

▷**充電器に置いていないときは：**
子機をとり、そのまま（通話）を押す。

❗先に電話番号を押してから、（通話）を押してもかけられます。

▷**番号を間違えたときは：**
（切）を押し、最初からやり直す。

❗クイック通話が「OFF」の場合、（通話）を押す前に電話番号を押したときは、（保留 消去）を押すと最後の一文字を取り消せます。

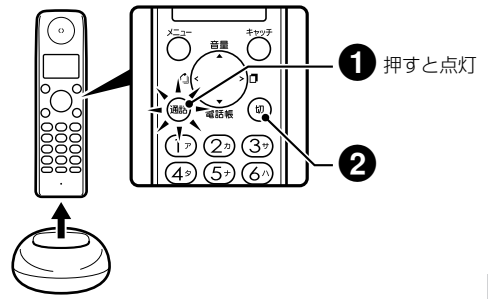
▷**相手の声が聞こえにくいときは：** ➜「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）
▷**ボタンを押したときの音を消すには：** ➜「ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）」（P.75）
▷**携帯電話への通話サービスをお手軽に利用するには：**
➜「携帯電話への通話サービスを簡単に使う（ケータイお得ダイヤル）」（P.47）

子機のとりかた／クイック通話

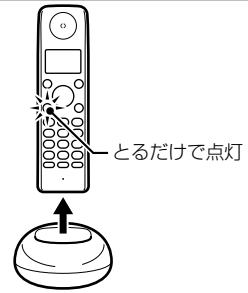
❶ 子機で電話をかけたり受けたりするときは、充電器からとり(通話)を押す

・(通話)が点灯しているときが、親機で受話器をとったときと同じ状態です。受話口から「ツー」という音がします。

❷ 電話を切るときは(切)を押す

・充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。

本書の表記

本書の中では、電話を切るときは「(切)を押す」と説明しています。このときは、充電器に戻すだけでも電話を切ることができます。

子機を充電器からとるだけで、電話をかけたり受けたりできるようにする機能を**「クイック通話」**と言います。
これにより、親機で受話器をとるのと同じように操作できます。

クイック通話をONにする／OFFにする

クイック通話を「ON」に設定すると、子機を充電器からとるだけで電話をかけたり受けたりできるようになります。

子 機

1 子機を充電器からとる

2 ◯[**メニュー**] を押す

メニュー
◆デンワチョウトウロク

3 [**上**] または [**下**] で「クイックツウワ」を選び◯[**メニュー**] を押す

メニュー
◆クイックツウワ

クイックツウワ
◆OFF

4 [**上**] または [**下**] で「ON」または「OFF」を選び◯[**メニュー**] を押す

ご購入時の設定：「OFF」

❗ 下の表を参考に設定してください。

▷ (通話)**が点灯しているときは：**(切)を押す。

クイック通話の設定	子機を充電器からとると	電話をかける／受けるには
OFF	(通話) 点灯しない	子機をとって、(通話)を押す
ON	(通話) 点灯する	・かけるときは子機をとってそのままダイヤルする ・受けるときは子機をとるだけで受けられる

本書の表記

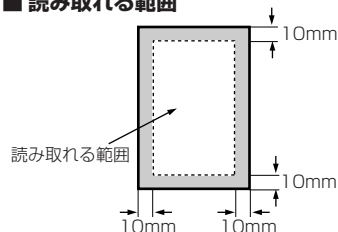
本書の中では、「クイックツウワOFF」のときの操作を説明しています。

ファクスを送る／コピーをとる

原稿のサイズ／読み取れる範囲

■ 読み取れる原稿のサイズと厚さ

原稿の枚数		1枚	2枚以上
幅×長さ	最大	210mm×600mm （コピーのとき：A4サイズ）	210mm×297mm （A4サイズ）
	最小	128mm×128mm	
厚さ		0.05 ～ 0.15mm	0.065 ～ 0.10mm

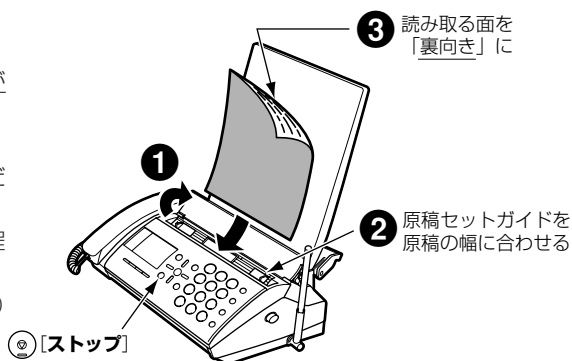
■ 読み取れる範囲

- 1枚だけセットするときと2枚以上セットするときでは、読み取れるサイズと厚さが異なります。
- 厚さの目安：この取扱説明書（このページ）の厚さが約0.08mmです。
- 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。
- クリップやホチキスの針は取り除いてください。
- インクや修正液、ノリなどはよく乾かしてからセットしてください。

> 次のような原稿をファクスで送るときは、あらかじめ上記の表「読み取れる原稿のサイズと厚さ」に合った普通紙に、本機とは別のコピー機でコピーしてからセットしてください。
> ・透明な原稿（フィルムやトレーシングペーパーなど）。
> ・やぶれやしわのある原稿。まるまった原稿。
> ・化学処理された原稿（感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙など）。
> ・ノリやテープで貼り合わせた原稿。
> ・上記の「読み取れる原稿のサイズ」より小さい原稿、大きい原稿。
> ・上記の「読み取れる原稿の厚さ」より薄い原稿、厚い原稿。

原稿セットのしかた

> **セットできる原稿の枚数：**最大5枚
> - 6枚以上の原稿を送る場合、送信の途中で追加しないでください。何回かに分けて送ってください。
> - 記録紙排出口に残っている紙は、あらかじめ取り除いてください。

1. 原稿挿入口カバーを開く
2. 原稿セットガイドを読み取る原稿の幅に合わせる
   - 原稿セットガイドが原稿の幅に合っていないと、原稿が斜めに入ったり、紙づまりの原因になったりします。
3. 読み取る面を「裏向き」に原稿を軽く差し込む
   - 原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。
   - 無理に押し込まないでください。原稿は自動的に2cm程度引き込まれます。
   - 2枚以上の原稿をセットすると下（裏向きに伏せた面）から順に読み取られます。

③ 読み取る面を「裏向き」に
② 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる
[ストップ]

> - セットした原稿は無理に引き抜かないでください。
> ▷ **セットした原稿を取り除くには：**[**ストップ**] を押す。

ファクスを送る（自動送信）

親機 ❶子機では操作できません。

1 原稿をセットする

❶「原稿セットのしかた」（P.28）
❶あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。「原稿に小さい文字や写真があるとき（画質モード）」（P.51）

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押し［**スタート／コピー**］を押す

❶受話器はとらずにダイヤルボタンを押します。
▷**途中で送信をやめるときは：**［**ストップ**］を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度［**ストップ**］を押すと排出される。

原稿が排出され、「ピーッ」と鳴ったら送信終了です。

❶原稿は自動的に排出されます。途中で一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
❶相手先のファクスの機種によって、送信時間が長くなることがあります。
❶「サイハッコ　マチ　1カイメ」と表示されることがあります。これは、送信相手が話し中などで送信できない場合、自動的に送信をくり返している場合（オートリダイヤル）に表示されます。約1分間隔で5回までくり返し、それでも送信できない場合は不達レポートがプリントされます。「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」（P.54）
❶電話番号をダイヤルする代わりに、次の方法で送信先を選ぶことができます。
・電話帳に登録した相手先に送る「電話帳でかける」（P.41）
・リダイヤルに記録された相手先に送る「同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）」（P.36）
・着信データに記録された相手先に送る「着信データを使って電話をかける（コールバック）」（P.68）
▷**通話中にファクスを送るときは：**「電話をかけて通話中に送る（手動送信）」（P.50）
▷**海外にファクスを送るときは：**「海外へ送るとき」（P.53）

コピーをとる

親機 ❶子機では操作できません。

1 原稿をセットする

❶「原稿セットのしかた」（P.28）
❶あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。「原稿に小さい文字や写真があるとき（画質モード）」（P.51）

2 ［**スタート／コピー**］を押す

```
コピ-ブスウ    = --
```

▷**途中でコピーをやめるときは：**
［**ストップ**］を押す。原稿が排出されずに残ったときは、もう一度［**ストップ**］を押すと排出される。

3 ダイヤルボタンでコピーする部数を入力し［**スタート／コピー**］を押す

1度にコピーできる部数
記録紙カセット使用時　：1～20部
記録紙サポーター使用時：1～5部
❶1部だけコピーするときは、部数を入力せずに［**スタート／コピー**］を押すこともできます。
❶何も操作しないで約5秒過ぎると、指定された部数でコピーが開始されます。部数を指定しないと1部になります。

❶原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
❶個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。
・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

留守番電話を使う

留守設定をする

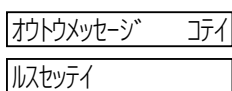
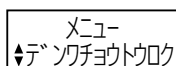
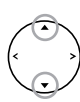
留守中に受けた電話の用件を録音するときは留守設定をします。留守設定がされているときでも、ファクスは自動的に受けられます。

- 着信ベルの回数が8回以上に設定され、「トールセイバ」が「しない」に設定されている場合は、ファクスを自動受信できないことがあります。
  ➡「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）
  ➡「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」（P.60）

録音できる時間：最大3分／件（全ての用件を合計してSP-DA220/220Wは最大45分、SP-DA120/120Wは最大15分。自作の応答メッセージの録音時間を含む。）
録音できる件数：最大30件
- 留守設定がされているときでも、受話器や子機をとれば電話が受けられます。➡「電話やファクスを受ける」（P.34）
- 在宅中に留守設定をしておくと、相手の声をモニタスピーカで確認してから電話にでられます（居留守モニタ）。

親 機

1 [留守] を押す

オウトウメッセージ　コテイ
ルスセッテイ

- 留守設定がされると応答メッセージが流れ、[留守] が点灯します。
- ▷ **モニタスピーカの音量を調整するには：**
  応答メッセージが流れている間に調整する。
  ➡「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）

子 機

1 子機を充電器からとる

▷ **通話が点灯しているときは：**切を押す。➡「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

2 ◯[**メニュー**] を押す

メニュー
♦デ゛ンワチョウトウロク

3 [**上**] または [**下**] で「リモコンソウサ」を選び ◯[**メニュー**] を押す

メニュー
♦リモコンソウサ
リモコンチュウ

▷ **「ピーピーピー」と音がするときは：**
親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

4 「リモコンチュウ」が表示されたら 7 を押す

ダイヤルボタン

- 「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。
- 留守設定がされると子機から「留守設定をしました。」のメッセージが流れます。

5 切を押す

応答メッセージは本機の状態に応じて異なります。

本機の状態	メッセージ「ただいま留守にしております。...」
通常	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」※1
・用件が録音できない ・ファクスは受信できる （用件がいっぱい）	「...ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直しください。」
・用件は録音できる ・ファクスが受信できない	「...電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は恐れ入りますがのちほどおかけ直しください。」
・用件が録音できない ・ファクスが受信できない （メモリ残量が不足）	「...恐れ入りますがのちほどおかけ直しください。」

※1 ：「通常」の応答メッセージは自作のメッセージに変更できます。➡「自作の応答メッセージを使う」（P.58）

▷ **留守設定をしても応答メッセージが聞こえないときは：**次の確認をする。
・モニタスピーカの音量が「切」になっていないか。　→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）
・自作の応答メッセージが正しく録音されているか。　→「自作の応答メッセージを使う」（P.58）
・着信中に［**留守**］を押したか。　→着信中に押すと応答メッセージは聞こえないが、留守設定はされる（呼出ベルに変わったあとでは留守設定ができない）。

留守設定をしたとき、メモリ残量が不足していると次のメッセージが流れます。

メッセージ	状態	対処のしかた
「用件がいっぱいです。 不要な用件を消去してください。」	留守設定ができません。	不要な用件を消去する→「録音された用件を聞く／消去する」（P.32） メモリ受信したファクスがある場合→「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）
「メモリ残量が少なくなっています。 不要な用件を消去してください。」	すぐに用件を録音できなくなります。	

留守設定を解除する

親 機

❗録音された用件があると［**留守**］が点滅します。
❗ディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。

1 ［**留守**］を押す

8月21日 21:13　2

❗留守設定が解除されると録音された用件に応じてメッセージが流れ［**留守**］が消灯します。

録音された用件に応じて次のメッセージが流れます。

メッセージ	再生
「用件は○○件です。」	録音された全ての用件が再生されます。1件ごとに録音された日時を音声で知らせます（タイムスタンプ）。 ▷ **再生を途中でやめるには：**［**ストップ**］を押す。 ❗ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、ディスプレイに相手先の電話番号、電話帳に登録された相手先の名前が表示されます。
「用件はありません。」	録音された用件はありません。

▷ **モニタスピーカの音量を調整するには：**　→「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）

子 機

1 子機を充電器からとる

▷ **通話が点灯しているときは：**切を押す。→「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

2 ◯［**メニュー**］を押す

メニュー
♦デンワチョウトウロク

3 ［**上**］または［**下**］で「リモコンソウサ」を選び◯［**メニュー**］を押す

メニュー
♦リモコンソウサ

リモコンチュウ

▷ **「ピーピーピー」と音がするときは：**
親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

4 「リモコンチュウ」が表示されたら⑨を押す

❗「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。
❗留守設定が解除されると子機から「留守設定を解除しました。」のメッセージが流れます。

5 切を押す

録音された用件を聞く／消去する

録音された用件は留守設定を解除したときに自動的に再生されますが、一度再生された用件でも消去しなければ何度でもくり返し聞くことができます。

親機

1 [再生]を押す

▷ **再生された用件が聞こえないときは：**
モニタスピーカの音量が「切」になっていないか確認する。「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）

■ **用件を消去するには**

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に[消去]を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 ▷ **すぐに用件を消去したいときは：**手順１で [消去] (3サ) の順に押すと、用件再生とメッセージを待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは ◎[**ストップ**] を押す。
聞き終わった用件を全て消去する （一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、右の画面が表示されている間（約6秒間）に[消去]を押す。 サイセイシュウリョウ＊・・・・・

❗ 録音された用件を全て（再生していないものも含めて）消去することもできます。「録音された用件を全て消去する」（P.58）

❗ 録音された用件を通話中の相手に聞かせることができます。「通話中に留守番電話の用件を再生する」（P.46）

子機

1 子機を充電器からとる

▷ (通話)**が点灯しているときは：**(切)を押す。「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

2 ◯[**メニュー**] を押す

メニュー
◆デンワチョウトウロク

3 [**上**] または [**下**] で「リモコンソウサ」を選び◯[**メニュー**] を押す

メニュー
◆リモコンソウサ

リモコンチュウ

▷ **「ピーピーピー」と音がするときは：**
親機が使用中なので、しばらく待ってやり直す。

4 「リモコンチュウ」が表示されたら(2カ)を押す

❗「リモコンチュウ」が表示されてから、1分以内に押します。

5 (切)を押す

■**用件を消去するには**

消去する用件	操作のしかた
再生中の用件（1件）を消去する	1. 消去する用件が再生されている間に(8ヤ)を押す。 消去する用件の再生終了後に「消去しました。」というメッセージが流れ、次の用件が再生されます。 ▷ **すぐに用件を消去したいときは：**手順１で (8ヤ) (3サ) の順に押すと、用件再生とメッセージを待たずに用件が消去され、次の用件が再生される。 2. 操作を終了するときは(切)を押す。
聞き終わった用件を全て消去する （一部でも再生した用件は消去される）	再生終了後、「ピッピッピッ」の音が聞こえている間（約6秒間）に(8ヤ)を押す。 「再生済みの用件を消去しました。」のメッセージが流れたら、(切)を押す。

再生中の操作

再生速度を変えたり、再生中の用件をとばして次の用件を聞いたり、もう一度最初から聞いたりすることができます。

操作	ボタン		詳細
	親機	子機	
再生速度を変える	再生	2カ	押すたびに「通常→高速→低速→通常...」の順で変わる。
最初から再生する	1ア	1ア	再生中の用件を最初から再生する。2度続けて押すと、1つ前の用件を再生する。
次の用件を再生する	3サ	3サ	次の用件を再生する。2度続けて押すとさらに次の用件を再生する。
再生をやめる	[**ストップ**]	#	▷**再び最初から再生するには** **親機：** 再生を押す **子機：** 2カ を押す
消去する（1件）	消去	8ヤ	再生中の用件を消去する。 再生終了後に「消去しました。」のメッセージが流れる。

■再生中にスキップしたいときは（30秒スキップ再生）DA220/220Wのみ

用件を再生しているときに、再生箇所をスキップすることができます。

❗ 子機では操作できません。

ボタン	機能
#	1回押すと、約30秒先に進む。
✱	1回押すと、約15秒前に戻る。

電話やファクスを受ける

ベルが鳴ったら

ベルが鳴ったら受話器や子機をとり、電話やファクスを受けます。着信モードが「ファクス専用」または「電話／ファクス切替」に設定されているときは、本機が自動的にファクスを受信します。本機が自動受信する前に受話器や子機をとった場合は、手動で受信させることもできます。

「電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）」（P.74）

親機

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

受話器から・・・	
相手の声がしたとき	**そのまま通話する** 電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。
「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが聞こえたとき 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」	**受話器を戻す** ファクスの着信です。受話器を戻すと本機が自動受信します。 ❗「カンタン　ジュシン」を○×（する）に設定しているとき、メッセージが聞こえます。 （ファクスかんたん受信 P.54）
「ポーポーポー」の音がしたあと、メッセージが聞こえないとき	**[スタート／コピー］を押す** ファクスの着信です。手動で受信してください。 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）
何も音がしないとき	**[スタート／コピー］を押す** ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）

❗記録紙排出口にたくさんの紙（10枚以上）をためないようにしてください。

子機

ベルが鳴ったら
子機を充電器からとり
通話を押す

子機の着信ベルは親機よりも少し遅れて鳴ります（電波の状況によって、遅れかたに若干の差があることがあります）。

受けた着信が電話の場合は、着信ベルが数回鳴ったあとに呼出ベルに変わりますが、ベルの音は同じです。どちらのベルが鳴っているときでも電話が受けられます。

❗充電器に置いていないときは、そのまま通話を押します。

受話口から・・・	
相手の声がしたとき	**そのまま通話する** 電話の着信です。外線か内線かは着信音でわかります。
「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが聞こえたとき 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」	**切を押し、子機を戻す** ファクスの着信です。切を押すと本機が自動受信します。 ❗「カンタン　ジュシン」を○×（する）に設定しているとき、メッセージが聞こえます。 （ファクスかんたん受信 P.54）
「ポーポーポー」の音がしたあと、メッセージが聞こえないとき	**内線を押し、6ハを押す** ファクスの着信です。手動で受信してください。 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）
何も音がしないとき	**内線を押し、6ハを押す** ファクスの着信の場合があります。ファクスの手動受信を試してください。 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）

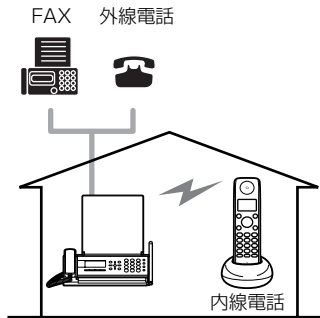
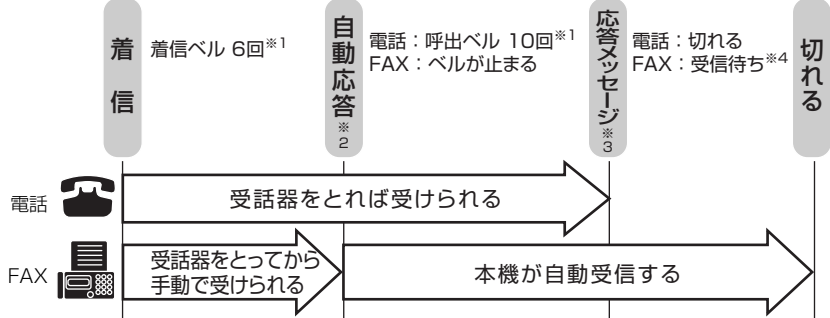
通話が終わったら
切を押し、
子機を充電器
に戻す

❗**通話中に「ピーピーピー」という音がしたら**

子機で通話中に、親機の［**スタート／コピー**］を押すとこの音が鳴り、通話が切れます。

着信の種類を判断する（電話かファクスか）

本機の受ける着信には外線電話、ファクスと内線電話（他の親機や子機からの呼び出し）があります。本機では着信の種類を着信音や受話器（または子機）をとったときの音で判断できます。

本機では外線からの着信があると電話かファクスかを自動的に判断して、電話なら呼出ベルを鳴らし、ファクスなら自動受信することができます。これを「電話／ファクス自動切替」と言います。

■外線／内線　　**■電話／ファクス自動切替のしくみ**

※1 ：着信ベル／呼出ベルの回数は変えられます。「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）
※2 ：本機が電話かファクスかを自動的に判断します。この時点で相手先に通話料がかかります。
※3 ：相手先に次の応答メッセージを流します。
「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけ直しください。」
※4 ：ファクスの受信をしばらく待ちます（30 〜 40秒）。相手先では信号音がします。

着信の種類によって、着信ベルが次のように変わります。

着信ベル	受話器をとると	着信の種類	操作	参照先
「プルルル、プルルル...」と長く鳴る※1	相手の声がする	外線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」（P.34）
	「ポーポーポー」と音がする	ファクス	受話器を戻すとファクスを受信する※2	「ベルが鳴ったら」（P.34）
	何も音がしない※3	ファクスかもしれない	ファクスを手動受信する	「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）
6回で止まる※4	（受話器をとらない）	ファクスなら本機が自動受信する		―
		電話なら本機が録音する（留守設定時）		「留守設定をする」（P.30）
「ピピ、ピピ..」と短く鳴る	相手の声がする	内線電話	そのまま相手と話せる	「ベルが鳴ったら」（P.34）

この表は、ご購入時の設定のまま使用した場合の本機の動作を記しています。設定を変更するとそれぞれの動作も変わります。
※1 ：外線の着信音の音色は変えられます。「ベルの音色を変える／メロディにする」（P.76）
※2 ：「カンタン　ジュシン」を○×（しない）に設定しているときは手動で受信します（ファクスかんたん受信 P.54、手動受信 P.50）。
※3 ：相手先のファクスの機種によって音がしないことがあります。この場合はファクスの手動受信を試して確認します（手動受信 P.50）。
※4 ：着信ベルの回数は変えられます。「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）
「トールセイバ」が○×（する）に設定されていると、留守設定のときの着信ベルの回数が変わります。
「録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）」（P.60）

べんりに使う

電話

同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）

以前に電話をかけた相手先の電話番号が自動的に記録されています。同じ相手先にもう一度かけるとき、記録された電話番号を上下ボタンで選ぶだけで、簡単にかけられます。

親 機

記録される件数：最大10件
記録される桁数：最大40桁（1件につき）
❗10件を超えると古いものから順に消去されます。

❗ファクスを送信した電話番号も記録されます。話し中で通話できなくても記録されます。
❗子機に記録された電話番号にはかけられません。子機でかけた電話番号は親機には記録されません。

1 ［**右**］（リダイヤル）を押す

01）
ｱｲﾃ：0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で
記録された電話番号を選び
受話器をとる

❗直前にかけた電話番号にかけるときは、次のようにすると、電話番号を選ばなくてもかけられます。
- 先に受話器をとってから［**右**］（リダイヤル）を押す。
- ［**オンフック／キャッチ**］を押してから［**右**］（リダイヤル）を押す。「受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）」（P.37）

❗電話帳でかけた相手先は、登録した相手先名と電話番号が表示されます。

■ **記録された電話番号を消去するには**

1.手順2で電話番号を選んだあと、受話器をとらずに［**消去**］を押す。
2.右の画面が表示されたら［**1**］を押す。消去をやめる場合は［**2**］を押す。

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
1：ｼｮｳｷｮ 2：ﾁｭｳｼ

子 機

記録される件数：最大10件
記録される桁数：最大24桁（1件につき）
❗10件を超えると古いものから順に消去されます。

❗話し中で通話できなくても記録されます。
❗親機に記録された電話番号にはかけられません。親機でかけた電話番号は子機には記録されません。親機でファクスを送信した電話番号は子機には記録されません。

1 子機を充電器からとり
［**右**］（リダイヤル）を押す

0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で記録された電話番号を選び
［**通話**］を押す

❗最後に電話をかけた相手先から順に表示されます。

■ **記録された電話番号を消去するには**

1. 手順2で電話番号を選んだあと、［**通話**］を押さずに［**保留 消去**］を押す。
2. 「ショウキョ　シマスカ？」と表示されたら、［**上**］または［**下**］で「ハイ」を選ぶ。
3. ［**保留 消去**］（または［**メニュー**］）を押す。
消去をやめる場合は、手順２で「イイエ」を選び、［**メニュー**］を押します。

受話器や子機を持たずに電話をかける（オンフックダイヤル）

親機の場合は受話器をおいたまま、子機の場合は受話口を耳から離した状態でも、モニタスピーカから流れる相手の方の応答を確認してから通話することができます。

親機

1 受話器を置いたまま［**オンフック／キャッチ**］を押し、「ツー」という音を確認する

オンフック チュウ

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

0312345678_

3 相手が電話にでたら受話器をとって通話する

❶オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

▷**電話番号を間違えたときは：**
［**オンフック／キャッチ**］を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

❶受話器をとるまで、こちらの声は相手に聞こえません。

▷**受話器をとる前に電話を切るには：**
［**オンフック／キャッチ**］を押す。

❶オンフックで通話中は、キャッチホンを受けられません。［**オンフック／キャッチ**］を押すと通話が切れます。

❶受話器をとってダイヤルしたときは、オンフックに切り替えられません。

子機

1 ［**オンフック**］を押し「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を押す

3 相手が電話にでたら［**オンフック**］を押して通話する

❶充電器に置いているときは、［**オンフック**］を押すことはできません。

❶オンフックダイヤルのときは、モニタスピーカから音や相手の声が聞こえます。

▷**電話番号を間違えたときは：**
［**切**］を押していったん電話を切り、手順1からやり直す。

❶手順3で［**オンフック**］を押すまで、こちらの声は相手に聞こえません。

▷**手順3で［オンフック］を押す前に電話を切るには：**
［**切**］を押す。

電話帳に相手先を登録する　親機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選ぶだけで簡単に電話がかけられます。ファクス番号も登録できます。

登録できる件数：最大200件

❶ご購入のときすでに「#スピークストイアワセ」が登録されています。これも登録件数に含まれます。

▷**「デンワチョウ　フル」が表示されたら：**すでに200件の相手先が登録されている。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録する。「登録した名前と電話番号を消去する」（P.38）

相手先の名前と電話番号を登録する

1 ［**セット**］を押す

トウロク：ナマエ？

2 ダイヤルボタンで相手先の名前を入力し［**セット**］を押す

ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：？

3 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力し［**セット**］を押す

ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：0312345678_

ニッポンデンキ
トウロク シマシタ

4 登録を終了するときは［**ストップ**］を押す

名前の文字数：最大12文字

❶「文字入力のしかた」（P.104）

▷**電話番号だけ登録するときは：**
名前を入力せずに［**セット**］を押す。

電話番号の桁数：最大32桁

▷**ー（ポーズ）を入れるには**
SP-DA220/220W：［**さかのぼり録音**］を押す。
SP-DA120/120W：［**通話録音**］を押す。

▷**ナンバー・ディスプレイを利用するときは：**
・市外局番から入力する。
・「＊」「#」「ー（ポーズ）」は入力しない。

▷**途中で登録をやめるときは：**
［**ストップ**］を押す。

▷**続けて他の相手先を登録するには：**
手順2〜3をくり返す。

登録した名前や電話番号を変更する

❗すでに登録した相手先のリストをプリントすることができます。➡📖「リストをプリントする」(P.77)

1 ［**電話帳**］を押す

```
アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678
```

2 ［**上**］または［**下**］で変更する相手先を選び 、［**セット**］を押す

```
アイテ:ニッポンデンキ
1:ショウキョ 2:ヘンコウ
```

3 ダイヤルボタンの［**2**］を押す

```
ナマエ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678
```

▷ **次の画面が表示されたときは：**
［**2**］を押して中止する。

```
ショウキョ シマスカ?
1:ショウキョ 2:チュウシ
```

4 名前を変更し［**セット**］を押す

```
ナマエ:NEC
TEL:0312345678
```

❗➡📖「文字入力のしかた」(P.104)
▷ **電話番号だけ変更するときは：**
名前を変更せずに［**セット**］を押す。

5 ダイヤルボタンで電話番号を変更し［**セット**］を押す

```
ヘンコウ シマシタ
```

電話番号の変更方法
番号の入力：ダイヤルボタン
ー（ポーズ）
SP-DA220/220W：［**さかのぼり録音**］
SP-DA120/120W：［**通話録音**］
カーソルの移動　：［**左**］［**右**］
番号を全て消去　：［**消去**］

▷ **電話番号を変更しないときは：**
そのまま［**セット**］を押す。

▷ **途中で変更をやめるときは：**
［**ストップ**］を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

1 ［**電話帳**］を押す

```
アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678
```

2 ［**上**］または［**下**］で消去する相手先を選び、［**セット**］を押す

```
アイテ:ニッポンデンキ
1:ショウキョ 2:ヘンコウ
```

3 ダイヤルボタンの［**1**］を押す

```
ショウキョ シマスカ?
1:ショウキョ 2:チュウシ
```

▷ **次のような画面（ナマエ、TEL）が表示されたときは：**
［**ストップ**］を押して、最初からやり直す。

```
ナマエ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678
```

4 ダイヤルボタンの［**1**］を押す

```
ショウキョ シマシタ
```

▷ **消去するのをやめるときは：**［**2**］を押す。

親機の電話帳から子機に転送する

親機に登録した相手先を子機に転送できます。転送された相手先は子機の電話帳に追加されます。

❗子機にあらかじめ登録された相手先は消えません。
❗子機の電話帳にすでに最大件数（100件）の相手先が登録されていると転送できません。
❗次のような相手先は転送されません。
・同じ名前と同じ電話番号の相手先が子機の電話帳に登録されている
・電話番号が25桁以上

❗転送先の子機は転送が終わるまで使用できません。子機のディスプレイに「テンソウチュウ」と表示されます。
❗次のときは転送が中断されます。
・子機の登録件数が最大件数（100件）に達した
・着信を受けた
・エラーが発生した

1 ［**メニュー**］を押す

キノウセンタク　シテクダ゛サイ

2 ダイヤルボタンの
［**2**］を押し
［**セット**］を押す

デ゛ンワ　キノウ

3 ［**メニュー**］を6回押し
［**セット**］を押す

ベ゛ルオン・メロデ゛ィ
デ゛ンワチョウ　テンソウ

イッセイ　テンソウ

4 ［**左**］または［**右**］で
「イッセイ　テンソウ」または
「コベツ　テンソウ」を選び
［**セット**］を押す

テンソウサキ　ナイセン2

手順4の選択に応じて次に示す手順に進む
「イッセイ　テンソウ」→■一斉転送
「コベツ　テンソウ」　→■個別転送

▷ **途中で転送をやめるときは：**［**ストップ**］を押す。

❗ 一斉転送／個別転送の選びかた
全ての相手先を転送する：「イッセイ　テンソウ」
１件ずつ選んで転送する：「コベツ　テンソウ」

■一斉転送

5 ［**左**］または［**右**］で
転送先の子機を選び
［**セット**］を押す

テンソウ　ヲ　カイシシマス
スタート　ヲ　オシテクダ゛サイ

6 ［**スタート／コピー**］を押す

ナイセン2
テンソウ　チュウ　　1/45

セイジ゛ョウ　シュウリョウ

❗ 子機の内線番号を指定します。「受けた電話を転送する（外線転送）」(P.42)
❗ 子機が一台のときは選択できません。

❗ 転送中に［**ストップ**］を押すと、［**ストップ**］を押したところまで転送されます。
❗ ディスプレイに転送された件数が表示されます。

■個別転送

5 ［**左**］または［**右**］で
転送先の子機を選び
［**セット**］を押す

アイテ：ニッポ゛ンデ゛ンキ
TEL：0312345678

6 ［**上**］または［**下**］で
転送する相手先を選び
［**セット**］を押す

テンソウ　ヲ　カイシシマス
スタート　ヲ　オシテクダ゛サイ

7 ［**スタート／コピー**］を押す

ナイセン2
テンソウ　チュウ

セイジ゛ョウ　シュウリョウ

8 終了するときは
［**ストップ**］を押す

❗ 子機の内線番号を指定します。「受けた電話を転送する（外線転送）」(P.42)
❗ 子機が一台のときは選択できません。

▷ **続けて他の相手先を転送するには：**
手順6 ～ 7をくり返す。

▷ **転送された相手先を確認するには：**子機の［**電話帳**］を押す。

■ 次のようなメッセージが表示されたら

メッセージ	原因／対処のしかた
「…○ケン　テンソウデキマセン」 「テンソウデキマセン」	25桁以上の電話番号が含まれている。「○ケン」は転送できなかった件数を示す。電話番号を変更してから転送し直す。 「登録した名前や電話番号を変更する」(P.38)
「デンワチョウ　フル」	子機にはすでに最大件数（100件）の電話番号が登録されている。子機の電話帳から不要な電話番号を削除してから転送し直す。 「登録した名前と電話番号を消去する」（P.41）

電話帳に相手先を登録する　子機

相手先の電話番号をあらかじめ登録しておくと、電話帳ボタンを使って選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

登録できる件数：最大100件

▷**「デンワチョウ　フル」が表示されたら：**すでに100件の相手先が登録されている。不要な相手先の名前と電話番号を消去してから登録する。「登録した名前と電話番号を消去する」（P.41）

▷**登録の途中で「ピーピーピー」と音がしたら：**各々のボタン操作を60秒以内にしないとこの音が鳴り、登録が中止される。中止されたときは最初からやり直す。

相手先の名前と電話番号を登録する

1 子機を充電器からとる

▷**［通話］が点灯しているときは：**［**切**］を押す。
「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

2 ［**メニュー**］を押し
「デンワチョウトウロク」が表示されたら
もう一度［**メニュー**］を押す

メニュー
▲▼デンワチョウトウロク

ナマエ?
ノコリ100ケン

3 ダイヤルボタンで
相手先の名前を入力し
［**メニュー**］を押す

ナマエ?
ニッポンデンキ

デンワバンゴウ?

名前の文字数：最大12文字
❶ 「文字入力のしかた」（P.104）
▷**電話番号だけ登録するときは：**
名前を入力せずに［**メニュー**］を押す。

4 ダイヤルボタンで
相手先の電話番号を入力し
［**メニュー**］を押す

デンワバンゴウ?
0312345678

トウロク　シマシタ

電話番号の桁数：最大24桁
❶ 12桁を超える番号は横にスクロール表示されます。
▷**ー（ポーズ）を入れるには：**
［**キャッチ**］を押す。
▷**ナンバー・ディスプレイを利用するときは：**
・市外局番から入力する。
・「*」「#」「ー（ポーズ）」は入力しない。
▷**途中で登録をやめるときは：**［**切**］を押す。

登録した名前や電話番号を変更する

1 子機を充電器からとり
［**電話帳**］を押す

ニッポンデンキ
0312345678

▷**［通話］が点灯しているときは：**［**切**］を押す。
「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

2 ［**上**］または［**下**］で
変更する相手先を選び
［**メニュー**］を押す

ナマエ?
ニッポンデンキ

3 名前を変更し
［**メニュー**］を押す

ナマエ?
NEC

デンワバンゴウ?
0312345678

❶ 「文字入力のしかた」（P.104）
▷**電話番号だけ変更するときは：**
名前を変更せずに［**メニュー**］を押す。

4 ダイヤルボタンで
電話番号を変更し
［**メニュー**］を押す

デンワバンゴウ?
0612345670

電話番号の変更方法

番号の入力	：ダイヤルボタン
ー（ポーズ）	：［**キャッチ**］
カーソルの移動	：［**左**］［**右**］
一文字消去	：［**保留 消去**］
番号を全て消去	：［**保留 消去**］を長く押す（2秒以上）。

▷**電話番号を変更しないときは：**
そのまま［**メニュー**］を押す。
▷**途中で変更をやめるときは：**［**切**］を押す。

登録した名前と電話番号を消去する

❶複数の子機をお使いの場合、子機ごとに操作してください。1度の操作で複数の子機の登録内容は消去できません。

1 子機を充電器からとり［**電話帳**］を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で消去する相手先を選び［**保留 消去**］を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
▲▼ﾊｲ

3 ［**保留 消去**］（または［**メニュー**］）を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

▷**［通話］が点灯しているときは：**［**切**］を押す。
「子機のとりかた／クイック通話」（P.27）

▷**消去するのをやめるときは：**［**切**］を押す。

電話帳でかける

あらかじめ電話帳に登録した電話番号を、電話帳ボタンと上下ボタンで選んで電話をかけます。

親 機

❶子機に登録した相手先に親機からはかけられません。

1 ［**電話帳**］を押す

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で電話する相手先を選び受話器をとる

❶登録された相手先の名前が次の順で表示されます。
1.スペースで始まる名前　2.数字で始まる名前
3.カナの名前（50音順）
4.アルファベット　5.記号
6.電話番号だけ登録した相手先（相手先名未入力）

▷**受話器をとってから電話番号を選んだときは：**［**スタート／コピー**］を押す。

子 機

❶親機に登録した相手先に子機からはかけられません。ただし、親機の電話帳に登録した相手先を、子機に転送することができます。「親機の電話帳から子機に転送する」（P.38）

1 ［**電話帳**］を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で電話する相手先を選び［**通話**］を押す

❶登録された相手先の名前が次の順で表示されます。
1.スペースで始まる名前　2.数字で始まる名前
3.カナの名前（50音順）
4.アルファベット　5.記号
6.電話番号だけ登録した相手先（相手先名未入力）

■ **登録された相手先をすばやく探す方法**

ダイヤルボタンに割り振られた50音の行の文字で探します。例：「サトウ」（さ行）→［**3**］（サ）

- ダイヤルボタンを押すたびに、同じ行の相手先名が順に表示されます。
- 記号（－ ＊ ＆ など）で始まる相手先名を探すときは、［**0**］を押します。
- ダイヤルボタンを押しても表示が変わらないときは、該当する行の相手先名が登録されていません。

通話中の相手に待ってもらう（保留）

通話中

電話を切らずに相手に待ってもらうことができます。相手先にはメロディ音が流れ、こちらの声は聞こえません。

❶ 内線通話は保留にできません。
▷ **保留中のメロディ音を変えるには：** 「保留のメロディを変える」（P.77）

親 機

❶保留にすると受話器を戻しても電話は切れません。もう一度受話器をとると通話を再開できます。

1 通話中の相手に待ってもらうときに［**保留／内線**］を押し、受話器を戻す

2 再び相手と通話するには受話器をとる

❶ 保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

▷ **子機で保留にした通話を親機で再開するには：**
（子機）手順1（P.42）で保留にし、子機を充電器に戻すか［**切**］を押したあと、受話器をとる。

子 機

保留にすると子機を充電器に戻しても電話は切れません。もう一度子機をとり、[**通話**]を押すと通話を再開できます。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで通話を再開できます。「クイック通話をONにする／OFFにする」(P.27)

1 通話中の相手に待ってもらうときに[**保留 消去**]を押す

2 再び相手と通話するには[**通話**]または[**保留 消去**]を押す

- 保留にしたまま10分以上過ぎると電話が切れます。

▷ **親機で保留にした通話を子機で再開するには：**
(親機)手順1(P.41)で保留にしたあと、子機をとり[**通話**]を押す。クイック通話が「ON」のときは、子機をとるだけで再開できる。

受けた電話を転送する(外線転送)

通話中

親機で受けた外線を子機に転送できます。また、子機で受けた外線を親機や他の子機に転送できます。

内線番号は次の順に決まります。子機の内線番号は待受中のディスプレイに表示されます。

内線番号	ディスプレイの表示	SP-DA120/SP-DA220	SP-DA120W/SP-DA220W
1	―	親機	親機
2	ナイセン2	付属の子機	付属の子機(1台目)
3	ナイセン3	増設子機(1台目)	付属の子機(2台目)
4	ナイセン4	増設子機(2台目)	増設子機(1台目)

増設子機は別売りです。「子機を増設するとき」(P.95)

親機から子機に転送する

1 [**保留／内線**]を押す　ホリュウチュウ ♪♪→ナイセン?

- 外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。

2 ダイヤルボタンで転送先の内線番号を押す　ナイセン2 ヨビダシチュウ

- 子機の内線番号：[**2**]／[**3**]／[**4**]
- 全ての子機を一斉に呼び出すとき：[＊]
- 手順2で、親機から呼び出されると、子機には右の画面が表示されます。　ナイセン1 カラ チャクシンチュウ

3 転送先の相手が出たら転送することを相手に伝え受話器を戻す

- 親機が受話器を戻すと、転送先の子機に外線がつながり、転送先で外線通話ができます。
- 親機が受話器を戻す前に転送先の子機が[**切**]を押すと転送されず、再び親機で同じ外線と通話できます。

▷ **子機が出ないときは：**[**保留／内線**]を押すと外線通話に戻る。

子機から親機に転送する

1 [**内線**]を押す　ヨビダシサキ? 1346＊

- 親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンの[**1**]を押す　ナイセン1 ヲ ヨビダシチュウ

- 外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。
- 親機の内線番号：[**1**]
- 手順2で、子機から呼び出されると、親機には右の画面が表示されます。　ナイセン2 カラ ヨビダシ

3 転送先の相手が出たら転送することを相手に伝え、[**切**]を押す

- 子機の[**切**]を押すと、外線が親機につながり、親機で外線通話ができます。
- 子機が[**切**]を押す前に親機が受話器を戻すと転送されず、再び子機で同じ外線と通話できます。

▷ **親機が出ないときは：**[**内線**]を押すと外線通話に戻る。

子機から子機に転送する

1 [**内線**]を押す　ヨビダシサキ? 1346＊

- 親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで転送先の内線番号を押す　ナイセン3 ヲ ヨビダシチュウ

- 外線が保留にされ、相手先にメロディ音が流れます。
- 子機の内線番号：[**2**]／[**3**]／[**4**]
- 全ての親機／子機を一斉に呼び出すとき：[＊]
- 手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。　ナイセン2 カラ チャクシンチュウ

3 転送先の相手が出たら
転送することを相手に伝え
［**切**］を押す

- 転送する側の子機が［**切**］を押すと、転送先の子機に外線がつながり、転送先で外線通話ができます。
- 転送する側の子機が［**切**］を押す前に転送先の子機が［**切**］を押すと転送されず、再び転送する側の子機で同じ外線と通話できます。
- ▷ **転送先の子機が出ないときは：**［**内線**］を押すと外線通話に戻る。

- 一斉に呼び出す内線番号（［＊］）は子機が2台以上のときに使えます。
- 使っている親機／子機を切り替えて、通話中に自分のいる場所を移動することができます。
  親機から子機へ移動：親機で［**保留／内線**］を押し、受話器を戻したあと、子機をとって［**通話**］を押す。
  子機から親機へ移動：子機で［**保留 消去**］を押し、［**切**］を押したあと、親機の受話器をとる。

親機と子機／子機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機、または2台の子機の間で内線通話ができます。

内線番号については、「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.42）をご覧ください。

- 他の子機や親機を外線で使用しているときや着信しているときは、内線通話はできません。
- 三者の間で内線通話はできません。

親機から子機にかける

1 受話器をとり、［**保留／内線**］を押す

ﾅｲｾﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ?

2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押す

ﾅｲｾﾝ2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ

- 子機の内線番号：［**2**］／［**3**］／［**4**］
- 全ての子機を一斉に呼び出すとき：［＊］
- 手順2で、親機から呼び出されると、子機には右の画面が表示されます。

ﾅｲｾﾝ1 ｶﾗ
ﾁｬｸｼﾝﾁｭｳ

子機から親機にかける

1 子機をとり
［**内線**］を押す

ﾖﾋﾞﾀﾞｼｻｷ?
134＊

- 親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンの［**1**］を押す

ﾅｲｾﾝ1 ｦ
ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ

- 親機の内線番号：［**1**］
- 手順2で、子機から呼び出されると、親機には右の画面が表示されます。

ﾅｲｾﾝ2 ｶﾗ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ

子機から子機にかける

1 子機をとり
［**内線**］を押す

ﾖﾋﾞﾀﾞｼｻｷ?
134＊

- 親機および子機の内線番号が表示されます。

2 ダイヤルボタンで
呼び出す子機の内線番号を押す

ﾅｲｾﾝ3 ｦ
ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ

- 子機の内線番号：［**2**］／［**3**］／［**4**］
- 親機と全ての子機を一斉に呼び出すとき：［＊］
- 手順2で、子機から呼び出されると、呼び出された子機には右の画面が表示されます。

ﾅｲｾﾝ2 ｶﾗ
ﾁｬｸｼﾝﾁｭｳ

- 内線通話は保留にできません。
- 親機と子機で内線通話中に外線がかかってくると、内線通話が切れ、外線の呼出ベルが鳴ります。
  外線に出るときは：
  （**親機**）受話器を戻し、もう一度受話器をとる。
  （**子機**）［**通話**］を押す。
- 子機と子機で内線通話中に外線がかかってくると、「プププ」という音が鳴り、内線通話は切れません。外線に出る場合は［**切**］を押して内線通話を切ったあと、［**通話**］を押します。
- 一斉に呼び出す内線番号（［＊］）は子機が2台以上のときに使えます。

通話の内容を録音する（さかのぼり録音） DA220/220Wのみ 通話中

さかのぼり録音を設定すると、通話中にさかのぼり録音ボタンを押すだけで外線通話の通話開始から自動的に通話を録音し、録音を留守番電話の用件として保存することができます。また、電話を切ったあとでも、さかのぼり録音ボタンを押して直前の通話の録音を保存できます。

録音できる時間／件数：約45分、または最大30件（留守番電話で録音された用件を含めて）

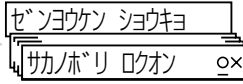
さかのぼり録音を設定する

親機

❗ 子機では操作できません。

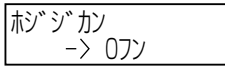
1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を7回押す

ゼンヨウケン ショウキョ
サカノボリ ロクオン ○×

3 ［**左**］または［**右**］で
さかのぼり録音の利用を
「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

手順3で○×（利用する）を選んだ場合は手順4へ進む

4 ［**左**］または［**右**］で
録音を保持する時間を選び
［**セット**］を押す

ホジジカン
-> 0フン

ご購入時の設定
さかのぼり録音：する
保持時間　： 0フン

❗ カーソルを移動して選びます。
○×：さかのぼり録音を利用する
○×：さかのぼり録音を利用しない

❗ ○×を選ぶと設定は終了します。

❗ 保持時間とは、電話を切ったあと、直前の通話の録音を保持する時間です。次の3種類から選べます。
0フン　：録音を保持しない
5フン　：約5分間録音を保持する
ムセイゲン：電話の着信などの次の動作まで録音を保持する

「電話を切ったあとにさかのぼり録音をする」（P.45）

通話中にさかのぼり録音をする　通話中

❗ 次の場合は録音できません。
- 留守番電話の用件がすでに30件録音されているとき
- メモリ残量が少なくなっているとき

❗ 内線通話は録音できません。

❗ 録音の途中でメモリがいっぱいになると、録音を終了します。録音残量表示が ▌ のときは、録音可能時間が残り少なく（約20秒〜15分）なっています。不要な用件はこまめに消去してください。
「■用件を消去するには」（P.32）
また、メモリ受信したファクスがメモリに残っているときは、プリントするか消去してください。
「メモリ代行受信したファクスをプリントする」（P.55）
「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）

❗ 次の操作をすると、録音は終了します。それぞれの操作をする前に［**さかのぼり録音**］を押せば、それまでの通話の録音は保存されます。
・ファクス通信　・通話中再生

❗ 通話中に停電が発生すると、［**さかのぼり録音**］を押していても、その通話で録音した内容は保存されません。

❗ 通話中に次の状況になった場合は、録音は一時中断され、その間は録音されません。録音再開後の通話は、別の用件として録音されます。
- 保留中
- 外線転送中
- キャッチホンによる通話先切り替え中
- キャッチホン・ディスプレイの情報受信中
- ダイヤルボタンやリダイヤル操作によるダイヤル送出中と送出後の約3秒間
- ［**電話帳**］を押して電話帳検索をしたとき

❗ 残したい部分のみを保存することはできません。

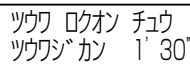
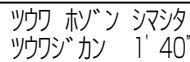
❗ 通話開始時の会話が録音されていないことがあります。

親機

1 通話の内容を残すときは
通話中に［**さかのぼり録音**］を押す

ツウワ ロクオン チュウ
ツウワジカン　1' 30"

2 通話が終わったら電話を切る

ツウワ ホゾン シマシタ
ツウワジカン　1' 40"

▷ **通話中に登録操作をしているときは：**登録操作を終了したのち［**さかのぼり録音**］を押す。

▷ **途中で録音を終了するときは：**［**ストップ**］を押す。

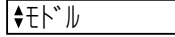
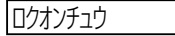
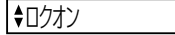
❗ 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

子 機

1 通話の内容を残すときは
通話中に［**メニュー**］を押す

▼▲モドル

2 ［**上**］または［**下**］で
「ロクオン」を選び
［**メニュー**］を押す

▼▲ロクオン

ロクオンチュウ

3 通話が終わったら電話を切る

▷ **オンフック中のときは：**［**オンフック**］を押し、オンフックを解除したあとに［**メニュー**］を押す。

❗ メモリがいっぱいなどでさかのぼり録音できない場合は、「ロクオンチュウ」は表示されません。

▷ **途中で録音を終了するときは：**再度［**メニュー**］を押し、［**上**］または［**下**］で「ロクオン　シュウリョウ」を選び、［**メニュー**］を押す。

❗ 録音中に外線転送、ファクス受信（［**内線**］［**6**］を押す）をするときは、録音を終了させてから行ってください。

❗ 録音を終了させたあと、再び録音を開始させることはできません。

電話を切ったあとにさかのぼり録音をする

「さかのぼり録音を設定する」（➡P.44）の手順4で、「ホジジカン」を「5フン」または「ムセイゲン」に設定すると、電話を切ってから直前の通話の録音を保存できます。ご購入時は、「0フン」に設定されており、録音を保持しません。

❗ 電話を切ってから次の状況が起こると、その時点で録音は消去されます（［**さかのぼり録音**］を押しても、直前の通話は保存できません）。
- 電話をかける。
- 電話がかかってくる。
- 留守番電話の操作をする。
- おやすみモードタイマ切替時刻になる。
- WIFI BANDの設定をする。
- 停電した。

親 機

❗ 子機では操作できません。

1 電話を切ったあと、直前の通話の内容を残すときは
保持時間内に［**さかのぼり録音**］を押す

電話を切ったあとに直前の通話の録音を消去する

電話を切ったあとに直前の通話の録音を残したくない場合は、録音を保持しない設定にする方法と、録音を消去する方法があります。

■ **通話終了後に録音を保持しないように設定する**

「ホジジカン」を「0フン」に設定します。➡「さかのぼり録音を設定する」（P.44）

■ **通話終了後に録音を消去する**

「ホジジカン」を「5フン」または「ムセイゲン」に設定している場合、通話終了後に親機の［**消去**］を押すと、直前の通話の録音が消去されます。

❗子機では操作できません。

録音した会話を聞く／消去する

録音した会話は留守番電話の用件と同じ操作で再生できます。また、同じ操作で消去できます。

➡「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）

❗ 再生と消去は、親機でも子機でも操作できます。

通話中の会話を録音する（通話録音）

DA120/120Wのみ　通話中

一時的に外線での通話を録音できます。また、直前に録音した会話を相手に聞かせることもできます。

録音できる時間／件数：約15分、または最大30件
（留守番電話で録音された用件を含めて）

❗ メモリ残量が少なくなると録音時間が短くなります。自作の応答メッセージやメモリ受信したファクスがメモリに残っているときは、不要なものを消去してください。

➡「録音された用件を全て消去する」（P.58）
➡「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）
➡「録音した応答メッセージを消去する」（P.58）

❗ 次の場合、録音できません。
- 留守番電話の用件がすでに30件、録音されている。
- メモリ残量が20秒（録音時間）より少ない。
- オンフックで通話しているときや、通話を保留にしているとき。

❗ 内線通話は録音できません。

❗ 録音中は通話を保留にできません。

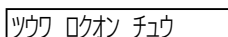
❗ 録音中はトーン信号を送出できません。

❗ ダイヤル中は録音できません。

親 機

❗ 録音の途中でメモリがいっぱいになると中断されます。次の音声メッセージと画面表示でお知らせします。
音声：「メモリがいっぱいです。」　　画面：「メモリガ　イッパイデス」

1 通話を録音するときに
［**通話録音**］を押す

ツウワ ロクオン チュウ

2 録音を終了するときは［**ストップ**］を押す

べんりに使う

電話

子機

❶ 録音の途中でメモリがいっぱいになると中断され、次の音声メッセージでお知らせします。
「メモリがいっぱいです。」

1 通話を録音するときに
［**メニュー**］を押す

♦モドル

2 ［**上**］または［**下**］で
「ロクオン」を選び
［**メニュー**］を押す

♦ロクオン
ロクオンチュウ

3 録音を終了するときは
［**メニュー**］を押す

♦モドル

4 ［**上**］または［**下**］で
「ロクオン　シュウリョウ」を選び
［**メニュー**］を押す

♦ロクオン シュウリョウ

❶ メモリがいっぱいなどで通話録音できない場合は、「ロクオンチュウ」は表示されません。
❶ 録音中はトーン信号を送出することはできません。

録音した会話を聞く／消去する

録音した会話は留守番電話の用件と同じ操作で再生できます。また、同じ操作で消去できます。
「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）
❶ 再生と消去は、親機でも子機でも操作できます。

通話中に留守番電話の用件を再生する

通話中

通話中に留守番電話の用件を相手に聞かせることができます。

親機

❶ 子機では操作できません。
❶ さかのぼり録音で録音した用件があると、その用件も再生されます。**DA220/220Wのみ**
❶ 通話録音で録音した用件があると、その用件も再生されます。**DA120/120Wのみ**

1 用件を相手に聞かせるときに
［**再生**］を押す

サイセイチュウ　　1/1

2 再生を終了するときは［**ストップ**］を押す

❶ 待受時の再生と同じ操作で再生速度を変えたり、用件をとばして再生したりできます。
「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）

お断りメッセージで応答する（迷惑電話お断り）

通話中

いたずら電話や無言電話など迷惑電話を受けたとき、次のメッセージを流して電話を切ることができます。

「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」

❶ 次の場合、この機能は使えません。
・こちらからかけた電話のとき
・通話中にダイヤルボタンや［**オンフック／キャッチ**］（親機）、［**キャッチ**］（子機）を押したとき
・キャッチホン・ディスプレイを利用して通話中の着信を受けたとき

親機

1 メッセージを流すときに
［**お断り**］を押し、受話器を戻す

オコトワリ チュウ

❶ メッセージは3回流れます。

❶ メッセージが流れている間は、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。
▷ **通話を再開するには：**受話器をとる。とっているときは受話器を戻し、もう一度とる。

子機

1 メッセージを流すときに
［**メニュー**］を押す

♦モドル

2 ［**上**］または［**下**］で
「オコトワリ」を選び、［**メニュー**］を押す

♦オコトワリ

❶ メッセージは3回流れます。

❶ メッセージが流れている間は、迷惑電話お断りを中止して、再び相手と話すことができます。
▷ **通話を再開するには：**［**通話**］を押す。

❶ ナンバー・ディスプレイを利用している場合、メッセージを流した相手先の電話番号が着信拒否リストに登録されます。
「チャクシンキョヒ　リスト　フル」と表示されたときは、着信拒否リストがいっぱいのため登録されません。
「受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）」（P.66）

携帯電話への通話サービスを簡単に使う（ケータイお得ダイヤル）

あらかじめ事業者識別番号を設定しておくと、携帯電話の番号をそのままダイヤルするだけで、設定した事業者識別番号をつけて発信されます。固定電話から携帯電話へかけるときの低料金サービスが簡単に利用できます。

対象となる携帯電話の番号： 090-、または**080-**で始まる電話番号
- 携帯電話の番号の前に184-、186-をつけても、発信できます。
- PHSの電話番号には対応できません。
- 次の方法でダイヤルした場合も、携帯電話の番号は事業者識別番号をつけて発信されます。
  ・電話帳　・リダイヤル　・コールバック（着信データから）

例）事業者識別番号に「0036」を設定したとき
ダイヤル： 090－△△△△－□□□□
発信番号： **0036－**090－△△△△－□□□□

親 機　子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を4回押す

ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ
ｹｰﾀｲ ｵﾄｸﾀﾞｲﾔﾙ ○×

ご購入時の設定：利用しない

3 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

ｼｷﾍﾞﾂ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：利用する
  ○×：利用しない
- ○×を選ぶと設定は終了します。

4 ［**セット**］を押す

ｼｷﾍﾞﾂ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

5 ダイヤルボタンで事業者識別番号を入力し［**セット**］を押す

ｼｷﾍﾞﾂ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
0036_
IPﾃﾞﾝﾜ ｶｲｼﾞｮ ○×

事業者識別番号の例： 0036（NTT東日本）
0039（NTT西日本）

6 ［**左**］または［**右**］でIP電話の解除を「する」または「しない」を選び［**セット**］を押す

- IP電話をご利用の方はIP電話解除番号も設定してください。
  ○×：解除する
  ○×：解除しない
- ○×を選ぶと設定は終了します。

手順6で○×（解除する）を選んだ場合は、手順7に進む

ｶｲｼﾞｮ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

7 ［**セット**］を押す

ｶｲｼﾞｮ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

8 ダイヤルボタンでIP電話解除番号を入力し［**セット**］を押す

ｶｲｼﾞｮ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
0000_
ｶﾝﾘｮｳ

- IP電話解除番号はIP電話の事業者にお問い合わせください。
  例： 0000

- 本機を、構内交換機（PBX）など、発信元の電話番号のほかにダイヤルの先頭に外線発信番号「0」をつける必要がある通信機器に接続した場合は、「ケータイ　オトクダイヤル」を○×（利用しない）に設定してお使いください。○×（利用する）に設定すると、正しくダイヤルできない場合があります。
- 通話先、通話時間や電話事業者の料金プランによっては、一部の通話料金が安くならないことがあります。事業者識別番号、料金プランなどサービスの詳細は固定電話の事業者にお問い合わせください。
- 発信するときに事業者識別番号は表示されません。誤った番号を設定すると正しく発信できないことがあります。
- 固定電話から携帯電話へかけるときのお得な料金サービスは、留守番電話の用件転送のときにも利用できます。
- 事業者識別番号を設定すると、電話がつながるまでの時間が長くなることがありますが、故障ではありません。
- ひかり電話サービスや直収電話サービス、ケーブルテレビ局が提供するIP電話サービスなどをご利用の場合、ケータイお得ダイヤルがご利用になれない場合があります。その場合は「ケータイお得ダイヤル」を「しない」に設定してお使いください。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

ケータイお得ダイヤルを一時的に解除する

携帯事業者の留守番電話サービスや自動車電話、沿岸船舶電話など一部ご利用になれない番号があります。そのような場合は、携帯電話番号の前に解除番号「1111」をダイヤルしてください。

1 携帯電話の番号をダイヤルするとき電話番号の前に「1111」をつける

例）事業者識別番号を設定しているときでも、次のように発信されます。
ダイヤル： 1111-090-△△△△－□□□□
発信番号： 090-△△△△－□□□□

ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整

ベル音／受話音／スピーカ音の各音量を調整できます。

ベル音

❗外線のベル音と内線のベル音は、どちらか一方の音量を調整すると双方とも同じ音量に調整されます。

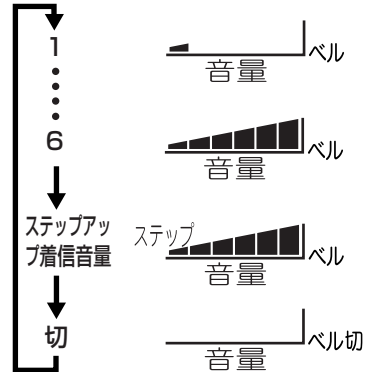
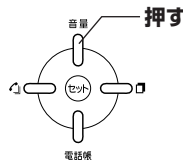
親 機

待受中と着信中では操作方法が異なります。

■ 待受中の調整

音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量でベルが鳴ります。続けて［**音量**］を押すと次のようにベル音が変わります。

- ［**音量**］を押すたびに6段階(1～6)で音が大きくなります。
- 音が最大（6）のとき［**音量**］を押すと、「ステップアップ着信音量」になります。「ステップアップ着信音量」はだんだん大きくなるベル音です。
- ステップアップ着信音量のとき［**音量**］を押すと、音が止まります（ベル切)。
- 音が止まっているとき［**音量**］を押すと、再び小さい音（1）が鳴ります。

▷**ベルの音を止めるには：**［**ストップ**］を押す。

■ 着信中の調整

着信中に［**音量**］を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

「ステップアップ着信音量」に設定されている場合、着信中に［**音量**］を押すと、押した時点で鳴っていた音より一段階大きい音量に設定されます。

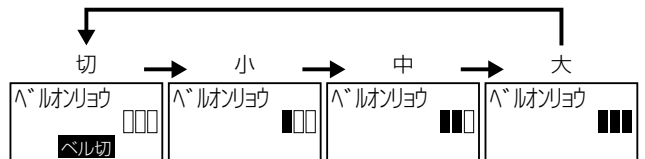
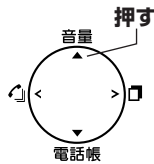
❗着信中に調整するときはステップアップ着信音量に設定できません。最大（6）のとき［**音量**］を押すと音が止まります（ベル切)。

子 機

待受中または着信中に音量を調整できます。

音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。

最初に押したときは、そのとき設定されている音量が表示されます。続けて［**音量**］を押すたび右の図の順で音量の設定が変わります。

- 音量は3段階（小／中／大）と「ベル切」です。

■ 着信中の調整

着信中に［**音量**］を押すと、そのとき設定されている音より一段階大きい音量に設定されます。

また、着信中に調整した場合、設定した音量は画面に表示されません（「ベル切」は表示されます)。

受話音

通話中

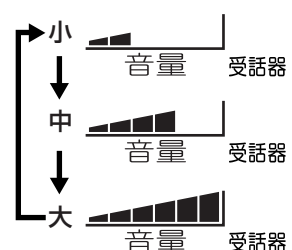
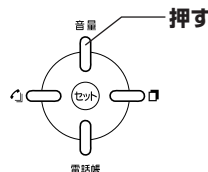
親 機

❗受話器をとり、「ツー」という音がしているときに操作します。または、通話中に操作します。

音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。

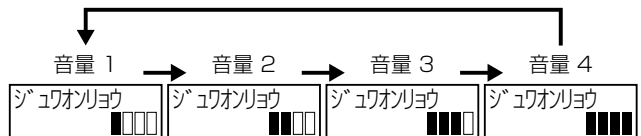
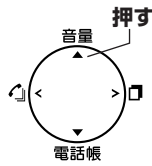
［**音量**］を押すたび右の図の順で音が変わります。

- 音量は3段階（小／中／大）です。

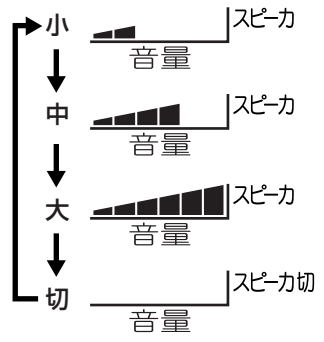
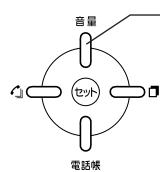
子 機

❶［**通話**］を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。または、通話中に操作します。

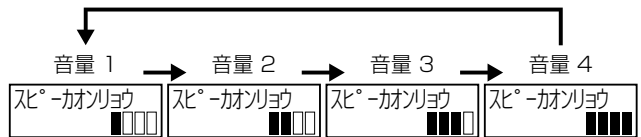
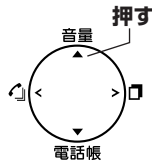
音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。
［**音量**］を押すたび右の図の順で音が変わります。
・ 音量は4段階（音量1 ／音量2 ／音量3 ／音量4）です。

スピーカ（モニタ音／再生音）

親 機

❶［**オンフック／キャッチ**］を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。また、用件などを再生しているときも操作できます。

音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。
［**音量**］を押すたび右の図の順で音が変わります。
・ 音量は3段階（小／中／大）と「切」です。

子 機

❶［**オンフック**］を押し、「ツー」という音がしているときに操作します。

音の大きさを調整するには［**音量**］を押します。
［**音量**］を押すたび右の図の順で音が変わります。
・ 音量は4段階（音量1 ／音量2 ／音量3 ／音量4）です。

ダイヤル回線でトーン信号を送る

通話中

ダイヤル回線に接続しているとき、一時的にトーン信号（プッシュ信号）に切り替えて信号を送ることができます。トーン信号は、電話による自動受付サービスなどを利用するときに必要になる場合があります。

親 機
子 機

❶ この操作は一時的にトーン信号に切り替えるもので、電話を切るともとの信号に戻ります。本機を接続している回線を変更した場合は回線種別の設定をやり直してください。「回線種別を設定し直すには」（P.22）
❶ 親機と子機の操作は同じです。

1 トーン信号が必要なときに［＊］を押す

❶ その後、ダイヤルボタンを押すとトーン信号が送られます。

べんりに使う
電話

電話をかけて通話中に送る（手動送信）

電話をかけてから、そのまま通話中にファクスを送れます。相手先のファクスが自動受信になっていない場合、電話で受信操作をお願いしてから送ります。

親機

- ❗子機では操作できません。
- ❗相手先から電話がかかってきた場合も、そのまま通話中にファクスを送れます。

1 原稿をセットする

- ❗「原稿セットのしかた」（P.28）
- ❗あらかじめ原稿に適した画質モードになっていることを確認してください。「原稿に小さい文字や写真があるとき（画質モード）」（P.51）

2 電話をかけ
相手に受信操作をお願いする

- ❗「電話をかける」（P.26）
- ❗受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がするときは、相手先のファクスが自動受信になっています。そのまま手順3に進みます。

3 ［**スタート／コピー**］を押し
電話を切る

- ❗［**スタート／コピー**］を押したあとに、相手が受信操作をしても送れます。
- ❗電話を切らずにそのまま通話を続けることもできます。
- ▷**途中で送信をやめるときは：**［**ストップ**］を押す。
原稿が排出されずに残ったときは、もう一度［**ストップ**］を押すと排出される。

▷**通話をしないでファクスを送るときは：** 「ファクスを送る（自動送信）」（P.29）
▷**「フタツ　レポート」がプリントされたとき：** 「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」（P.54）
❗途中で送信をやめたときは、「フタツ　レポート」はプリントされません。
❗「フタツ　レポート」をプリントしないように設定することもできます。「送れなかったファクスを確認する（不達レポート）」（P.54）
❗「フタツ　レポート」をプリントしないように設定しているときは、通信管理レポートを確認してください。「リストをプリントする」（P.77）

ボタンを押して受ける（手動受信）

本機はファクスが送られてきたときに自動的に受けられますが、自動的に受ける設定になっていないときや、着信ベルで受話器をとったときなどは、ボタンを押して受けることもできます。

受話器（子機）をとったときの音やメッセージに応じて次のように操作します。

受話器（子機）をとったとき	受信操作	状態
「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが流れる。 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」	**親機：**受話器を戻す **子機：**［**切**］を押す	「カンタン　ジュシン」が○×（する）になっています（ファクスかんたん受信P.54）。
「ポーポーポー」の音がする。 （メッセージは流れない）	ボタンを押して受ける （下記の操作手順）	ファクスが送られてきたとき受話器をとると、この音がします。
電話を受けて通話中に「ポーポーポー」の音がしたとき（相手がファクスを送ったとき）		通話中に相手がファクスを送ると「ポーポーポー」の音がします。
何も音がしないとき		相手先のファクスの機種によっては、何も音がしないことがあります。

親機

1 受話器から「ポーポーポー」の音がしたとき
または何も音がしないとき
［**スタート／コピー**］を押し、受話器を戻す

- ❗電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。
- ▷**ファクスを受けたあとも続けて話すには：**
通話中にファクスを受けたときは、受話器を戻さなければそのまま話が続けられる。

子機

1 受話口から「ポーポーポー」の音がしたとき
または何も音がしないとき
［**内線**］［**6**］を順に押す

- ❗電話を受けて「ポーポーポー」の音がする前に受信操作をしても、その後に送られてくるファクスを受けられます。
- ❗通話中にファクスを受けたあと、続けて話すことはできません。

原稿の読み取り濃度を変える

ファクスやコピーで原稿を読み取るときの濃度を調整できます。原稿の色や濃度に応じて調整してください。

親機

- 子機では操作できません。
- 受信したファクスの濃度は調整できません。相手先のファクスの送信濃度を調整してもらってください。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す　ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■□□

2 ［**左**］または［**右**］で濃度を調整し［**セット**］を押す

ご購入時の設定：■■■□□

- 通常は「■■■□□（普通）」に戻しておいてください。

■ **読み取り濃度の目安**

読み取り濃度	表示	原稿の目安
よりうすく読み取る	■□□□□	色の濃い原稿
↑	■■□□□	下地に色がある原稿、新聞など
普通	■■■□□	コピーした原稿、黒のペンで書いた原稿など
↓	■■■■□	鉛筆で書いた原稿など
より濃く読み取る	■■■■■	うすい色の原稿

- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
  - ・青色のサインペンやボールペンで書いた原稿（ブルーブラックや紺色に近いものは読み取れます）
  - ・うすい鉛筆や蛍光マーカーで書いた原稿　・下地が赤色で文字や図が黒色の原稿（モノクロでは赤と黒が判別できません）
- コピーをとると読み取り濃度を確認することができます。ファクスを送る前に確認することをおすすめします。

原稿に小さい文字や写真があるとき（画質モード）

原稿に応じて画質モードを調整できます。画質モードを調整すると小さい文字や写真の原稿を鮮明に読み取ったり、大きな文字の原稿を短時間に読み取ったりすることができます。

親機

- 子機では操作できません。

1 原稿をセットする

2 設定したい画質モードが表示されるまで［**画質**］をくり返し押す

3 画質モードを調整したら そのまま続けてファクスを送ったり、コピーをとる

ご購入時の設定：フツウ

- 「原稿セットのしかた」（P.28）
- 原稿をセットすると、現在設定されている画質モードが表示されます。
- ［**画質**］を押すたびに次の順で変わります。
  フツウ → チイサイ → シャシン（→ フツウ に戻る）

▷ **ファクスを送る：** 「ファクスを送る（自動送信）」（P.29）
▷ **コピーをとる：** 「コピーをとる」（P.29）

■ **画質モードの目安**

画質モード	読み取り時間	原稿の画質（目安）	注意
フツウ ※1	短い	文字の大きさがこのくらいのとき	※1：「フツウ」に設定しても、コピーは「チイサイ」で読み取られます。 ※2：色地の原稿を送るときは「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。「シャシン」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。 ※3：「シャシン」に設定したとき白い部分にゴマ模様が出るときは、読み取り濃度をうすくしてみてください。「原稿の読み取り濃度を変える」（本ページ上） ・黒い部分が多い原稿、色地の原稿、縦の罫線のある原稿はファクスの送信時間が長くなることがあります。 ・画質モードの設定によってモーター音が大きくなることがありますが、故障ではありません。 ▷ **色のついた原稿や文字がうすい原稿のときは：**「原稿の読み取り濃度を変える」（本ページ上）
チイサイ	↕	文字の大きさがこのくらいのとき	
シャシン ※2、3	長い	写真があるとき	

べんりに使う　ファクス

自分の名前や電話番号をつけて送る

自分の電話番号を相手先の受信記録に表示させたり、自分の名前や電話番号を相手先の記録紙にプリントさせたりできます。名前や電話番号をつけて送ると、相手先では誰から受けたファクスなのか確認できます。

相手先の受信記録に電話番号を表示する

相手先の受信記録に表示させる電話番号を登録します。

親 機

- 子機では操作できません。
- 登録した電話番号は相手先のディスプレイに表示されたり、通信管理レポートにプリントされたりします。ファクスの内容と一緒に記録紙にプリントされる電話番号ではありません。
- 相手先のファクスによっては表示やプリントができないことがあります。

1 ［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を3回押し
［**セット**］を押す

ﾋﾂﾞｹ･ｼﾞｺｸ

ｼﾞﾌﾞﾝﾉ ﾊﾞﾝｺﾞｳ

ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ
_

ご購入時の設定：未登録

3 ダイヤルボタンで
自分の電話番号を入力し
［**セット**］を押す

ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ
0312345678_

電話番号の桁数：最大20桁

▷ **入力した電話番号を修正するには：**
［**左**］または［**右**］で修正する文字にカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力し直す。

- ご自宅の電話番号が変わったときは登録し直してください。

▷ **登録した電話番号を変更するには：**手順3で［**消去**］を押し、番号を入力し直す。

▷ **登録した電話番号を消すには：**手順3で［**消去**］を押して電話番号を消してから、［**セット**］を押す。

相手先の記録紙に印字する発信元を登録する

送ったファクスの内容と一緒に相手先の記録紙にプリントさせる名前や電話番号を登録します。

親 機

- 子機では操作できません。
- 登録した文字はファクスを送ると相手先の記録紙の上端にプリントされます。

1 ［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を5回押し
［**セット**］を押す

ﾋﾂﾞｹ･ｼﾞｺｸ

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

ﾊｯｼﾝﾓﾄﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ
_

ご購入時の設定：未登録

3 ダイヤルボタンで
プリントさせる名前や電話番号を入力し
［**セット**］を押す

ﾊｯｼﾝﾓﾄﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

登録できる文字数：最大40文字

- 「文字入力のしかた」（P.104）
- 発信元を示す名前や電話番号を入力します。

- 電話番号をプリントさせるには、入力する文字列の中に含めます。「相手先の受信記録に電話番号を表示する」(本ページ上)で登録した電話番号はプリントされません。

▷ **登録した発信元を変更するには：**手順3で［**消去**］を押し、入力し直す。

▷ **登録した発信元を消すには：**手順3で［**消去**］を押して全ての文字を消してから、［**セット**］を押す。

相手先の記録紙に発信元を印字する

あらかじめ登録した発信元の名前や電話番号を、相手先の記録紙にプリントするかしないかを設定します。

親機

- 子機では操作できません。
- プリントさせる発信元の名前や電話番号をあらかじめ登録する必要があります。
  「相手先の記録紙に印字する発信元を登録する」（P.52）

1 ［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を4回押す

ヒヅ゛ケ・ジ゛コク
ハッシンモト キロク ○×

3 ［**左**］または［**右**］で
プリントを「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：プリントする

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：プリントする
  ○×：プリントしない

- ○×（プリントする）に設定すると、本機に設定した日付や時刻、ページ番号もプリントされます。
- ○×（プリントしない）を選択すると、日付や時刻、ページ番号もプリントされません。
- システムリストをプリントすると登録内容が確認できます。「リストをプリントする」（P.77）

■ **プリント例（相手先の記録紙）**

自動的にプリントされます。 **登録した内容がプリントされます。** 時刻を設定しているときは日付・時刻がプリントされます。 ページ番号が自動的にプリントされます。

FROM　ニッポンデンキ 0312345678　2006. 8. 21 12:00　P. 1

ダイヤルトーンを待って発信する

ファクスを送るときや用件転送をするとき、ダイヤルトーンを検出してから発信するように設定できます。

親機

- 子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を7回押す

ヨミトリ ノウド ■■■□□
ダ゛イヤルトーンケンシュツ ○×

3 ［**左**］または［**右**］で○×を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：しない

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：する
  ○×：しない

▷ **ダイヤルトーンを待たずに発信するには：**手順3で○×（しない）を選ぶ。

海外へ送るとき

海外へファクスを送るとき通信ミスが少なくなるように設定できます。

親機

- 子機では操作できません。
- ファクスを受けるときの通信には影響しません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を2回押す

ヨミトリ ノウド ■■■□□
カイガ゛イ ツウシン ○×

3 ［**左**］または［**右**］で○×を選び
［**セット**］を押す

海外への送信が終了したら、○×（しない）に戻してください。

ご購入時の設定：しない

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：する
  ○×：しない

送れなかったファクスを確認する（不達レポート）

ファクスが正常に送れなかったとき、不達レポートを出力するかしないかを設定できます。

親 機

子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を3回押す

ヨミトリ ノウド ■■■□□
フタツ レポート ○×

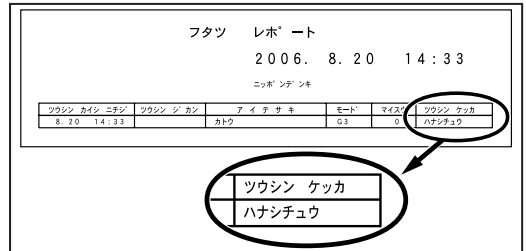
3 ［**左**］または［**右**］で
不達レポートの出力を「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：出力する

カーソルを移動して選びます。
○×：出力する
○×：出力しない

■「ツウシン　ケッカ」の見かた

表示	不達の原因
ハナシチュウ	相手先が通話中または通信中
ヨビダシ	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた
ムオウトウ	・相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・電話回線が正しく接続されていない。または接続コードが断線している
（2桁の数字）	「エラーコード表」（P.78）

■ 不達レポートの例

電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する（ファクスかんたん受信）

ファクスを受けたときの着信ベルで受話器をとっても、受話器を戻すだけでファクスを受けられるように設定できます。
手動受信の操作をする必要がなくなります。

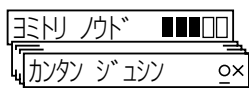
親 機

子機では操作できません。
ファクスを受けたときに受話器をとると、「ポーポーポー」の音がしたあと、次のメッセージが流れます。
「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を1回押す

ヨミトリ ノウド ■■■□□
カンタン ジュシン ○×

3 ［**左**］または［**右**］で○×を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：する

カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

電話を受けたときに音質によって本機がファクスの受信動作をする場合があります。ひんぱんに起こる場合は○×（しない）に設定してください。

手動で受けるときは：手順3で○×（しない）を選ぶ。

ファクスを手動で受けるには： 「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）

受信のときいったんメモリに蓄積する（メモリ受信）

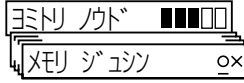
受けたファクスをいったんメモリに蓄積しながらプリントするように設定できます。紙づまりなどにより受信の途中でプリントできなくなったときも、メモリに蓄積されたファクスをあとからプリントできます。

メモリ受信を設定する／解除する

親 機　❶子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を6回押す

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ▮▮▮▯▯
ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ○×

3 ［**左**］または［**右**］で
メモリ受信を「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

メモリに蓄積できる文書量（目安）
SP-DA220/220W：約85枚
SP-DA120/120W：約25枚
※1枚：A4サイズ（700文字／ページ）
メモリに蓄積できる文書数：最大10文書
ご購入時の設定：する
❶カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

❶正常にプリントされたページはメモリから消去されます。

❶メモリ残量が不足すると受信できないことがあります。不要な用件を消去してください。「録音された用件を全て消去する」（P.58）

❶不要な用件を消去してもデータ量の多いファクスは受信できないことがあります。そのときは、「メモリ　ジュシン」を○×（しない）に設定してください。また、「メモリ　ジュシン」を○×（しない）に設定したときは、多めの記録紙を必ずセットしておいてください。記録紙がないと通信異常になったり、受信したページが記録されない場合があります。通常は○×（する）に設定しておくことをおすすめします。

メモリ代行受信

「メモリ　ジュシン」を○×（しない）に設定していても、次のような場合は受けたファクスがメモリに蓄積されます。ただし、受信の途中で起こった場合はメモリに蓄積されません。

・プリントされていないファクスやレポートがメモリに残っている　・記録紙がつまっている
・インクフィルムがない　・操作パネルが開いている　・サーマルヘッドが過熱している

メモリ代行受信されると、ディスプレイに右のように表示されます。

ｲﾝｸﾌｨﾙﾑ ｺｳｶﾝ　⇔交互　ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

左側の表示は、蓄積されているファクスをプリントするために、まず対応してほしいことを示しています。

メモリ受信の設定	発生のタイミング	受信したファクス
○×（する）	ファクスを受ける前	メモリに蓄積する
	ファクスの受信中	
○×（しない）	ファクスを受ける前	メモリに蓄積する
	ファクスの受信中	メモリに蓄積されない（発生前の内容はプリントされている）

❶メモリ残量が不足して受信できないときは、着信ベルが鳴り続けます。不要な用件を消去してください。「録音された用件を全て消去する」（P.58）

メモリ代行受信したファクスをプリントする

メモリ代行受信によりメモリに蓄積されたファクスをプリントします。

親 機　❶子機では操作できません。

1 プリントの妨げとなっている
原因を取り除く

ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ
⇔交互
ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

❶対処のしかた「困ったときは（Q&A）」（P.81）

2 ［**スタート／コピー**］を押す

ｷﾛｸｼｦ ｾｯﾄｼﾃ
ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに
十分な記録紙が入っているか確認し
［**スタート／コピー**］を押す

ﾒﾓﾘ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

❶記録紙が十分に入っていないときは、記録紙を入れてから［**スタート／コピー**］を押します。「記録紙のセット」（P.23）

▷**「キロクシヲ　イレテクダサイ」が表示されたら：**複数枚の記録紙を入れ（記録紙カセット：20枚まで、記録紙サポーター：5枚まで）、手順2からやり直す。「記録紙のセット」（P.23）

べんりに使う　ファクス

メモリに蓄積したファクスを消去する

メモリ受信で蓄積されたファクスを消去します。不要なファクスはプリントせずに消去できます。

親 機

- 子機では操作できません。
- 蓄積されたファクスの最も古い文書が消去されます。2つ以上の文書を一度に消去することはできません。
  ※ 文書とは、ファクス1件分の文書全部のことです。ファクス1件が10枚分の文書だった場合、その10枚全部が一度に消去されます。
- 消去した文書をもとに戻すことはできません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を8回押し
［**セット**］を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
1:ｼｮｳｷｮ 2:ﾁｭｳｼ

3 ［**1**］を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

▷**消去をやめるときは：**［**2**］を押す。

受信したファクスを縮小する／分割する

受信したファクスを縮小してプリントしたり、プリント可能な範囲を超える部分を分割するように設定できます。

縮小率を設定する

親 機

- 子機では操作できません。
- 発信元の記録がついたA4サイズの原稿が送られてくると、A4の記録紙に収まらないことがあります。このようなときに、縮小してプリントするとA4の記録紙1枚に収めることができます。
- 縮小すると画質が劣化することがあります。鮮明な画質でプリントするには100%に設定してください。
- もとの原稿と比較した正確な縮小率にはならないことがあります。プリントされるサイズは、相手先のファクスの機種や回線の状態で変化します。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ

2 ［**メニュー**］を4回押す

ｼﾞｭｼﾝｼｭｸｼｮｳ 93%

3 ［**左**］または［**右**］で縮小率を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定： 93%

85% ⇄ 90% ⇄ 93% ⇄ 100%　右／左

分割してプリントする

受信したファクスが記録紙1枚のプリント可能な範囲に収まらない場合、分割してプリントすることができます。

親 機

- 子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**3**］［**セット**］を順に押す

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ

2 ［**メニュー**］を5回押す

ﾌﾞﾝｶﾂ ｷﾛｸ ○×

3 ［**左**］または［**右**］で○×を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：する

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：する
  ○×：しない

▷ **分割記録をしないときは：**手順3で○×（しない）を選ぶ。

- ○×（しない）に設定すると、1枚の記録紙に収まらなかった部分はプリントされず、消去されます。

ファクス情報サービスを使う

❗ファクス情報サービスの方式や詳しい内容については、提供元にお問い合わせください。

親 機 ❗子機では操作できません。

1 受話器をとり、「ツー」という音を確認する

2 ダイヤルボタンで
提供元の電話番号を押す

3 提供元のガイダンスに従って操作する

4 ［**スタート／コピー**］を押し
受話器を戻す

▷**電話番号を間違えたときは：**
受話器を戻し、もう一度とってからダイヤルし直す。

❗ダイヤル回線をご利用の場合、トーン信号への切り替えが必要なことがあります。「ダイヤル回線でトーン信号を送る」（P.49）

留守番電話

録音された用件を全て消去する

まだ一度も再生していない用件も含めて全て消去します。

親 機 ❶子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す　　ｾﾞﾝﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2 ［**セット**］を押す

▷**消去をやめるときは：**［**ストップ**］を押す。

▷**一度再生された用件だけ消去するには：** 「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）

自作の応答メッセージを使う

留守番電話の応答メッセージにはあらかじめ内蔵された固定のメッセージがありますが、その他に自分で録音したメッセージも使えます。応答メッセージの録音は本機を使って行います。

親 機 ❶子機では操作できません。

録音できるメッセージの数： 2種類（録音し直せる）
録音時間：約20秒（1種類のメッセージにつき）
❶留守設定されたままでも録音できます。
❶できるだけ人の声だけのメッセージを録音することをおすすめします。本機の録音方式は人の声に合わせて設定されています。

❶次のメッセージが流れたときは、不要な用件を消去してから録音してください。
「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」
「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）

応答メッセージを録音する

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す　　ｾﾞﾝﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2 ［**メニュー**］を1回押し［**セット**］を押す　　ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ ﾛｸｵﾝ ／ ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ 1

3 ［**左**］または［**右**］で「オウトウメッセージ1」または「オウトウメッセージ2」を選び［**セット**］を押す　　ｼﾞｭﾜｷｦ ｱｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ

❶すでに録音されたメッセージがあると上書き消去されます。録音し直す方を選んでください。

4 受話器をとり［**スタート／コピー**］を押す　　ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ／ ﾛｸｵﾝﾁｭｳ 20"

❶録音する音声は受話器に向けます。
❶20秒以内で録音します。20秒を過ぎると自動的に録音が終了します。

5 録音を終了するときは［**ストップ**］を押し受話器を戻す　　ｼﾞｭﾜｷｦ ｵｲﾃｸﾀﾞｻｲ ／ ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲﾁｭｳ

❶終了すると録音したメッセージが再生されます。
❶録音中に着信があると中止されます。最初から録音し直してください。
❶［**ストップ**］を押さずに受話器を戻すと、受話器を戻す音が録音されてしまいます。

▷**録音したメッセージを変更するには：**最初から録音し直す。

録音した応答メッセージを消去する

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す　　ｾﾞﾝﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2 ［**メニュー**］を2回押し［**セット**］を押す　　ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ ｼｮｳｷｮ ／ ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ 1

❶本機にあらかじめ内蔵された固定のメッセージは消去できません。

3 ［**左**］または［**右**］で「オウトウメッセージ1」または「オウトウメッセージ2」を選び［**セット**］を押す　　ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

❶消去したい方を選んでください。
▷**消去をやめるときは：**［**ストップ**］を押す。

応答メッセージを選ぶ

1 留守設定をして
応答メッセージが流れている間に
［**左**］または［**右**］で選択する

オウトウメッセージ　コテイ

- 留守設定をして応答メッセージが流れている間に操作します。「留守設定をする」（P.30）
- 留守設定をしたときは、前に使用したメッセージが選択されています。
- 自作のメッセージが録音されていないと選択できません。「応答メッセージを録音する」(P.58)

外出先から操作する（外線リモート）

外出先から電話をかけて留守番電話に録音された用件を聞くことができます。留守番電話の設定を変えることもできます。

- 着信モードの設定が「デンワセンヨウ」で、留守設定をしていない場合は、外線リモート操作ができません（着信モードP.74）。

リモート操作を設定する／解除する

外出先からリモート操作ができるように設定します。外出先からの電話がご本人であることを確認するためのパスワード(4桁の暗証番号）も合わせて設定します。

親機

- 子機では操作できません。
- パスワードは4桁の数字を自分で決めます。また、他人に知られないように注意してください。

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す

ゼンソヨウケン ショウキョ

2 ［**メニュー**］を4回押す

リモート ソウサ　○×

ご購入時の設定： リモート操作しない

3 ［**左**］または［**右**］で
リモート操作を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：リモート操作する
  ○×：リモート操作しない

手順3で○×（リモート操作する）を選んだ場合は手順4に進む

リモートパスワード _

- ○×を選ぶと設定は終了します。

4 ダイヤルボタンで
パスワードを入力し
［**セット**］を押す

リモートパスワード 1234

カンリョウ

▷ **入力を間違えたときは：**［**消去**］を押して消し、もう一度入力し直す。
▷ **すでに入力されているときは：** 変更するには入力し直す。変更しないときはそのまま［**セット**］を押す。

外出先から留守設定をする

外出先から本機に電話をかけて操作します。トーン信号（プッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

1 外出先から本機に電話をかける

- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。

2 呼出音が変わったら
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#
ダイヤルの例

- パスワードは「リモート操作を設定する／解除する」（本ページ上）で決めた4桁の数字です。

3 「パスワードが一致しました。」
「留守設定をしました。」
のメッセージが聞こえたら
電話を切る

▷ **「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：** もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#)。
- パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

外出先から用件の再生／留守設定／用件転送設定を操作する

外出先から本機に電話をかけて操作します。トーン信号（プッシュ信号）を送れる電話機からかけてください。

- 留守設定されていない場合は先に留守設定をします。「外出先から留守設定をする」（本ページ上）
- 電話をかけたときに応答メッセージが流れず呼出音が変わったら、留守設定されていません。

1 外出先から本機に電話をかける

- ダイヤルインをご利用の場合は、親機の番号にかけてください。

2 応答メッセージが流れている間に
#、パスワード、#の順でダイヤルする

#1234#
ダイヤルの例

❗最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。

❗パスワードは「リモート操作を設定する／解除する」（P.59）で決めた4桁の数字です。

3 「パスワードが一致しました。」
「用件は○件です。」
のメッセージのあとに
用件が再生される

▷**「パスワードを入れ直してください。」のメッセージが聞こえたら：**もう一度、パスワードをダイヤルする（例：#1234#）。

❗パスワードの入力を3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

さまざまな操作ができます
■外線リモート操作（下表）

4 操作が終わったら
電話を切る

❗用件が再生されたあと、しばらくの間（約1分間）何もしないと電話が切れます。

■外線リモート操作

操作		ダイヤルボタン（外出先の電話機）	詳細
再生	1つ前の用件	#1#（再生中に押す）	1つ前の用件を再生する。 1つ目の用件を再生しているときは最初から再生する。
	再生	#2#	最初から再生する。
	速度を変える	#2#（再生中に押す）	通常→高速→低速→（通常に戻る）の順で変わる。
	次の用件	#3#（再生中に押す）	次の用件を再生する。続けて押すとさらに次の用件を再生する。
消去	再生中の用件（1件）	#8#（再生中に押す）	再生中の用件（1件）が消去される。
	再生済の用件（全件）	#8# （ピッピッピの間に押す）	再生を終了したあと、「ピッピッピ」の音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件が全て消去される。
用件転送	設定	#61#	「用件転送を設定する／解除する」（P.61）
	解除	#62#	
留守設定	設定	#7#	「留守設定をする」（P.30） 「留守設定を解除する」（P.31）
	解除	#9#	

❗ナンバー・ディスプレイを利用している場合は、用件のあとに相手先の電話番号が音声で通知されます。
❗携帯電話やPHSから操作するときは雑音が入らないように注意してください。
❗外線リモートで再生するだけでは用件は消去されません。

録音された用件があるか外出先から確認する（トールセイバ）

呼出音の回数で録音された用件があるかどうか確認できます。録音された用件がないときは通話料金がかかる前に電話を切ることができます。

トールセイバを設定すると電話がつながるまでの呼出音の回数が右に示すように変わります。

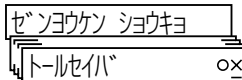
呼出音が3回鳴ったときは録音された用件がないので、そのとき電話を切ると通話料金がかかりません。

用　件	呼出音
ある	2回
ない	5回

親機　❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を3回押す

ゼンヨウケン ショウキョ
トールセイバ ○×

ご購入時の設定：しない

3 ［**左**］または［**右**］で
トールセイバを「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

❗カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

❗すでに再生した用件でも消去されずに残っていると、録音された用件があるものとして動作します。

録音した用件を外出先に転送する（用件転送）

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておくと、留守番電話の用件が録音されたときに自動的に転送先に電話をかけて、用件を転送させることができます。

転送先に設定できる電話番号： 1件
- あらかじめ「リモート　ソウサ」を○×（する）にしておく必要があります。「リモート操作を設定する／解除する」（P.59）
- 転送先にはトーン信号（プッシュ信号）を送れる電話機を指定してください。
- おやすみモードに設定しているときは用件転送されません。
- 用件が録音されてから転送されるまでに親機の電源が切れた場合は用件転送されません。

用件転送を設定する／解除する

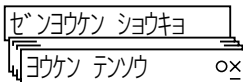
親機

- 子機では操作できません。
- 転送先に指定した携帯電話やPHSの電源が入っていないときは転送できないことがあります。
- 録音された用件が6秒未満のときは転送されません。
- 転送を試みている途中で新たな用件が録音された場合は、先に録音された用件から転送を試みた回数が手順5で設定した回数になった時点で、転送は中止されます。

1 ［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す

ｾﾞﾝｿﾞｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2 ［**メニュー**］を5回押す

ﾖｳｹﾝ ﾃﾝｿｳ　○×

ご購入時の設定： 用件転送しない

3 ［**左**］または［**右**］で用件転送を「する」または「しない」を選び［**セット**］を押す

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：用件転送する
  ○×：用件転送しない

手順3で○×（用件転送する）を選んだ場合は手順4へ進む

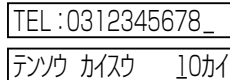
TEL：_

- ○×を選ぶと設定は終了します。

4 ダイヤルボタンで転送先の電話番号を入力し［**セット**］を押す

TEL：0312345678_

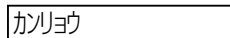
ﾃﾝｿｳ ｶｲｽｳ　10ｶｲ

電話番号の桁数： 最大40桁

▷**間違えた番号を消す：**［**消去**］

5 ダイヤルボタンで転送回数を入力し、［**セット**］を押す

ｶﾝﾘｮｳ

設定できる転送回数： 01 ～ 10回
- 電話がつながらなかったときに指定した回数だけくり返し転送を試みます。

転送を試みる時間間隔：
1 ～ 5回までは1分間隔、それ以後は30分間隔でくり返します。

用件転送は留守設定がされているときに動作します。
「留守設定をする」（P.30）

▷**転送先の電話番号や転送回数を変更するときは：** 手順1からやり直す。

転送先で用件を聞く

あらかじめ指定した電話機で受けて操作します。「用件転送を設定する／解除する」（本ページ上）

1 転送先で電話を受ける

2 メッセージが流れている間に#、パスワード、#の順でダイヤルする

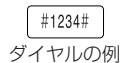
#1234#
ダイヤルの例

- 最初の「#」をダイヤルすると応答メッセージが止まります。止まらないときはもう一度「#」からダイヤルします。
- パスワードは「リモート操作を設定する／解除する」（P.59）で決めた4桁の数字です。

3 「パスワードが一致しました」「用件は○件です」のメッセージのあとに用件が再生される

▷**「パスワードを入れ直してください」のメッセージが流れたら：** もう一度、パスワードを入れ直す（例：#1234#）。

4 用件を聞き終わったら電話を切る

- パスワードを3回間違えると電話が切れます。そのときは電話をかけ直してください。

- 手順2でメッセージが5回流れる間にパスワードをダイヤルしないと電話が切れます。
- パスワードを入力する前に電話を切ると用件転送がくり返されることがあります。

▷**転送先で再生速度の切り替えや用件の消去／用件転送の設定や解除／留守設定などを行うには：**
手順2でパスワードをダイヤルしたあとに外線リモートの操作をする。「■外線リモート操作」（P.60）

着信ベルや動作音を鳴らなくする（おやすみモード）

おやすみモードに設定すると着信ベルやファクス受信時の動作音が鳴らなくなります。就寝時など、電話やファクスの動作音が気になるときに設定してください。

❶おやすみモードに設定すると
・着信ベルが鳴りません。ただし、特定の相手先からの着信だけベルを鳴らすように設定することもできます。
「あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）」（P.65）
・留守設定されます。受けた電話には留守番電話が応答します。モニタスピーカから音（相手の声など）は出ません。
・ファクスはメモリに受信します。「ピー」という受信音は鳴りません。

❶メモリ残量が不足していると、留守設定されないことやデータ量の多いファクスを受信できないことがあります。不要な用件や、メモリに蓄積されたファクスを消去してから設定してください。
「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）
「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）

❶おやすみモードのとき受けた電話やファクスは
・受けた電話は留守番電話が録音します。「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）
・受けたファクスはメモリに蓄積されます。おやすみモードを解除すると記録紙にプリントされます。

おやすみモードを設定する／解除する

親機　❶子機では操作できません。

1［**おやすみ**］を押す
・消灯しているときに押すと、設定されます。
・点灯しているときに押すと、解除されます。

設定されると:［**おやすみ**］と［**留守**］が点灯します。
・用件が録音されると［**留守**］が点滅します。
・メモリに受信したファクスがあると［**おやすみ**］が点滅します。

解除されると:［**おやすみ**］と［**留守**］が消灯します。
・録音された用件があると再生されます。「留守設定を解除する」（P.31）
・メモリに受信したファクスがあるとプリントされます。

■ **おやすみモードを設定する前に留守設定をしていたときは**
・おやすみモードだけ解除するには：［**おやすみ**］を押す。　・おやすみモードと同時に留守設定も解除するには：［**留守**］を押す。

開始時刻／終了時刻で自動的に切り替える

あらかじめ時間帯（開始時刻／終了時刻）を設定しておくと、自動的におやすみモードに切り替わります。

❶開始時刻と終了時刻をそれぞれ設定します。
・開始時刻だけ設定した場合は、手動で解除します。
・終了時刻だけ設定した場合は、手動でおやすみモードに設定したあと、終了時刻になると自動的に解除されます。

❶次の場合は、おやすみモードが自動的に解除されたときに留守設定されます。
・留守設定してから、おやすみモードを設定したとき。
・用件が録音されているとき。

❶メモリ残量が不足しているとおやすみモードに切り替わらないことがあります。不要な用件やメモリに蓄積されたファクスを消去してください。
「録音された用件を聞く／消去する」（P.32）
「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）

❶停電したときはおやすみモードが解除されます。現在の時刻を設定するまでタイマ切替は機能しません。「回線種別や時刻を設定する」手順2（P.21）

親機　❶子機では操作できません。

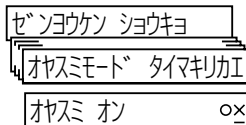
ご購入時の設定
おやすみ開始時刻：設定しない
おやすみ終了時刻：設定しない

1［**メニュー**］［**4**］［**セット**］を順に押す

ｾﾞﾝｼｮｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2［**メニュー**］を6回押し［**セット**］を押す

ｵﾔｽﾐﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｷﾘｶｴ

ｵﾔｽﾐ ｵﾝ　○×

3［**左**］または［**右**］で、開始時刻の設定を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

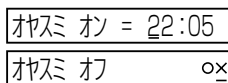
❶カーソルを移動して選びます。
○×：設定する
○×：設定しない

手順3で○×（設定しない）を選んだ場合は、手順5へ進む

4 ダイヤルボタンで開始時刻を入力し［**セット**］を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾝ ＝ 22：05

ｵﾔｽﾐ ｵﾌ　○×

❶時刻はいずれも24時間制で入力します。
一桁の時刻は十の位に0を入れます。
例：午後10時5分→［**2**］［**2**］［**0**］［**5**］
入力した時刻の訂正方法
1桁訂正：カーソルを合わせ再入力する
全て消去：［**消去**］を押す

5［**左**］または［**右**］で終了時刻の設定を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

❶○×を選ぶと設定は終了します。

6 ダイヤルボタンで終了時刻を入力し、［**セット**］を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾌ ＝ 07：00

ｶﾝﾘｮｳ

▷ **表示された時刻を変更しないときは：**
そのまま［**セット**］を押す。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイは、電話をかけてきた相手先やファクスを送ってきた相手先の電話番号を表示する回線付加サービスです。電話に出る前に相手先を確認したり、相手先の電話番号を利用した便利な機能がご利用になれます。

ナンバー・ディスプレイにより本機の便利な機能がご利用になれます。

便利な機能	詳細	参照先
着信表示	電話をかけたり、ファクスを送ってきた相手先の電話番号が表示されます。	P.64
着信データ	相手先の電話番号が記録されます（親機：20件、子機：20件）。 ・留守設定されているときの着信を記録し、用件再生とともに音声で通知します。 ・着信データに記録された相手先を電話帳または着信拒否リストに登録できます。	P.67 P.69
コールバック	着信データに記録された電話番号を使って簡単に電話がかけられます。	P.68
着信拒否	あらかじめ登録した相手先からの着信を拒否できます。	P.66
迷惑電話お断り	お断りメッセージで応答した相手先を着信拒否リストに登録できます。	P.46
応答メッセージ選択	相手先に応じて応答メッセージを選べます。自作の応答メッセージが使えます。	P.64
着信鳴り分け プライベートコール	・相手先に応じてベル音やメロディを選べます。 ・相手先に応じてベル音を鳴らす親機や子機を選べます。	P.65
とくていコール	特定の相手先からの着信だけベルを鳴らせます（おやすみモードのとき）。	P.65
番号リクエスト	番号非通知でかけてきた相手先に番号通知をお願いするメッセージで応答できます。	P.66

❗ナンバー・ディスプレイによる本機の機能をご利用になる場合、次のことに注意してください。
- 電話帳などに登録する電話番号は市外局番から入力してください。また、「－（ポーズ）」「＊」「#」は入力しないでください。
- 停電しているときはご利用になれません。

ナンバー・ディスプレイをご利用になるにはNTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。

NTT東日本・NTT西日本	**電話番号：116**（局番なし） **受付時間：**午前9:00～午後9:00（年中無休、ただし年末年始12月29日～1月3日を除く）

❗次の場合は電話番号が表示されません。
- 国際電話　・オペレータ扱いの電話（100番・105番）　・公衆電話　・番号非通知でかけてきた電話　・圏外からかけてきた電話
- 電話回線の雑音などで正常にデータを受信できなかったとき

❗ナンバー・ディスプレイに加入すると次のサービスがご利用できなくなります。
- 転送電話（ボイスワープを除く）　・ダイヤルQ2（情報提供側）　・テレドーム（情報提供側）　・ノーリンギング情報サービス（センター回線）

本機を接続している回線によって次のことにご注意ください。

ブランチ接続（→P.14）	ナンバー・ディスプレイをご利用になれません。
構内交換機／ホームテレホン	ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。
ISDN回線	ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をご利用ください。

同時に次の回線付加サービスをご利用になるときはご注意ください。

ダイヤルイン	「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本機はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。
ネーム・ディスプレイ	本機はネーム・ディスプレイサービスに対応していません。

ナンバー・ディスプレイを設定する／解除する

親機　❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

ご購入時の設定：利用する

2 ［**左**］または［**右**］で
ナンバー・ディスプレイの利用を「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

❗カーソルを移動して選びます。
○×：利用する
○×：利用しない

手順2で○×（利用する）を選んだ場合は
手順3に進む

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ ｼﾃｲ

❗○×を選ぶと設定は終了します。

3 ［**ストップ**］を押す

［**ストップ**］を押さずに、続けてナンバー・ディスプレイによる便利な機能を設定することもできます。

ナンバー･ディスプレイのサービスへの加入の有無に応じて設定してください。異なる設定をすると電話が受けられないことがあります。
加入している場合：○×利用する　**加入していない場合：**○×（利用しない）
ただし、モデムダイヤルインに加入している場合は、ナンバー･ディスプレイの加入にかかわらず○×（利用する）に設定してください。

ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示

着信があると本機のディスプレイに次のように表示されます。電話をかけてきた相手先が電話帳に登録されている場合と、登録されていない場合では表示が異なります。また、通信の状態が表示されることもあります。

電話帳	親機の表示	子機の表示
登録されている	ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL:0312345678	ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ 0312345678
登録されていない	ｱｲﾃ:0312345678	0312345678

着信の状態	表示（親機／子機）
番号非通知でかけてきたとき	ヒツウチ
公衆電話からかけてきたとき	コウシュウデンワ
海外など圏外からかけてきたとき	ヒョウジケンガイ
電話回線の雑音などで正常に受信できなかったとき	ジュシンエラー

同じ電話番号に対して親機と子機に登録された相手先名が異なるときは、それぞれの相手先名が表示されます。

自分の電話番号を通知する／非通知にする

相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるときに指定できます。これは「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容によっても異なります。詳しくはNTT東日本・NTT西日本のサービス窓口へお問い合わせください。

相手先に電話番号を通知するか非通知にするか	「発信者番号通知サービス」のお申し込み内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
通知する	相手先の電話番号をそのままダイヤルする	［1］［8］［6］のあとに相手先の電話番号をダイヤルする
非通知にする	［1］［8］［4］のあとに相手先の電話番号をダイヤルする	相手先の電話番号をそのままダイヤルする

電話番号を通知する相手先にはご注意ください。意図しない相手からの電話勧誘など、思わぬ使われかたをすることがあります。

自作のメッセージで応答する相手先を選択する

留守設定しているとき、自作のメッセージで応答する相手先を選択できます。電話帳に登録されている相手先だけ自作のメッセージで応答するか、全ての相手先に自作のメッセージで応答するかを設定します。

○×（選択する）	電話帳に登録された相手先だけ自作のメッセージで応答する。 ・登録されていない相手先には固定のメッセージで応答します。
○×（選択しない）	全ての相手先に自作のメッセージで応答する。

親機　子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

ご購入時の設定：選択しない

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

3 ［**メニュー**］を5回押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &
ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ ｾﾝﾀｸ ○×

4 ［**左**］または［**右**］で選択を「する」または「しない」を選び［**セット**］を押す

カーソルを移動して選びます。
○×：選択する
○×：選択しない

選択した相手先に流す応答メッセージは留守設定をするときに選びます。固定の応答メッセージも選べます。「応答メッセージを選ぶ」（P.59）
自作のメッセージを録音していないときは固定のメッセージになります。「応答メッセージを録音する」（P.58）

受けた電話の相手先によってベル音を変える(着信鳴り分け／プライベートコール)

電話帳に登録されている相手先によって、ベル音やメロディを変えられます（着信鳴り分け）。また、特定の親機や子機だけベル音を鳴らすように設定できます（プライベートコール）。

親 機 ❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ ｼﾃｲ

3 ［**セット**］を押す

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0312345678

4 ［**上**］または［**下**］で相手先を選び、［**セット**］を押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ
-> ｼﾃｲﾅｼ

5 ［**左**］または［**右**］でベル音の音色またはメロディを選び［**セット**］を押す

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ ｼﾃｲ
-> ｽﾍﾞﾃ

6 ［**左**］または［**右**］でベル音を鳴らす親機または子機を選び［**セット**］を押す

1:ﾍﾝｺｳ ｼｭｳﾘｮｳ
2:ﾍﾝｺｳ ｦ ﾂﾂﾞｹﾙ

7 設定を終了するときは［**1**］を押す

ご購入時の設定
着信鳴り分け：シテイナシ
プライベートコール：スベテ

❗着信鳴り分け／プライベートコールを指定する相手先を選びます。

▷**選べる音色／メロディ**：「ベルの音色を変える／メロディにする」（P.76）
▷**ベル音を変えないときは**：「シテイナシ」を選ぶ。

❗内線番号を選びます。「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.42）
▷**全ての親機／子機を鳴らすときは**：「スベテ」を選ぶ。

▷**続けて他の相手先を登録するには**：
［**2**］を押し、手順4からくり返す。

▷**「デンワバンゴウ　ミトウロク」が表示されたら**：電話帳に相手先が登録されていない。「相手先の名前と電話番号を登録する」（P.37）
❗選んだベル音／メロディを聞きたいときは、手順5で［**音量**］を押します。音がしているときに音量を調整することもできます。音を止めるには［**ストップ**］を押します。「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）
❗着信鳴り分けの設定により、ベル音が鳴っていない親機／子機をとっても電話に出られます。
❗ベル音が鳴らない子機から内線通話の呼び出しはできません。すぐに中断されます。

あらかじめ選んだ相手先だけベル音を鳴らす（とくていコール）

おやすみモードに設定しているときに、特定の相手先からの着信だけベル音を鳴らすことができます。

親 機 ❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &

3 ［**メニュー**］を1回押す

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

4 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

1:ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
2:ｺｳｼｭｳ･ｹﾝｶﾞｲ

5 ダイヤルボタンで「デンワチョウ　セッテイ」または「コウシュウ・ケンガイ」を選ぶ

手順5の選択に応じて次に示す手順に進む
「デンワチョウ　セッテイ」→■電話帳設定
「コウシュウ・ケンガイ」→■公衆・圏外

ご購入時の設定
とくていコール：しない
電話帳設定：デンワチョウ　スベテ
公衆・圏外：ナシ

❗カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

❗設定する相手先の種別を選びます。
電話帳に登録された相手先：［**1**］
公衆電話・表示圏外：［**2**］

■ 電話帳設定

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
->ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｽﾍﾞﾃ

6 ［**左**］または［**右**］で「デンワチョウ　スベテ」または「デンワチョウ　コベツ」を選び［**セット**］を押す

❗電話帳に登録された全ての相手先を設定するか、個別に指定するかを選びます。
全ての相手先：「デンワチョウ　スベテ」
1件ずつ選ぶ：「デンワチョウ　コベツ」

手順6で「デンワチョウ　コベツ」を選んだ場合手順7に進む

アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678

❗「デンワチョウ　スベテ」を選ぶと設定は終了します。

7 ［**上**］または［**下**］で相手先を選び［**セット**］を押す

トクテイコール セッテイ
->シナイ

❗とくていコールを設定する相手先を選びます。

8 ［**左**］または［**右**］で「スル」または「シナイ」を選び［**セット**］を押す

1:シュウリョウ
2:デンワチョウ ツヅケル

❗手順7で選んだ相手先からの着信でベル音を鳴らすか鳴らさないかを選びます。
ベルを鳴らす　　　:「スル」
ベルを鳴らさない　:「シナイ」

9 設定を終了するときは［**1**］を押す

▷**続けて他の相手先を設定するには：**
［**2**］を押し、手順7からくり返す。

■公衆・圏外

コウシュウ・ケンガイ
->ナシ

❗どこからの着信でベル音を鳴らすか選びます。
公衆電話からの着信：「コウシュウデンワ」
表示圏外からの着信：「ヒョウジケンガイ」
公衆電話／表示圏外ともに鳴らす
：「コウシュウ　&　ケンガイ」
公衆電話／表示圏外ともに鳴らさない：「ナシ」

6 ［**左**］または［**右**］で相手先の種別を選び［**セット**］を押す

❗とくていコールを設定したときのベル音／メロディ
電話帳に登録された相手先：あらかじめ選んだベル音。
「受けた電話の相手先によってベル音を変える（着信鳴り分け／プライベートコール）」（P.65）
公衆電話／表示圏外：「ベル（ヒョウジュン）」「ベルの音色を変える／メロディにする」（P.76）
❗「トールセイバ」を○×（する）に設定していると、子機のベル音が一度も鳴らずに留守番電話が応答を始めることがあります（子機の着信ベルは親機より遅れて鳴るため、最初の2回の呼出音が鳴らないことがある。トールセイバP.60）。

番号通知をお願いするメッセージで応答する（番号リクエスト）

番号非通知でかけてきた相手に番号通知をお願いするメッセージを流し、電話を切ることができます。

親 機　❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ナンバーディスプレイ ○×

ご購入時の設定：しない
❗「バンゴウリクエスト」を○×（する）に設定すると
・留守設定されているときも、番号非通知の電話やファクスが受けられません。
・表示圏外からの着信は受けられます。

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

3 ［**メニュー**］を2回押す

チャクシンナリワケ シテイ &
バンゴウリクエスト ○×

4 ［**左**］または［**右**］で番号リクエストを「する」または「しない」を選び［**セット**］を押す

❗カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

❗相手先には次のメッセージが流れます。メッセージは変えられません。
「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください。」

受けたくない相手先からの着信を拒否する（着信拒否）

あらかじめ着信拒否に登録した相手先からの電話を自動的に切ることができます。このときベル音は鳴りません。また、相手先にはお断りのメッセージを流します。公衆電話や表示圏外からの着信を拒否することもできます。

親 機　❗子機では操作できません。

着信拒否リストに登録する

電話を受けたくない相手先をあらかじめ着信拒否リストに登録します。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ナンバーディスプレイ ○×

登録できる件数：最大20件

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

チャクシンナリワケ　シテイ　&

3 ［**メニュー**］を4回押し［**セット**］を押す

チャクシンキョヒ　リスト
ヘンシュウ

チャクシンキョヒ　リスト
1:トウロク　2:カクニン

▷**「チャクシンキョヒ　リスト　フル」が表示されたら：**リストから不要な電話番号を消去する。
「登録した相手先を確認する／消去する」（本ページ下）

4 ［**1**］を押す

01)
TEL:_

5 ダイヤルボタンで相手先の電話番号を入力し［**セット**］を押す

01)
TEL:0312345678_

▷**「トウロクズミ　デス」が表示されたら：**
すでに登録済みなので登録の必要はない。

登録した相手先を確認する／消去する

1 「着信拒否リストに登録する」(P.66) の手順1 ～ 3と同じ操作をする

チャクシンキョヒ　リスト
1:トウロク　2:カクニン

2 ［**2**］を押す

01)
TEL:0312345678

▷**「チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク」が表示されたら：**
着信拒否リストに1件も登録されていない。

3 ［**上**］または［**下**］で登録された相手先を選ぶ

4 表示された電話番号を消去するときは［**消去**］を押す

▷**消去せずに終了するには：**［**ストップ**］を押す。

着信拒否を設定する／解除する

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ナンバーディスプレイ　○×

ご購入時の設定

着信拒否　　：する
公衆電話拒否：しない
表示圏外拒否：しない

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

チャクシンナリワケ　シテイ　&

3 ［**メニュー**］を3回押す

チャクシンキョヒ　○×

4 ［**左**］または［**右**］で着信拒否を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

❗カーソルを移動して選びます。
○×：する
○×：しない

手順4で○×（する）を選んだときは手順5に進む

コウシュウデンワ　○×

❗○×（しない）を選ぶと設定は終了します。

5 ［**左**］または［**右**］で公衆電話からの着信拒否を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

ヒョウジケンガイ　○×

❗カーソルを移動して選びます。
○×：拒否する
○×：拒否しない

6 ［**左**］または［**右**］で表示圏外からの着信拒否を「する」または「しない」を選び、［**セット**］を押す

❗「チャクシンキョヒ」を○×（する）に設定すると、留守設定されているときも、着信拒否リストに登録した相手先からの電話やファクスが受けられません。

❗相手先には次のメッセージが流れます。「申し訳ありませんがお取り次ぎできません。」

着信データを見る／消去する

電話を受けた日時と電話番号を本機が着信データに記録します。電話を受けた日時をあとから確認したり、着信データに記録された電話番号に電話をかけたりできます。電話帳に登録されている相手先は、名前を表示することもできます。

親機

記録される件数：最大20件
❗20件を超えると古いものから順に消去されます。
❗電話やファクスを使用しているときは着信データを見られません。

1 ［**左**］（着信データ）を押す

01)　8月20日　17:15
アイテ:0312345678

べんりに使う

ナンバー・ディスプレイ

2 ［**上**］または［**下**］で
記録された電話番号を選ぶ

3 終了するときは［**ストップ**］を押す

❗最新の着信データから順に表示されます。

■**記録された電話番号を消去するには**

1.手順2で電話番号を選んだあと［**消去**］を押す。

2.右の画面が表示されたら［**1**］を押す。消去をやめるときは［**2**］を押す。

ショウキョ シマスカ?
1:ショウキョ 2:チュウシ

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
着信した順番(新しい順) 着信した日時 01) 8月20日 17:15 アイテ:ニッポンデンキ 相手先の名前が表示されます。	着信した順番(新しい順) 着信した日時 01) 8月20日 17:15 アイテ:0312345678 相手先の電話番号が表示されます。

▷**「チャクシンデータ アリマセン」が表示されたら：**
着信データが記録されていない。

子 機

記録される件数：最大20件
❗20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 ［**左**］（着信データ）を押す

8月20日 17:15
0312345678

2 ［**上**］または［**下**］で
記録された電話番号を選ぶ

❗最新の着信データから順に表示されます。

3 終了するときは［**切**］を押す

■**記録された電話番号を消去するには**

1.手順2で電話番号を選んだあと［**保留 消去**］を押す。

2.「ショウキョ シマスカ?」が表示されたら、［**上**］または［**下**］で「ハイ」を選び、［**保留 消去**］を押す。
消去をやめる場合は［**切**］を押す。

着信データは次のように表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
8月20日 17:15 ニッポンデンキ ［左］→←［左］ 8月20日 17:15 0312345678	8月20日 17:15 0312345678

▷**「チャクシンデータ アリマセン」が表示されたら：**
着信データが記録されていない。

❗ナンバー・ディスプレイのサービスに加入していないと着信データは記録されません。
❗子機が電波の届かないところにある場合は着信データは記録されません。→「設置する場所の確認」（P.17）

着信データを使って電話をかける（コールバック）

着信データに記録された電話番号を選ぶだけで簡単に電話がかけられます。

親 機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

01) 8月20日 17:15
アイテ:0312345678

❗→「着信データを見る／消去する」（親機）手順1～2（P.67）

2 受話器をとる

▷**ファクスの送信に着信データを使うには：**
原稿をセットしてから記録された電話番号を選び、［**スタート／コピー**］を押す。

子 機

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

8月20日 17:15
0312345678

❗→「着信データを見る／消去する」（子機）手順1～2（本ページ上）

2 ［**通話**］を押す

着信データを電話帳に登録する（かんたん登録）

親 機 ❗親機では電話帳と着信拒否リストに登録できます。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

❗ 「着信データを見る／消去する」（親機）手順1～2（P.67）

▷ **着信拒否リストに登録する場合：**手順1のあと［**お断り**］を押すだけで登録することもできる。

2 ［**セット**］を押す

1:デンワチョウ トウロク
2:チャクシンキョヒ トウロク

3 ダイヤルボタンの［**1**］［**2**］で登録先を選択する

❗登録先の選択
電話帳　　　：［**1**］
着信拒否リスト：［**2**］

▷ **電話帳を選んだとき**

「デンワチョウ　フル」が表示されたら：不要な電話帳を消去する。「登録した名前と電話番号を消去する」（P.38）

手順3で［**2**］（着信拒否リスト）を選んだときは手順5に進む

▷ **着信拒否リストを選んだとき**

「チャクシンキョヒ　リスト　フル」が表示されたら：着信拒否リストから不要な電話番号を消去する。「登録した相手先を確認する／消去する」（P.67）

「チャクシンキョヒリストニ　トウロクズミ　デス」が表示されたら：着信拒否リストにはすでに登録済みなので、登録の必要がない。

❗着信拒否リストには相手先の名前を登録しません。

4 ダイヤルボタンで相手先の名前を入力し［**セット**］を押す

トウロク・ニッポンデンキ

❗ 「文字入力のしかた」（P.104）

5 ［**ストップ**］を押す

子 機 ❗子機では着信拒否リストには登録できません。

1 着信データに記録された電話番号を選ぶ

❗ 「着信データを見る／消去する」（子機）手順1～2（P.68）

▷ **「デンワチョウ　フル」が表示されたら：**
「登録した名前と電話番号を消去する」（P.41）

2 ［**メニュー**］を押す

ナマエ?
ノコリ100ケン

3 ダイヤルボタンで相手先の名前を入力し、［**メニュー**］を押す

ナマエ?
ニッポンデンキ

❗ 「文字入力のしかた」（P.104）

4 ［**メニュー**］を押す

留守中に受けた電話を確認する

留守設定しているときに受けた電話は、着信データとは別に「留守録着信データ」にも記録されます。留守録着信データは留守番電話に録音された用件を再生するときに表示されます。

留守録着信データは次のように表示されます。

	電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
親 機	アイテ:ニッポンデンキ サイセイチュウ　1/ 5 相手先の名前が表示されます。	アイテ:0312345678 サイセイチュウ　1/ 5 相手先の電話番号が表示されます。
子 機	ディスプレイの表示はありません。音声で再生されます。 ・用件を再生したあとに留守録着信データを再生します。 ・用件が録音されていないときはビジートーン（話中音）のあとに再生されます。番号通知がないときは、その理由が音声で通知されます。	
外線リモート	音声で再生されます。「外出先から操作する（外線リモート）」（P.59）	

❗留守録着信データは
・留守番電話で録音された用件が消去されると同時に消去されます。
・電話帳や着信拒否リストには登録できません。コールバックには使えません。

べんりに使う

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン

通話中に別の相手先からかかってきた電話に出ることができます。

通話中に別の電話を受ける（キャッチホン） 通話中

❶キャッチホンをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。

親機

1 「プルルー・プップッ」と鳴ったら
［**オンフック／キャッチ**］を押す

2 あとから電話をかけてきた相手と話す

3 先の相手先と再び話すには
［**オンフック／キャッチ**］を押す

❶オンフックで通話中は、受話器をとってから［**オンフック／キャッチ**］を押します。

❶「プルルー・プップッ」はキャッチホンの着信音です。

❶先に話していた相手との通話は保留にされます。

❶［**オンフック／キャッチ**］を押すたびに先の相手とあとの相手を切り替えて話せます。

子機

❶親機の操作と同じです。キャッチホンを受けるときは［**キャッチ**］を押します。

▷**キャッチホンの相手先がファクスのときは：**
先に話していた相手に電話を切ってもらい、手動受信する。「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）
・ファクスかんたん受信では受けられません（ファクスかんたん受信P.54）。
・手動受信をしないと相手先では通信エラーになります。
・ファクスの受信中は先の相手との通話に切り替えることができません。

❶ファクスの送信／受信のときにキャッチホンが入るとファクスの画像が乱れたり、中断することがあります。

❶キャッチホンの着信がないときは［**オンフック／キャッチ**］（親機）、［**キャッチ**］（子機）を押さないでください。押すと電話が切れます。

❶オンフックで通話中（親機）はキャッチホンを受けられません。［**オンフック／キャッチ**］を押すと、先につながっていた相手先との通話が切れてしまいます。受話器をとってから押してください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する／解除する

キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、キャッチホンを受けたときに相手先の電話番号が表示できます。

❶キャッチホン・ディスプレイをご利用になるにはNTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。
お問い合わせ先：ナンバー・ディスプレイと同じです。「ナンバー・ディスプレイ」（P.63）

本機を接続している回線によって次のことに注意してください。

NTT東日本・NTT西日本以外の直収電話	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ISDN回線	キャッチホン・ディスプレイをご利用になれません。

他の回線付加サービスについて次のことに注意してください。

ナンバー・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイをご利用になるには、ナンバー・ディスプレイにも加入が必要です。
ダイヤルインサービス	ダイヤルインをご利用になる場合は「モデムダイヤルインサービス」にご加入ください。本機はPB信号方式のダイヤルインサービスには対応しておりません。

親機

❶子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び
［**セット**］を押す

3 ［**メニュー**］を6回押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &

ｷｬｯﾁﾎﾝ ○×

4 ［**左**］または［**右**］で
キャッチホン・ディスプレイの利用を
「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：利用しない

❶カーソルを移動して選びます。
○×：利用する
○×：利用しない

キャッチホン・ディスプレイの表示

下記の他はナンバー・ディスプレイの表示と同じです。「ナンバー・ディスプレイによる相手先の表示」(P.64)

キャッチホンの相手先	表示（親機／子機）
着信拒否を設定している相手先	「チャクシンキョヒ」を○×（する）に設定していても、相手先の番号、「コウシュウデンワ」「ヒョウジケンガイ」がそれぞれ表示される（着信拒否P.66)。
公衆電話	
海外など表示圏外	
非通知の相手先	「バンゴウリクエスト」を○×（する）に設定していても、「ヒツウチ」が表示される（番号リクエストP.66)。
プライベートコールに設定している相手先	相手先の電話番号が表示される（プライベートコールP.65)。
・キャッチホンが入ると約30秒間表示して、その後は通話時間の表示に戻ります。 ・キャッチホンをとったときはその時点で通話時間の表示に戻ります。とる前に相手が電話を切っても約30秒間は表示されます。	

- キャッチホン・ディスプレイをご利用になると、電話番号情報を転送するため次のようなことが起こります。
  - ・キャッチホンの着信音（プルルー・プップッ）のあと、「ピポ」という音がして通話が約1秒間途切れます。
  - ・子機で通話中の場合は、「ザッ」というノイズが聞こえます。
- キャッチホンで受けた電話は着信データに記録されます。
  - ・親機で通話中にキャッチホンが入ると親機だけに記録されます。
  - ・子機で通話中にキャッチホンが入ると、通話中の子機と親機の両方に記録されます。通話していない子機には記録されません。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても相手先の電話番号が表示されないことがあります。
  - ・保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録・設定操作中、通話再生中、外線転送中
  - ・大声で通話したとき、周囲の雑音が大きいとき
  - ・NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことがわかりませんが、キャッチホン・ディスプレイおよび本機の異常ではありません。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルインをご利用になると、1本の電話回線で2つ以上の電話番号が使えます。電話とファクスで異なる番号を使い分けたり、親機と子機で異なる番号を使い分けたりすることができます。

モデムダイヤルインをご利用になるには、NTT東日本またはNTT西日本とのご契約（有料）が必要です。

お問い合わせ先	NTT東日本・NTT西日本　　電話番号：**116**（局番無し） 受付時間：午前9:00 ～午後9:00（年中無休、ただし年末年始12月29日～ 1月3日を除く）
申し込み内容	ダイヤルインの種類：「モデムダイヤルイン」 電話番号（送出番号）：下4桁を指定 ・指定しないと現在使用している電話番号が変わることがあります。
確認事項	ダイヤルインサービスの利用開始日

- 「モデムダイヤルイン」（モデム信号方式）を指定してください。本機はPB信号方式のダイヤルインには対応しておりません。
- モデムダイヤルインは、NTTの他の回線付加サービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本・NTT西日本にお問い合わせください。
- 電話番号は複数になりますが、同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は電話／ファクスともにご利用になれません。

本機を接続している回線によって次のことにご注意ください。

NTT東日本またはNTT西日本以外の直収電話	ダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。
ブランチ接続（P.14）	モデムダイヤルインをご利用になれません。
ISDN回線	ターミナルアダプタ（TA）の機種によってはご利用になれないことがあります。

ダイヤルインを設定する／解除する

親 機

- 子機では操作できません。
- ダイヤルインサービスが開始されてから設定してください。開始前に設定すると、電話がつながらなくなることがあります。

ご購入時の設定：利用しない

1 ［**メニュー**］［**5**］［**セット**］を順に押す

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

2 ［**左**］または［**右**］で○×を選び［**セット**］を押す

3 ［**メニュー**］を7回押す

ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ &

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ ○×

- ダイヤルインを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの加入にかかわらず、○×（利用する）にします。

4 ［**左**］または［**右**］で ダイヤルインの利用を「する」または「しない」を選び ［**セット**］を押す

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：利用する
  ○×：利用しない

手順4で○×（利用する）を選んだときは手順5へ進む

ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ ○×

- ○×（利用しない）を選ぶと設定は終了します。

5 ［**左**］または［**右**］で ファクス用番号の登録を「する」または「しない」を選び ［**セット**］を押す

- カーソルを移動して選びます。
  ○×：登録する
  ○×：登録しない

手順5で○×（登録しない）を選んだときは手順7に進む

6 ダイヤルボタンで ファクス用番号を入力し、［**セット**］を押す

ﾌｧｸｽ = 1111

- ファクス用番号の下4桁を入力します。
- ファクス用番号と同じ番号を、親機用番号、子機用番号に登録することはできません。

7 ダイヤルボタンで 親機用番号を入力し ［**セット**］を押す

ﾅｲｾﾝ1 = 2222

ｷｮｳﾂｳ ﾒｲﾄﾞｳ ○×

- 「ナイセン1」は親機を示します。
- 下4桁を入力します。

8 ［**左**］または［**右**］で 共通鳴動を「する」または「しない」を選び ［**セット**］を押す

- 親機の番号に電話がかかったとき
  ○×：子機のベルも鳴らす（共通鳴動する）
  ○×：子機のベルは鳴らさない（共通鳴動しない）

9 ダイヤルボタンで子機用番号を入力し、［**セット**］を押す

ナイセン2 ＝ 3333

子機が複数台あるときは手順9をくり返す

❗子機の内線番号に応じて割り当てる電話番号（下4桁）を入力します。

❗子機の内線番号「受けた電話を転送する（外線転送）」（P.42）

▷**電話番号を変更するには：**同じ手順で最初から設定をやり直す。
▷**ダイヤルインの利用を解除するには：**手順4で○×（利用しない）を選ぶ。また、「ナンバーディスプレイ」を○×（利用しない）にするとダイヤルインも解除される。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルインの追加番号により、電話用番号とファクス用番号に使い分けることができます。

	電話がかかってくると	ファクスが送られてくると
電話用番号	ベルが鳴り、電話／ファクスが自動的に切り替えられます。切り替えをしないときは着信モードを「デンワセンヨウ」にします（着信モード P.74）。	ベルが鳴り、受話器をとると「ポーポーポー」の音がします。無音のこともあります。 ファクスを手動受信できます（手動受信 P.50）。
ファクス用番号	ベルは鳴らず、電話には出られません。	ベルは鳴らず、自動的にファクスを受信します。

	留守設定をしているときは
電話用番号	通常の留守番電話と同じ動作をします。　・電話の用件は録音されます。　・ファクスは自動的に受信します。
ファクス用番号	・電話の用件は録音されません。　・ファクスは自動的に受信します。
子機用番号	子機のベルが鳴ります。　・電話の用件は録音されます。　・ファクスは自動的に受信します。

プライベートコールの設定が「スベテ」ではないときは（プライベートコール P.65）
ダイヤルインで割り当てた番号にかかわらず、プライベートコールで指定した親機／子機のベルが鳴ります。

ダイヤルインの利用例

■ **こう使いたいとき**

利用例 A	利用例 B
・電話用番号とファクス用番号を使い分けたい。 ・電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい。	・3 つの電話番号（親機と子機 2 台）を使いたい。 ・ファクス用の番号は使わない。

■ **こう契約／設定すると**

ダイヤルインの契約（NTT 東日本・NTT 西日本）

契約内容	利用例A	利用例B
契約者回線番号	××× - aaaa （電話用）	××× - cccc （親機用）
ダイヤルイン 追加番号	××× - bbbb （ファクス用）	××× - dddd （付属子機用） ××× - eeee （増設子機用）

本機の設定

必要な登録設定 「ダイヤルインを設定する／解除する」（P.72）	利用例A	利用例B
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	−
内線1（親機）	aaaa	cccc
共通鳴動	○※	×
内線2（子機1）	aaaa	dddd
内線3（子機2）	−	eeee

※親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

■ **このように動作します**

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aに電話	××× - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aにファクス	××× - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bの親機に電話	××× - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bの付属子機に電話	××× - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bの増設子機に電話	××× - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bにファクス	××× - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

❗利用例Aのファクス用番号に電話しても着信ベルは鳴りません。電話に出られません。
❗ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

さらに使いやすくする

電話専用／ファクス専用／切替を選ぶ（着信モード）

着信ベルが鳴ったあとの動作を選べます。本機は電話やファクスを受けると指定された回数の着信ベルを鳴らしたあと、着信モードの設定に応じて電話の呼出ベルを鳴らしたり、ファクスを自動受信したりします。「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）

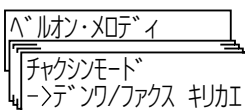
着信モード	本機の利用目的／着信ベルのあとの動作
デンワ／ファクス キリカエ	電話もファクスもどちらも受けるときに設定します。 ・電話の場合は呼出ベルが鳴ります。　・ファクスの場合は自動的に受信します。
ファクスセンヨウ	本機の番号で受けるのがファクスに決まっているときに設定します。 ・ファクスの場合は自動受信します。 ・電話の場合は着信ベルが鳴っている間に受話器や子機をとれば受けられます。
デンワセンヨウ	ファクスを自動的に受信したくないとき設定します。 ・電話の場合は受話器や子機をとると話せます。電話に出なければ相手先に通話料はかかりません。 ・ファクスを受信する場合は、電話に出てから手動受信します。「ボタンを押して受ける（手動受信）」（P.50）

親機　子機では操作できません。

1［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

2［**メニュー**］を1回押す

ベルオン・メロディ
チャクシンモード
−>デンワ/ファクス キリカエ

3［**左**］または［**右**］で着信モード選び［**セット**］を押す

ご購入時の設定：デンワ／ファクス　キリカエ

上記の表を参考に選んでください。
・デンワ／ファクス　キリカエ
・ファクスセンヨウ
・デンワセンヨウ

- 「デンワセンヨウ」に設定し、トールセイバを○×（しない）に設定している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能がはたらきます（トールセイバP.60）。
- 「ファクスセンヨウ」に設定し、着信ベルを0回に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話を受けられません（着信ベルの回数P.76）。
- 留守設定中は、「ファクスセンヨウ」の設定をしても留守設定が優先されます（留守設定をするP.30）。

WIFI BAND（ワイファイ　バンド）を変更する

無線LAN機器との電波干渉が考えられるときは、WIFI BANDの設定を変更してみてください。
本設定は、コードレス電話機の使用チャネル帯域を設定します。なお、ご使用の環境により効果が異なることがあります。

親機
- 子機では操作できません。
- 通話中は操作できません。

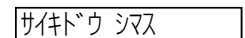
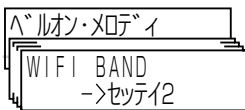
1［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

2［**メニュー**］を7回押し、［**セット**］を押す

ベルオン・メロディ
WIFI BAND
−>セッテイ2

3［**左**］または［**右**］で設定を選び［**セット**］を押す

サイキドウ シマス

設定を変更すると、本機は自動的に再起動します。

ご購入時の設定：セッテイ 2

次の4種類から選べます。
セッテイ1
セッテイ2
セッテイ3
セッテイ4

ディスプレイの表示濃度を変える

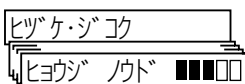
ディスプレイに表示される文字の濃度を調整できます。

親機　子機では操作できません。

1［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2［**メニュー**］を2回押す

ヒヅケ・ジコク
ヒョウジ ノウド ■■■□□

3［**左**］または［**右**］で表示濃度を調整し［**セット**］を押す

ご購入時の設定：■■■□□

5段階で調整できます。

うすい ↑ 普通 ↓ 濃い

ボタンを押したとき音を鳴らす／鳴らさない（キータッチトーン）

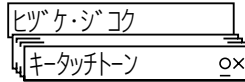
ボタンを押したときの「ピッ」という音がキータッチトーンです。この音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

親 機

1 ［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を6回押す

ﾋｽﾞｹ･ｼﾞｺｸ
ｷｰﾀｯﾁﾄｰﾝ ○×

3 ［**左**］または［**右**］で
「鳴らす」または「鳴らさない」を選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定：鳴らす

❗カーソルを移動して選びます。
○×：鳴らす
○×：鳴らさない

子 機

❗「タッチトーンOFF」（鳴らさない）にすると、エラーや設定終了の通知音も鳴らなくなります。

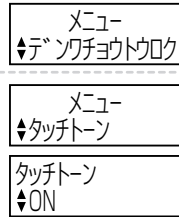
1 ［**メニュー**］を押す

ﾒﾆｭｰ
◆ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ

2 ［**上**］または［**下**］で
「タッチトーン」を選び
［**メニュー**］を押す

ﾒﾆｭｰ
◆ﾀｯﾁﾄｰﾝ

ﾀｯﾁﾄｰﾝ
◆ON

3 ［**上**］または［**下**］で
「ON」または「OFF」を選び
［**メニュー**］を押す

▷**［通話］が点灯しているときは：**
［**切**］を押してから［**メニュー**］を押す。

❗鳴らす／鳴らさないを選びます。
ON ：鳴らす
OFF：鳴らさない

ボタン操作を受け付けなくする／解除する（チャイルドロック）

ボタンを押しても受け付けないように設定できます。お子様のいたずらや間違えて押したときの動作を防止できます。

親 機

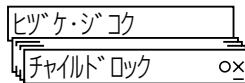
1 ［**メニュー**］［**1**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を7回押す

ﾋｽﾞｹ･ｼﾞｺｸ
ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ ○×

3 ［**左**］または［**右**］で
ロックを「する」または「しない」を選び
［**セット**］を押す

4 しばらく（約90秒）何も操作しないと
バックライトが消灯し、ロックされる

ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ ﾁｭｳ

ご購入時の設定：ロックしない

❗カーソルを移動して選びます。
○×：ロックする
○×：ロックしない

❗バックライトが点灯している間は操作がロックされません。

❗ロックされているときボタンを操作すると次のメッセージが表示されます。
「チャイルドロック　チュウ
カイジョ　#ヲ　2ビョウオス」

❗チャイルドロック中でも、「メモリジュシンブンショ　アリ」などのメッセージが優先して表示されます。

子 機

1 ［**メニュー**］を押す

ﾒﾆｭｰ
◆ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ

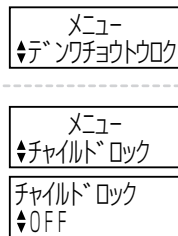
2 ［**上**］または［**下**］で
「チャイルドロック」を選び
［**メニュー**］を押す

ﾒﾆｭｰ
◆ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ

ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ
◆OFF

3 ［**上**］または［**下**］で「ON」または「OFF」を選び
［**メニュー**］を押す

4 しばらく（約100秒）何も操作しないと
ロックされる

ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸﾁｭｳ

ご購入時の設定：OFF

❗ロックされているときボタンを操作すると次のメッセージが表示されます。
「チャイルドロックチュウ
カイジョ #ナガオシ」

チャイルドロックを一時的に解除する

ボタンを押すだけで一時的に解除できます。機能メニューから設定し直さなくても電話やファクスをご利用になれます。ご利用のあとは、しばらく（親機：約90秒、子機：約100秒）何も操作しないと再びロックされます。

親機 **子機**

❗親機と子機の操作は同じです。

1 ［#］を長く押す（2秒以上）

〈親機〉
```
ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ ｦ
ｲﾁｼﾞｶｲｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ
```
〈子機〉
```
ﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ
ｲﾁｼﾞ ｶｲｼﾞｮ
```

❗次のときはチャイルドロックが一時的に解除されます。
・外線を着信したとき　・親機または子機を使用しているとき
・操作パネルを閉めたとき（操作パネルを開くと「＊チャイルドロック　チュウ＊」が表示されません）
❗ファクスの送信やコピーをするときは、ロックを解除してから［**スタート／コピー**］を押してください。ただし、ロックされていても原稿セットはできます。

ベルの音色を変える／メロディにする

ベル音の音色を変えられます。また、ベル音の代わりにメロディにできます。

親機

❗子機では操作できません。親機のベル音を変えると子機のベル音も変わります。

1 ［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

```
ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ
 -> ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)
```

ご購入時の設定：ベル（ヒョウジュン）

2 ［**左**］または［**右**］で
ベルの音色やメロディを選び
［**セット**］を押す

❗次の5種類から選べます。
ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
ベル（ナリワケ）：「ヒョウジュン」とは異なる音色
メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
メロディ（B）：春
メロディ（C）：トルコ行進曲

❗着信鳴り分けを設定している場合は、着信鳴り分けの設定で選んだ音色／メロディになります（着信鳴り分け➡P.65）。
❗選んだベル音／メロディを聞きたいときは、手順2で［**音量**］を押します。音が鳴っているときに音量を調整することもできます。音を止めるには［**ストップ**］を押します。➡「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）

ベルが鳴る回数を変える

着信ベルや呼出ベルの回数を変えられます。着信があってから回線が接続されるまでに鳴るベルを「着信ベル」と言います。設定した回数の着信ベルが鳴り終わると回線が接続され、「呼出ベル」に変わります。この時点で、相手先に通話料金がかかります。また、本機のベルの音は変わりませんが、相手先に聞こえる呼出音は、呼出ベルに変わると高い音になります。

親機

❗子機では操作できません。
❗着信モードを「デンワセンヨウ」に設定している場合、着信ベルの回数を変更できません（着信モード➡P.74）。

着信ベルの回数を変える

1 ［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

2 ［**メニュー**］を2回押す

```
ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ
ﾁｬｸｼﾝﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ
          06ｶｲ
```

ご購入時の設定：6 回

3 ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
［**セット**］を押す

設定できる回数： 00 ～ 19回
❗一桁のときは頭に0をつけます（例： 4→04）。
▷**訂正するときは：**［**消去**］を押す。

❗着信ベルを8回以上に設定するとファクスを受けられないことがあります。ただし、通話中に送信されたファクスは受けられます。
❗着信ベルの回数はトールセイバの設定によっても変わります（トールセイバ➡P.60）。
❗子機で鳴る着信ベルは親機よりも遅れて鳴り始めるので、指定した回数よりも少なくなります。

▷**ベルを鳴らさずファクスを受けるには：**手順3で「00」を入力する。

着信モード	着信ベルを「00」にしたときの本機の動作／対応のしかた
電話／ファクス切替	相手先が電話のときは、回線が接続されてから約 5 秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先が電話をかけてからファクスを送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（手動受信 ➔P.50）。
ファクス専用	着信ベルが 1 回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。

呼出ベルの回数を変える

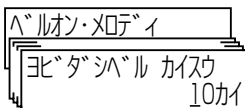
❗着信モードを「デンワセンヨウ」または「ファクスセンヨウ」に設定している場合は、呼出ベルの回数を変更できません。

1 ［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ

2 ［**メニュー**］を3回押す

ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ
10ｶｲ

3 ダイヤルボタンで
ベルの回数を入力し
［**セット**］を押す

ご購入時の設定： 10 回

設定できる回数： 01 ～ 19回

❗一桁のときは頭に0をつけます（例： 8→08）。

▷**訂正するときは：**［**消去**］を押す。

保留のメロディを変える

通話を保留にしたときに相手先に流すメロディを選べます。

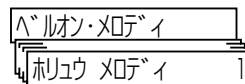
親 機 ❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**2**］［**セット**］を順に押す

ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ

2 ［**メニュー**］を5回押す

ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ 1

3 ［**左**］または［**右**］で
メロディを選び
［**セット**］を押す

ご購入時の設定： ホリュウ　メロディ 1
「聖者の行進」

❗次の2種類から選べます。
ホリュウ　メロディ 1 ：「聖者の行進」
ホリュウ　メロディ 2 ：「茶色の小瓶」

❗選んだメロディを聞きたいときは、手順3で［**音量**］を押します。音が鳴っているときにスピーカから流れる音量を調整できます。音を止めるには［**ストップ**］を押します。➔「ベル音／受話音／スピーカ音の音量調整」（P.48）

❗相手先に流れる音量は調整できません。

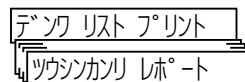
リストをプリントする

電話帳に登録した内容、着信データ、設定の状態、ファクスの送信／受信の履歴をプリントできます。

親 機 ❗子機では操作できません。

1 ［**メニュー**］［**6**］［**セット**］を順に押す

ﾃﾞﾝﾜ ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

2 ［**メニュー**］を数回押して
プリントしたいリストを選び
［**セット**］を押す

ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

▷**プリントを途中で止めるには：**［**ストップ**］を押す。

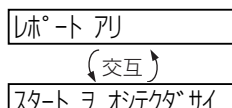
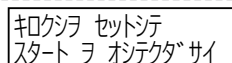
❗次の4種類から選べます。
電話番号リスト ：「デンワ　リスト　プリント」
着信データ　　 ：「チャクシンデータ　プリント」
各種設定の状態 ：「システム　リスト　プリント」
通信管理レポート：「ツウシンカンリ　レポート」

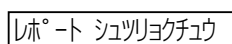
■「キロクシヲ　イレテクダサイ」が表示されたら

1 しばらく（約5秒）するとディスプレイに
右のように表示される

ﾚﾎﾟｰﾄ ｱﾘ
（交互）
ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 ［**スタート／コピー**］を押す

ｷﾛｸｼｦ ｾｯﾄｼﾃ
ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

3 記録紙カセットや記録紙サポーターに
記録紙をセットし
［**スタート／コピー**］を押す

ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ

❗➔「記録紙のセット」（P.23）

■ リストの種類

リスト名	項目	補足
電話番号リスト 「デンワ　バンゴウ リスト」	・相手先名 ・電話番号 ・着信鳴り分けの設定 ・プライベートコールの設定 ・とくていコールの設定 !50 件／ 1 ページ	相手先名が次の順にプリントされます。 1. スペースで始まる名前　2. 数字で始まる名前 3. カナの名前（50 音順） 4. アルファベット　　5. 記号 6. 電話番号だけ登録した相手先（相手先名なし） 子機の電話帳の内容はプリントされません。 登録内容がないときはディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」が表示されます。
着信データ 「チャクシンデータ リスト」	・着信日時 ・着信データ（電話番号） ・相手先名	子機に記録された着信データはプリントされません。 ナンバー・ディスプレイをご利用にならないと、着信データは記録されません。 着信データがないときはディスプレイに「チャクシンデータ　アリマセン」が表示されます。
各種設定の状態 「システム　リスト」	・設定項目 ・設定内容	—
通信管理レポート 「ツウシン　カンリ レポート」	・通信開始日時 ・通信時間 ・相手先 ・モード ・送信枚数／受信枚数 ・通信結果 !最新の 20 件まで	通信結果の詳細→「■通信管理レポート（通信結果）の詳細」（下表） 通信データがないときはディスプレイに「ツウシンデータ　アリマセン」が表示されます。

■ 通信管理レポート（通信結果）の詳細

表示	意味	表示	意味
ハナシチュウ	相手先が話し中	(2 桁の数字)	→「エラーコード表」（本ページ下）
ヨビダシ	相手先から通話予約などの呼び出しを受けた	O.K.	正常に送信／受信された
ムオウトウ	・相手先が受信できない状態。または電話に出ない ・回線が正しく接続されていない。または接続コードが断線している	チュウダン	通信中に中断操作をした
		ショウキョ	メモリに受信したファクスを消去した→「メモリに蓄積したファクスを消去する」（P.56）

エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	「メモリ　ジュシン」を○X（しない）に設定しているとき（メモリ受信 →P.55）、受信中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.23
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.79
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。「メモリ　ジュシン」を○X（しない）に設定すれば記録紙受信することができます。	P.32、55、56
46	原稿がつまりました。セットし直してください。	P.28、79
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	P.80
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	−
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	−
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	−
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	−
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	P.88

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。もう一度送信／受信してみてください。

困ったときは

紙づまりのとき

紙づまりが起きるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。メッセージに応じてつまった紙を取り除いてください。

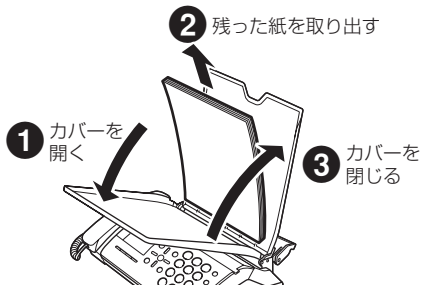
ディスプレイの表示	原因／対象方法／参照先
キロクシガ　ツマリマシタ 「ソウサパネル　アケテクダサイ」と交互に表示される。	・記録紙がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。 ・記録ローラの汚れが考えられます。記録ローラをお掃除してください。 「日ごろのお手入れ」（P.91）
ゲンコウガ　ツマリマシタ	・原稿がつまっているときは、つまった紙を取り除いてください。

つまった紙を取り除く

- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

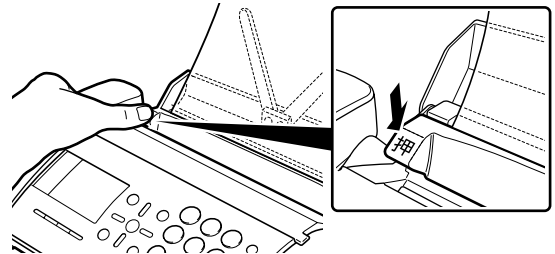
■記録紙カセットを使用している場合

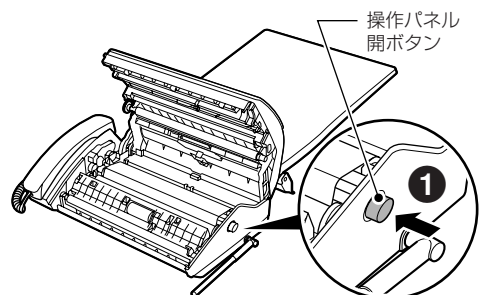
1 記録紙カセットに残った紙を取り出す

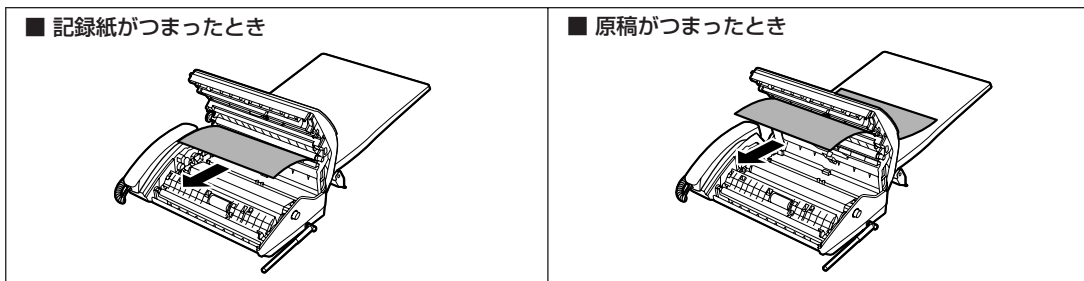
1. 記録紙カバーを開き、手前にたおす
2. 残った紙を取り出す
3. 記録紙カバーを閉じる

■記録紙サポーターを使用している場合

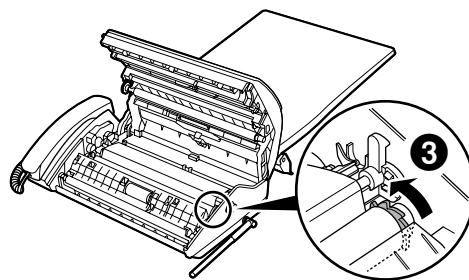
(DA220/220Wのみ)

1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

1. 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
2. 記録紙セットレバーから手を離す

2 つまった紙を取り除く

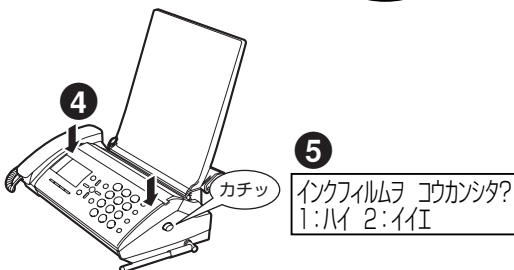
1. 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く
   - 確実にいっぱいまで開いてください。

❷ つまった紙を図に示す矢印の方向にゆっくりと引き抜く

■ 記録紙がつまったとき	■ 原稿がつまったとき

・破れたときは紙片を残さず取り除いてください。

❸ 図に示すように青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる

❹ 操作パネルを閉じる
・図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

❺ 図に示すメッセージが表示されたら、ダイヤルボタンの［**2**］を押す

カチッ

インクフィルムヲ コウカンシタ?
1:ハイ 2:イイエ

3 記録紙を入れる

「記録紙のセット」（P.23）

つまった紙を取り除いても次のメッセージが表示されることがあります。メッセージに応じて対処してください。

ディスプレイの表示	原因／対処方法／参照先
キロクシガ　ツマリマシタ	記録ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 「日ごろのお手入れ」（P.91）
ソウサパネルガ　アイテイマス	操作パネルが完全に閉まっていません。もう一度、カチッと音がするまで閉め直してください。
ローラヲ　セイソウシテクダサイ 「ゲンコウガ　ツマリマシタ」と交互に表示される。	原稿送り用ローラの汚れが考えられます。ローラをお掃除してください。 「日ごろのお手入れ」（P.91）

ファクスが正常に送れない／受けられないとき

ファクスの送信中／受信中に異常があるとディスプレイにメッセージが表示されます。それぞれの状況に応じて対処してください。

ディスプレイの表示	送信中／受信中	レポートのプリント
ツウシン　イジョウ この他にも異常を示すメッセージがあります。	送信中	「不達レポート」がプリントされます（不達レポート P.54）。
	受信中	「通信管理レポート」をプリントしてください。「リストをプリントする」（P.77）

それぞれのレポートには「ツウシン　ケッカ」を示す欄があります。レポートに記されたエラーコード（2桁の数字）からエラーコード表の「内容と対処方法」を参照し、対処してください。「エラーコード表」（P.78）

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機／子機ともにご利用になれません。

親機で電話帳などの登録中、各種設定の操作中、ファクスの送信中／受信中、メッセージなどの録音中に停電したときは、操作を完了していない登録内容、設定値、送信内容／受信内容、メッセージ、用件は保存されません。

親機に記録された設定や情報には、停電したときに消えてしまうものと消えないものがあります。

消えない設定／情報	参照先
親機	
・ メモリ代行受信文書	P.55
・ 自作の応答メッセージ	P.58
・ 留守番電話の用件	P.30
・ 保存したさかのぼり録音の内容（SP-DA220/220W）	P.44
・ 通話録音の内容（SP-DA120/120W）	P.45
・ 通信管理レポート	P.77
・ インクフィルム残量の記録	P.13
・ 電話帳に登録した内容	P.37
・ おやすみモードの開始時刻／終了時刻	P.62
・ 各種設定	P.100

消えてしまう設定／情報	参照先
親機	
・リダイヤルに記録された電話番号	P.36
・時計の設定	P.21
・着信データ※	P.67
・おやすみモード	P.62

※ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

■ 停電から復旧したら

本機は自動的に使用できる状態に戻ります。

・本機に現在の時刻を設定してください。「回線種別や時刻を設定する」手順2（P.21）

■ 子機の場合

停電しても、子機の設定／情報に影響はありません。ただし、電池パックを抜くと消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。「■電池パックを外したあとの設定／情報」（P.90）

操作ができなくなったとき

親機または子機のボタンを押しても何も反応しないときは、次の操作をお試しください。

親 機	電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込む。
子 機	電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度差し込む。

❗ この操作を行うと、消えてしまう設定／情報がありますのでご注意ください。

親機：「停電したとき」（本ページ上）

子機：「■電池パックを外したあとの設定／情報」（P.90）

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？	P.21
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.80
	“インクフィルム　コウカン”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.88
	“メモリジュシンブンショ　アリ”“インクフィルム　コウカン”と交互に表示が出た	・受信文書がありますが、インクフィルムがないためプリントできません。まず、インクフィルムを交換してください（インクフィルムが残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。次に記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.23、88
	“キロクシガ　ツマリマシタ”“ソウサパネル　アケテクダサイ”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていませんか？　記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。 ・記録ローラを清掃してください。	P.79 P.91
	“メモリジュシンブンショ　アリ”“スタート　ヲ　オシテクダサイ”と交互に表示が出た	・受信文書のプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.55

	こんなときは	内容	参照ページ
待受中	“レポート　アリ”“スタート　ヲ　オシテクダサイ”と交互に表示が出た	・リストやレポートのプリント待ちです。記録紙を入れてからプリント操作をしてください。	P.77
	“チャイルドロック　チュウ”“カイジョ　#ヲ　2ビョウオス”と表示が出た	・[#] を2秒以上押して、チャイルドロックを一時的に解除してください。	P.76
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線、受話器用コードが接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	P.21 P.26
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していませんか？	P.22 P.16
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインのサービスに加入している場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタ（TA）を使用していて、ターミナルアダプタ（TA）側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P.63、72 P.72
	呼出ベルが鳴っているのに、親機で電話を受けることができない	・受話器が外れていませんか？　受話器を親機に戻し、再度受話器をとってみてください。	—
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P.48
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.48
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の [**スタート／コピー**]（子機では [**内線**] を押したあと [**6**]）を押してください。	P.34、50
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.48
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・「電話やファクスを受ける」（P.34）、「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）をご覧ください。	—
	公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた／また、呼出音が少しおかしいと言われた	・「ベルが鳴る回数を変える」（P.76）をご覧ください。	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手先がNTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P.64 P.52
	親機から子機を呼び出せない 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・親機あるいは子機の近くに無線LAN機器や電子レンジがありませんか？ある場合は3m以上離してご使用ください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機は充電されていますか？	P.21 P.17 P.18 P.20
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。 ・事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.63 P.47
	“カイセン　カクニン”と表示が出た	・電話回線接続コードが抜けていませんか？ ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.21
	受話器が温かい	・コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	—
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	・「ダイヤル回線でトーン信号を送る」（P.49）をご覧ください。	—
電話（子機）	電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線が接続されていますか？ ・親機から離れ過ぎていませんか？　親機に近づいてください。 ・親機または他の子機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか？ ・[**通話**] を押しましたか？	P.21 P.20 P.21 P.17 P.26

	こんなときは	内容	参照ページ
電話（子機）	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？	P.48 P.17 P.20
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.49
	通話中に声が途切れたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に声の途切れや雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 － 親機に近づけてみてください。 － 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 － 無線 LAN 機器や電子レンジなどの電気機器から離してみてください。 － 蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 － 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	P.17、18
	通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り、が点灯した	・電池パックの充電残量が少なくなっています。充電してください。	P.20
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P.90
	充電器に置いたとき、[**切**] が点灯しない	・充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	P.20
	“ツウワ　ケンガイ”と表示が出た	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・親機から離れすぎていませんか？　親機に近づいてください。 ・親機に近づいても、すぐに接続動作が行われない場合があります。これは 3 分ごとに接続動作を行うためです。すぐに接続したいときは [**通話**] を押してください。 ・WIFI BAND の設定を変更してみてください。	P.21 P.17 P74
	“シヨウチュウ”と表示が出た	・親機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか？	P.26
	他のファクスの子機を本機の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P.95
	増設子機が使えない	・増設子機を使える状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。	P.95
	子機で通話中、突然通話が切れて、親機が保留状態になる	・親機に近づけて使用してください。 ・電池パックを交換してください。	P.17 P.90
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	・コピーする面を裏向きにして原稿をセットしましたか？	P.28
	コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・[**ストップ**] を押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.79 P.23 P.23、79
	コピーがかすれた、うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.51
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・当社指定の記録紙を使用してください。	P.91 P.23
	コピー面の左端または右端が欠ける	・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	P.28
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラを清掃してください。	P.91
	原稿とプリント結果のサイズが違う	・原稿の厚さと表面状態の差により、送り誤差（原稿読み取りの伸び縮み）があります。 ・原稿送り用ローラが汚れていると、送り誤差がでる場合があります。原稿送り用ローラを清掃してください。	 P.91
	原稿をセットすると“ゲンコウガ　ツマリマシタ”の表示が出る 原稿をセットしたのに“ゲンコウガ　アリマセン”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が本機で読み取れるサイズや厚さではありません（厚すぎる／薄すぎる／小さすぎる）。他のコピー機で普通紙にコピーしてからファクスしてください。	P.79 P.91 P.28
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.79 P.28 P.91

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス（送信）	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、やり直してください。 ・原稿送り用ローラと原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。	P.79 P.91
	原稿が送られず、“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	原稿が送られず、“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	—
	何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	・相手先が話し中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・電話をかけてそのまま通話中に送信してみてください。 ・「ダイヤルトーンケンシュツ」を○×（しない）に設定してみてください。	P.29 P.50 P.53
	送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手先のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.51
	モーター音が大きくなることがある	・送信に時間がかかるときには、モーター音が若干大きくなることがありますが、故障ではありません。	P.51
	海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。電話をかけてそのまま通話中に送信した方が確実に送れます。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.50 P.53
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？　送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	P.28
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	P.51
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・［**画質**］を押し、画質モードを変えてもう一度送り直してください。	P.29、91 P.70 P.51
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面（ガラス面）を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	P.29、91
ファクス（受信）	“シバラク　オマチクダサイ”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	—
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”と表示が出た	・操作パネルを閉じてください。	P.80
	“インクフィルム　コウカン”と表示が出た	・インクフィルムがなくなっています（残っていても表示されるときは、インクフィルムのたるみを取って、操作パネルを閉じてください）。	P.88
	“キロクシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	・プリント中に記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。	P.23

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス（受信）	“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示が出た	・記録紙がつまっています。 ・記録ローラを清掃してください。	P.79 P.91
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、［**ストップ**］を押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・「チャクシンベル　カイスウ」が「8 回」以上に設定されている場合、相手先が電話をかけずにファクスを送ったときは受信できないことがあります。 ・「チャクシンモード」を「デンワセンヨウ」に設定しているときは自動受信できません。 ・応答メッセージやさかのぼり録音（SP-DA220/220W）、通話録音（SP-DA120/120W）、留守電の用件でメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	P.50 P.76 P.74 P.32
	受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・［**ストップ**］を押すと音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙をセットし直してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P.23 P.23、79 P.88
	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を 2 枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・「ジュシンシュクショウ」を「100%」に設定している場合は、記録紙が 2 枚に分かれ、2 枚目が白紙になることがあります。	P.56
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P.70 P.29
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	P.29 P.94
	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	・A4 長を超える原稿を受信した場合、記録紙が 2 枚以上に分割されます。このとき、記録紙が 1 枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。 記録紙は常に多めにセットしておいてください。	—
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は、記録紙カセット使用時は 20 枚まで、記録紙サポーター使用時は 5 枚までです。 ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、ゴム板を清掃してください。	P.23 P.91

	こんなときは	内容	参照ページ
ファクス（受信）	記録紙が一度に複数枚送られる	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットまたは記録紙サポーターに残っている記録紙を全て取りだし、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわのある記録紙、折れている記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・ゴム板を清掃してください。	P.23 P.91
	プリントした記録紙が汚れるとき	・記録ローラを清掃してください。	P.91
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・同じ回線にアナログモデムが接続されていませんか？　アナログモデムの電源を OFF にしてテストしてください。 ・応答メッセージやさかのぼり録音（SP-DA220/220W）、通話録音（SP-DA120/120W）、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ受信ができません。不要な用件などを消去してください。メモリ文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.16 P.32、55、56
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	・本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 － 不要な用件を消去する －「メモリ　ジュシン」を〇×（しない）に設定する － 不要なメモリ文書を消去する	 P.32 P.55 P.56
	海外からの受信ができない	・国によっては著しく回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。 無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	P.30
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	—
	ファクスかんたん受信ができない	・「カンタン　ジュシン」が〇×（する）に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などがありませんか？ ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の［**スタート／コピー**］を押してください。子機では［**内線**］を押したあとに［**6**］を押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。	P.54 P.34 P.50
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・「ジュシンシュクショウ」を「93%」、「90%」、「85%」に設定していませんか？	P.56
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	P.55
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・「ファクス情報サービスを使う」（P.57）をご覧ください。	—
	子機で受けたときのファクスの受信方法は？	・［**内線**］を押したあとに［**6**］を押してください。	P.50
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ文書があるときは、出力操作をするか、消去してください。	P.32、55、56
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバ」を〇×（しない）に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.60

	こんなときは	内容	参照ページ
留守番電話	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.49
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・「チャクシンベル　カイスウ」を「7 回」以下に設定してください。	P.76
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート　ソウサ」を○×（する）に設定してありますか？	P.30 P.59
	用件転送は 6 秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.61
	応答メッセージが流れない	・着信中に［**留守**］を押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 ・おやすみモードになっていませんか？	P.31 P.62
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・「キャッチホン」（P.70）をご覧ください。	—
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使用できません。	P.72
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	—
	NTT 東日本または NTT 西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.76
	ナンバー･ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親機に近づけてみてください。 ・子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出ていませんか？ ・着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。	P.17 P.65、66
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	—
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・「IP 電話機能付き ADSL モデムに接続したときの注意」（P.15）をご覧ください。	—
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本機とパソコンを離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。 回線切替器により本機とパソコンを分離してください。	P.17 P.16
その他	“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されるが、原稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.79
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は「文字入力のしかた」（P.104）に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	—
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P.21 P.19
	引越しなどで電話番号が変更になったときは？	・回線種別の設定が合っているか確認してください。 ・回線付加サービスに加入している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 ・親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。	P.22 P.25 P.52
	操作を間違えた	親機は［**ストップ**］を、子機は［**切**］を押し、操作や設定をキャンセルします。	—

お手入れのしかた

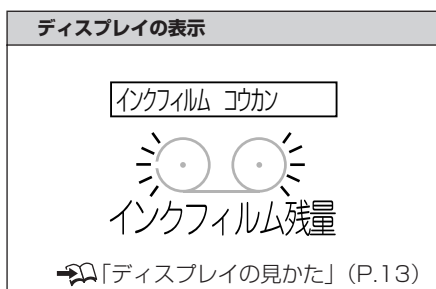
インクフィルムを交換する

インクフィルムがなくなるとディスプレイに次のメッセージが表示されます。また、「インクフィルム残量」の表示を見るとおよその残量がわかります。メッセージに応じてインクフィルムを交換してください。

ディスプレイの表示

インクフィルム　コウカン

インクフィルム残量

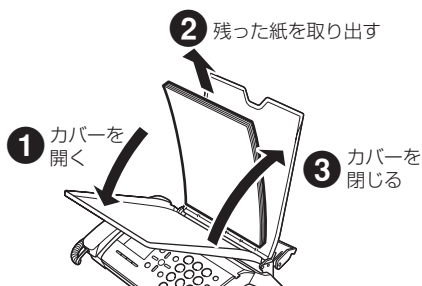
「ディスプレイの見かた」（P.13）

プリントできる枚数（インクフィルム1本、記録紙サイズA4の場合）
テスト用インクフィルム（付属）：約20枚
別売りインクフィルム（30m）：約95枚

交換用インクフィルム（型名）：SP-FA530

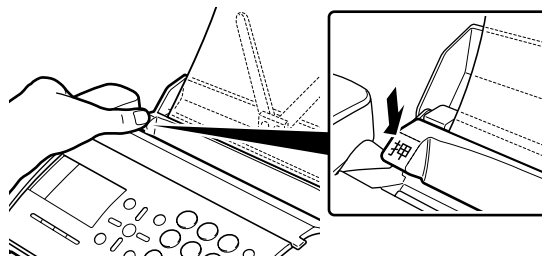
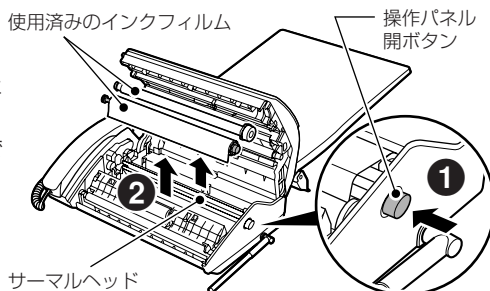
- 当社製のインクフィルム以外はお使いになれません。
- 次のインクフィルムは当社の製品ですが本機にはお使いになれません。
  ・SIF-A4040　・SIF-A4030T　・SP-FA430
- 指定のインクフィルムをお使いにならないと、きれいな印字ができないことがあります。また、故障の原因になることがあります。
- インクフィルムがない状態で操作パネルを閉じると、「パチッ」という音がする場合があります。これは内部のギヤのかみ合いの音です。インクフィルムがないまま操作パネルの開閉を続けますと、故障の原因となることがあります。

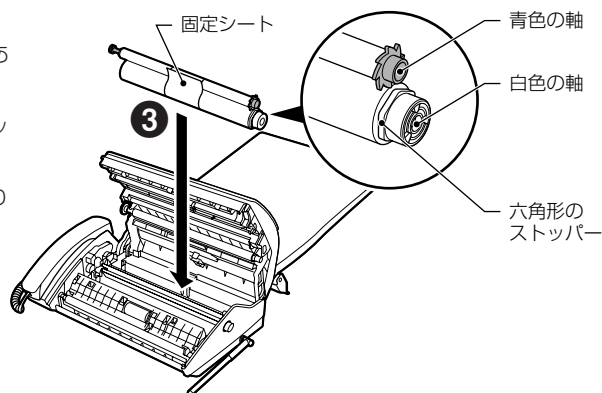
- 操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
- 作業中は指などをはさまないように注意してください。

■記録紙カセットを使用している場合

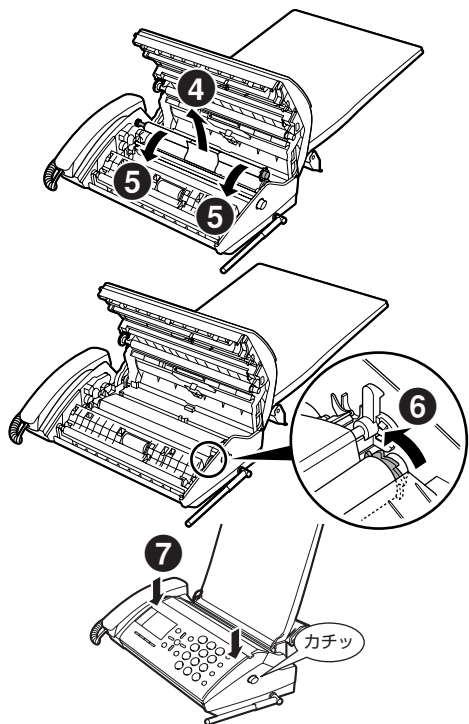
1 記録紙カセットに残った紙を取り出す
1. 記録紙カバーを開き、手前にたおす
2. 残った紙を取り出す
3. 記録紙カバーを閉じる

■記録紙サポーターを使用している場合

(DA220/220Wのみ)

1 記録紙サポーターに残った紙を取り出す
1. 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
2. 記録紙セットレバーから手を離す

2 インクフィルムを交換する
1. 操作パネル開ボタンを押し、図のように操作パネルを開く
   ・確実にいっぱいまで開いてください。
2. 使用済みのインクフィルム（巻き取られたインクフィルムとカラになった白色の棒の２本）を取り出す
   ・サーマルヘッドの両端にある金属部分には手を触れないでください。

⚠危険
サーマルヘッドやその周辺には手を触れないでください。高温でやけどすることがあります。

❸ 新しいインクフィルムを入れる
・固定シートをつけたまま図のように本機の奥にある溝に入れます。
・白色の軸のロールを下側にして、六角形のストッパーがある方を右側にします。
・六角形のストッパーが、本機の取付部にしっかりとはまっていることを確かめてください。

❹ インクフィルムの固定シートをはがす
・接着された部分をはがし、図に示す矢印の方向に抜き取ります。

❺ 青色の軸をセットする
・青色の軸を持ってインクフィルムを少し引き出し、そのまま青色の軸を本機の手前にある溝にセットします。

❻ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみをとる

❼ 操作パネルをゆっくり閉じる
・図のように左右の端を上の方から、カチッと音がするまで押さえます。
・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

3 インクフィルムの残量表示をリセットする

❶ 図に示すメッセージが表示されたら、ダイヤルボタンの［**1**］を押す
・「1：ハイ」を選ばないとインクフィルム残量が正しく表示されません。

❶ インクフィルムヲ コウカンシタ?
1:ハイ 2:イイエ

❷ 図に示すメッセージが表示されたら、ダイヤルボタンの［**1**］を押す
・リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。

❷ フィルムザンリョウ リセット?
1:リセット 2:チュウシ

4 記録紙を入れる

「記録紙のセット」（P.23）

❗新しいインクフィルムを取り付けたときは、インクフィルム残量をリセットします（手順3）。リセットしないとインクフィルム残量が正しく表示されません。使用中のフィルムを入れ直したときは、リセットしなければもとの残量を表示できます。
❗インクフィルムは、廃棄するときを除いて分解しないでください。
❗巻き戻したインクフィルムはお使いにならないでください。きれいに印字できなかったり故障の原因になることがあります。

■使用済みのインクフィルムの処分

・使用済みのインクフィルムにはプリントした内容が残ります。内容を見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
・お住まいの地域で定められたゴミの分別ルールに従って処分してください。
フィルム：ポリエステル　　芯：ポリスチレン、ポリアセタール、ABS樹脂

子機の電池パックを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、電池パックを交換してください。

■ 電池パックを安全にお使いいただくためのご注意

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
  また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

■ 電池パックのリサイクルについて

Ni-MH

電池パックにはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池パックや、本機を廃棄する際に取り出した電池パックは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へお持ちください。

- 「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。

・ 本機または電池パックをお買い上げいただいた販売店

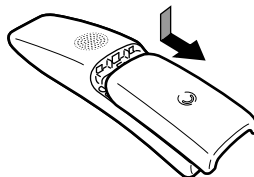
・「（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局（（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/（平成18年8月現在）をご参照ください）

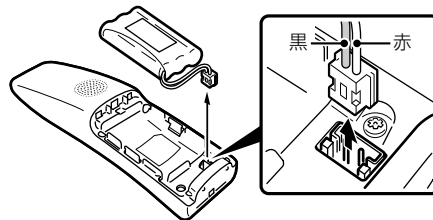
交換用の電池パックは本機を購入された販売店にお問い合わせください。

ニッケル水素電池　3.6V　600mAh
型名：　SP-D3

- 必ず指定の電池パックをお使いください。
- 電池パックを外すと消えてしまう情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。「■電池パックを外したあとの設定／情報」（本ページ下）
- 電池パックのコードは強く引っ張らないでください。また電池カバーを取り付けるときに、はさまないでください。
- 電池パックが入っていない子機を充電器に置かないでください。

1 電池カバーをあける

図のように電池カバーを下に押しながら手前に引きます。

2 古い電池パックを取り出す

コネクタをまっすぐ上に引き抜きます。

3 新しい電池パックを取り付け、電池カバーを取り付ける

「子機を組み立てる」（P.19）

- 新しい電池パックは充電されていません。子機に入れたあと充電してください。「子機を充電する」（P.20）

■ 電池パックを外したあとの設定／情報

消えてしまう設定／情報	参照先
・着信データ※ ・リダイヤルに記録された電話番号 ・時計	P.68 P.36 P.20

消えない設定／情報	参照先
・電話帳に登録した内容 ・各種設定	P.40 ―

※ナンバー・ディスプレイをご利用のとき

日ごろのお手入れ

本機を良好な状態でお使いになるためには、定期的に外装や内部をお掃除してください。

❗お手入れの前には電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くと消えてしまう設定や情報があります。必要な情報はあらかじめメモをとるなど記録しておいてください。「停電したとき」（P.81）

親機／子機の外装のお掃除

うすめた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞ってから、本機の表面の汚れを拭き取ってください。そのあとは、乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きをするときは布を固く絞ってから拭いてください。

❗ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機内部のお掃除（原稿送り用ローラ／記録ローラ／ゴム板／原稿読み取り部）

こんなときにお掃除してください	お掃除するローラ	お掃除の周期
紙づまりがひんぱんにおこる	原稿送り用ローラ	月に1度ぐらい
記録紙がうまく送れない	記録ローラ、ゴム板	
プリントした記録紙が汚れる	記録ローラ	記録紙が汚れるとき
コピーや相手先の記録紙に汚れが写る	原稿読み取り部（ガラス面、白色のローラ）	月に1度ぐらい

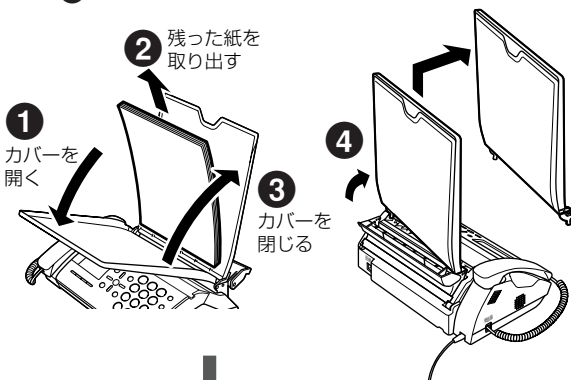
❗操作パネルを開くときは確実にいっぱいまで開いてください。途中で止めるとパネルの重さで閉まってしまうことがあります。
❗作業中は指などをはさまないように注意してください。

1 電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードを本機から抜く

「親機の接続」（P.21）

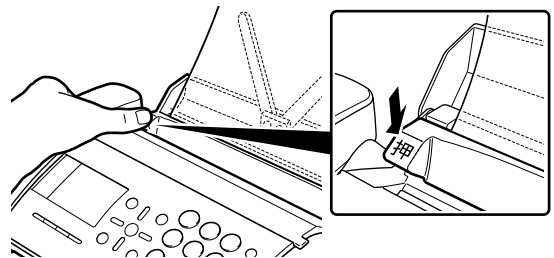
■記録紙カセットを使用している場合

2 記録紙カセットに残った紙を取り出し、記録紙カセットを取り外す

1. 記録紙カバーを開き、手前にたおす
2. 残った紙を取り出す
3. 記録紙カバーを閉じる
4. 記録紙カセットを取り外す

■記録紙サポーターを使用している場合

（DA220/220Wのみ）

2 記録紙サポーターに残った紙を取り出す

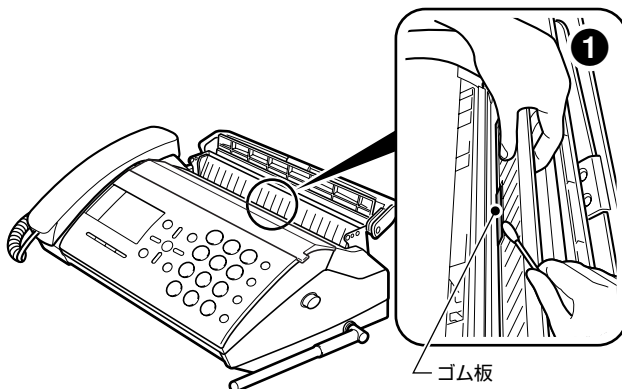
1. 記録紙セットレバーを押しながら、残った紙を取り出す
2. 記録紙セットレバーから手を離す

手順3へ

3 ゴム板を掃除する

片方だけ水に浸した綿棒を用意してください。

❶ ゴム板が付いている部分を図のように指で開く

❷ ゴム板部分にできた隙間に綿棒を指し込んで、ゴム板を拭く

・綿棒の水に浸した方でゴム板の汚れを拭き取ったあと、乾いた側で水分を拭き取ります。

4 ローラを掃除する

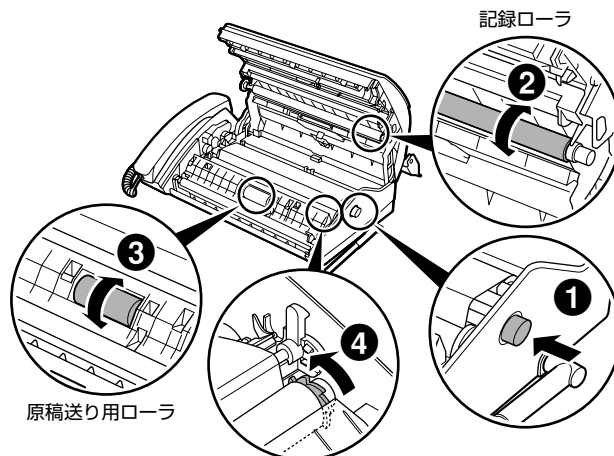
水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。

❶ 操作パネル開ボタンを押して図のように操作パネルを開く

・確実にいっぱいまで開いてください。

❷ 記録ローラを拭く

❸ 原稿送り用ローラを拭く

❹ 青色のギヤを回してインクフィルムのたるみを取る

5 原稿読み取り部を掃除する

❶ 白色のローラの右端にある緑色のレバーを図に示す矢印の方向に起こす

・原稿読み取り部の右側が白色のローラから少し離れます。

❷ 原稿読み取り部の左端を固定している白色の突起を左手の指で押し下げる

・原稿読み取り面と白色のローラの掃除が終わるまで押し下げたままにします。

❸ 原稿読み取り面（ガラス面）を柔らかい布で拭く

・白色のローラとの間にできた隙間に布を差し込んで拭きます。

❹ 白色のローラを拭く

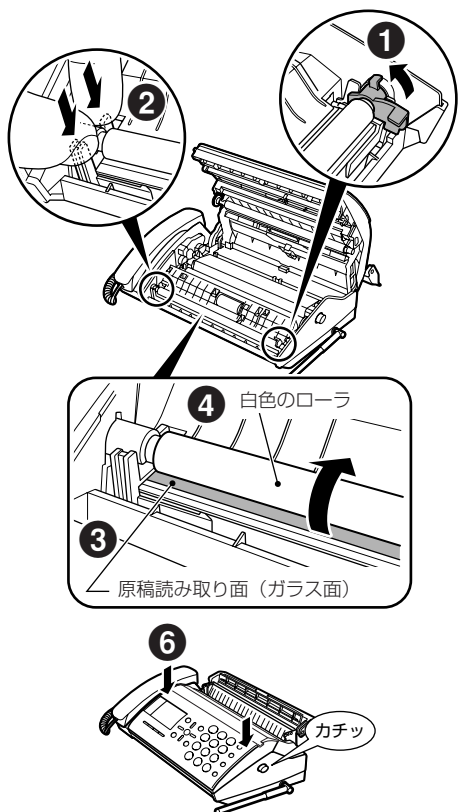
・水に浸した布を固くしぼり、ローラを図に示す矢印の方向に回しながら拭きます。

・矢印と反対の方向に回すと、緑色のレバーが倒れてしまうことがあります。

❺ 白色の突起から左手を離し、緑色のレバーをもとに戻す（倒す）

❻ 操作パネルを閉じる

・左右の端を上の方から､「カチッ」と音がするまで押さえます。

・手前の端を押さえると閉まりにくいことがあります。

6 記録紙カセットを設置、または記録紙サポーターを起こし、回線や電源をもと通りに接続する

「親機の接続」（P.21）

7 記録紙を入れる

「記録紙のセット」（P.23）

インクフィルム／記録紙の保管

品質の劣化したインクフィルムや記録紙をお使いになると、きれいにプリントできなかったり故障の原因になったりします。インクフィルムや記録紙の保管には次のことをお守りください。

■ インクフィルム（本機にセットする前のもの）

・直射日光があたる場所を避け、袋に入れて気温が0 ～ 35℃の場所に保管してください。

・結露があるインクフィルムは乾燥させてからお使いください。

■ 記録紙

・湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。

・本機の記録紙カセットに長期間セットしたままにしないでください。

お客様ご相談窓口のご案内

ご不明な点・故障と思われるときのご相談

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

修理・保守のご相談

最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

消耗品	型名	仕様
インクフィルム	SP-FA530	A4サイズ　30m
電池パック	SP-D3	コードレス子機用　ニッケル水素電池
記録紙	FAX A4×100	FUJIFILM ファクス用普通紙（熱転写用紙）　A4×100枚 ※一般のコピー用紙もお使いいただけます。ただし、本機を安定した性能でお使いいただくために、次のような記録紙をお使いください。 オーバーコートなど表面処理をしていない普通紙（コピー用紙） **サイズ：**A4 **厚さ　：**0.08mm ～ 0.1mm （500枚包でおよそ40mm ～ 50mmの厚さ） （この取扱説明書の本ページの厚さが約0.08mmです）

オプション品	型名	仕様
増設コードレス電話機セット	SP-ZD50	子機増設用　カナ表示

子機を増設するとき

増設する子機は、本機をご購入いただいた販売店でお求めください。

お求めの際は、必ず子機の型名をご指定ください。「消耗品・オプション品のご案内」（P.94）

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で3台です。「はじめに」（P.2）
- 増設子機を使える状態にするには、増設の操作をしていただく必要があります。詳しくは増設子機に同梱されている説明書をご確認ください。

本機の登録／設定を出荷時に戻したいとき

本機を廃棄、譲渡などで手放す際は、本機に登録、記録されたお客様の大事な情報を、全て消去することをおすすめします。
登録、記録された情報を全て消去し、ご購入時の設定に戻すには次の操作をします。

- 通話中は操作できません。

親機

1 ［**メニュー**］［**7**］を順に押す
シュッカジ゛ ヘ モド゛ス

2 ［**セット**］を押す
1:モド゛ス 2:チュウシ

3 ダイヤルボタンの［**1**］を押す
シバ゛ラク オマチクダ゛サイ

▷**中止するときは：**［**2**］を押す。

4 この後、本機を使わないときは右のメッセージが表示されてから電源プラグを抜く
シュッカジ゛ ヘ モド゛シマシタ

- 電源に接続したまましばらくすると、本機が再起動されます。このとき、次のメッセージが表示されます。
「サイキドウ　シマス」

子機

1 ［**メニュー**］を押す
メニュー
⇕デ゛ンワチョウトウロク

▷**［通話］が点灯しているときは：**
［**切**］を押してから［**メニュー**］を押す。

2 ［**上**］または［**下**］で「シュッカジヘモドス」を選び［**メニュー**］を押す
メニュー
⇕シュッカジ゛ヘモド゛ス

ジ゛ッコウ シマスカ?
⇕ハイ

3 ［**メニュー**］を押す
ジ゛ッコウ シマシタ

▷**中止するときは：**「イイエ」を選び、［**メニュー**］を押す。

主な仕様

ファクス

項目	仕様
原稿サイズ	最大：210（幅）× 600（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙 ・A4 サイズ（210 × 297mm） ・厚さ 0.08 ～ 0.1mm
記憶容量※1	SP-DA220/220W：約 85 枚 SP-DA120/120W：約 25 枚 ※ 1 枚：A4 サイズ（700 文字／ページ）
有効読取幅	208mm
有効記録幅	205mm
走査方法	CIS による原稿移動型平面走査
走査線密度	主走査 8 ドット /mm 副走査 小さい：　7.7 line/mm 普　通：3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM ※2
通信速度	9600/7200/4800/2400bps
電送時間※3	G3：約 27 秒　ECM：約 12 秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・一般電話回線 ・モデムダイヤルイン回線 ・NCC 回線
自動受信	有（電話／ファクス自動切替機能内蔵）
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待機時　：約 1.9W 送信時　：約 15W（標準的原稿） 受信時　：約 16W（標準的原稿） コピー時：約 25W（標準的原稿） 最大時　：約 100W
直流抵抗	107 Ω（20mA）
外形寸法	約297（幅）×199（奥行）×104（高さ）mm 約297（幅）×206（奥行）×200（高さ）mm（記録紙サポーター使用時） 約297（幅）×226（奥行）×358（高さ）mm（記録紙カセット使用時）
質量	SP-DA120/SP-DA120W： 約2.7kg（記録紙、インクフィルムを除く） SP-DA220/SP-DA220W： 約2.8kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：　5 ～ 35℃ 湿度：35 ～ 85%
推奨環境	温度：15 ～ 30℃ 湿度：35 ～ 70%

コードレス電話

項目	仕様
使用可能距離	見通し距離：約100m
使用周波数帯	2.4～2.4835GHz 帯

〈子機〉

項目	仕様
電源	DC 3.6V（専用ニッケル水素電池使用）
電池充電時間	約10時間
電池持続時間	連続待受時：約300時間※4 連続通話時：約6時間
外形寸法	約44（幅）×34（奥行）×159（高さ）mm
質量	約130g（電池パックを含む）

〈子機充電器〉

項目	仕様
外形寸法	約87（幅）×87（奥行）×43（高さ）mm
質量	約130g（電源コード含む）
消費電力	約1.0W（充電時）／約0.3W（充電器のみ）
電源	AC 100V 50/60Hz

❗充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

項目	仕様
録音方式	DPS方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	SP-DA220/220W：約 45 分 SP-DA120/120W：約 15 分 ※標準音声で録音した場合
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：２　固定：１

※１：記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、さかのぼり録音、通話録音、メモリ代行受信などを含む全ての記憶容量となります。

※２：メモリ受信を「しない」に設定（P.55）している場合の受信は、G3 モードになります。

※３：電送時間は、A4 版 700 文字程度の原稿を画質モード「フツウ」(8 × 3.85line/mm)、通信速度 9600bps で送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線の状態により変化します。

※４：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。また、親機の電源がオフのときも短くなります。

❗本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

❗本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（P.94）。

親機

:受話器をとる :受話器を戻す ○ :ボタンを押す

電話	
電話をかける	→ 相手先番号 → 通話 →
オンフックでかける	オンフック/キャッチ ○ → 相手先番号 → → 通話 →
リダイヤルする	→ → 相手先を選ぶ → → 通話 →
電話を受ける	着信音（ベル） → → 通話 →
保留にする	通話中 → 保留/内線 ○ →
電話に戻る	保留中 → → 通話
子機で話す	保留中 → → 通話 → 子機で通話 → または 切
転送 子機へ	外線と通話中 → 保留/内線 ○ → 内線番号* → 転送を伝える → ・子機が出ないときは［保留／内線］ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 → → 通話 → 親機と通話 → 外線と通話
内線通話	保留/内線 ○ → 内線番号* → → 子機と通話 →
〈子機〉	親機からの呼出 → → 通話 → 親機と通話 → または 切
電話帳でかける	電話帳 → → 相手先を選ぶ → → → 通話 →
さかのぼり録音 (DA220/220Wのみ)	
通話中に操作する	外線と通話中 → さかのぼり録音 ○ →
電話を切ってから操作する	→ 保持時間内に さかのぼり録音 ○
録音内容を聞く	再生 → 再生 → ストップ ・外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

電話		
通話録音 (DA120/120Wのみ)		外線と通話中 → 通話録音 ○ → 録音 → 録音を終了する ストップ
録音内容を聞く		再生 → 再生 → ストップ ・外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。
迷惑電話お断り		着信があった通話のとき → お断り →
音量調整	ベル音量	待受中 → 音量 切→1～6→ステップアップ
	モニタスピーカ音量	オンフック/キャッチ ○ → 音量 切→小→中→大
	受話音量	通話中 → 音量 小→中→大
トーン信号を送る		電話をかける → ＊トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用		外線と通話中 → 「プルルー・プッブッ」 → オンフック/キャッチ ○ → 次の人と通話 → オンフック/キャッチ ○ → 最初の人と通話
チャイルドロックの一時解除		# 2秒以上押す

ファクス／コピー	
画質モード	画質 →フツウ→チイサイ→シャシン
送信	原稿セット → 相手先電話番号 → スタート/コピー
電話帳で送信	原稿セット → 電話帳 → → 相手先を選ぶ → スタート/コピー
手動送信	原稿セット → → 相手先番号 → 通話 → 相手先が受信操作 → スタート/コピー →

*内線番号　・親機…………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4、
・全ての子機を一斉に呼ぶとき…［＊］
（子機を2台以上使用している場合）
**SP-DA120W/SP-DA220Wでは内線3も付属の子機となります。

ファクス／コピー		
手動受信	かんたん受信「する」	着信音（ベル）→ 受話器をとる → 「ポーーポー」→「ファクシミリを受信します…」→ 受話器を置く
	かんたん受信「しない」	着信音（ベル）→ 受話器をとる → 「ポーポーポー」→ スタート/コピー → 受話器を置く
	通話してから受信する	通話中 → 相手先が送信操作 →「ポーポーポー」→ スタート/コピー → 受話器を置く
コピー		原稿セット → スタート/コピー →（複数部をコピーするときは部数を指定）→ スタート/コピー

留守番		
留守の設定／解除	留守	
用件の再生	再生 → 再生	※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 → 消去	
おやすみモードの設定／解除	おやすみ	

子 機

：充電器からとる　：充電器に戻す　◯：ボタンを押す

クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると［通話］ボタンを押さずに相手先と話すことができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、［通話］ボタンを押して相手先と話すことができます。

（本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。）

電話	
電話をかける	子機をとる → 通話 → 相手先番号 → 通話 → 子機を戻す または 切
オンフックでかける	オンフック → 相手先番号 → オンフック → 通話 → 子機を戻す または 切
リダイヤルする	子機をとる → ＞ → 相手先を選ぶ → 通話 → 通話 → 子機を戻す または 切
電話を受ける	着信音（ベル）→ 子機をとる → 通話 → 通話 → 子機を戻す または 切

電話	
保留にする	通話中 → 保留 消去 → 子機を戻す または 切
電話に戻る	保留中 → 子機をとる → 通話 → 通話
親機で話す	保留中 → 受話器をとる → 親機で通話
迷惑電話お断り	着信があった通話のとき → メニュー →「オコトワリ」を選ぶ → メニュー → 子機を戻す または 切
転送 親機へ	外線と通話中 → 内線 → 1ア → 転送を伝える → 子機を戻す または 切 ・親機が出ないときは［内線］ボタンを押し、外線通話に戻ります。
〈親機〉	子機からの呼出 → 受話器をとる → 子機と通話 → 外線と通話
他の子機へ	外線と通話中 → 内線 → 内線番号* → 転送を伝える → 子機を戻す または 切 ・子機が出ないときは［内線］ボタンを押し、外線通話に戻ります。
〈子機〉	子機からの呼出 → 子機をとる → 通話 → 転送を受ける → 外線と通話
内線通話 親機へ	子機をとる → 内線 → 1ア → 親機と通話 → 子機を戻す または 切
〈親機〉	子機からの呼出 → 受話器をとる → 子機と通話 → 受話器を置く
他の子機へ	子機をとる → 内線 → 内線番号* → 子機と通話 → 子機を戻す または 切
〈子機〉	子機からの呼出 → 子機をとる → 通話 → 子機と通話 → 子機を戻す または 切

*内線番号
・親機…………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4、
・全ての子機を一斉に呼ぶとき…［＊］
（子機を2台以上使用している場合）

**SP-DA120W/SP-DA220Wでは内線3も付属の子機となります。

外出先からの操作（外線リモート）

本機に電話をかける ➡ [#] [パスワード] [#] ➡ 操作コード（下記）

（プッシュ回線）

操作コード

・巻き戻し…	[#] [1] [#]	・留守設定解除…	[#] [9] [#]
・用件再生…	[#] [2] [#]	・用件消去………	[#] [8] [#]
・早送り…	[#] [3] [#]	・用件転送設定…	[#] [6] [1] [#]
・留守設定…	[#] [7] [#]	・用件転送解除…	[#] [6] [2] [#]

機能設定／登録早見表

〈手順〉

メインメニュー選択		機能メニュー選択		設定／登録
メニュー →	ダイヤルボタンまたは メニュー →	セット →	メニュー →	操作

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録（　　　はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
1 ショキ　セッテイ	ヒヅケ・ジコク	年月日と時刻の設定	P.22
	カイセンシュベツ	PB 、DP、ジドウカイセンセンタク	P.22
	ヒョウジ　ノウド	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	P.74
	ジブンノ　バンゴウ	自分の電話番号（最大 20 桁）を登録する	P.52
	ハッシンモト　キロク	○（プリントする）、×（プリントしない）	P.53
	ハッシンモト　トウロク	自分の名前（最大 40 文字）を登録する	P.52
	キータッチトーン	○（鳴らす）、×（鳴らさない）	P.75
	チャイルドロック	○（ロックする）、×（ロックしない）	P.75
2 デンワ　キノウ	ベルオン・メロディ	ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A ～ C）	P.76
	チャクシンモード	デンワ／ファクス　キリカエ、ファクスセンヨウ、デンワセンヨウ	P.74
	チャクシンベル　カイスウ	0 ～ 19 回 、6 回	P.76
	ヨビダシベル　カイスウ	1 ～ 19 回 、10 回	P.77
	ケータイ　オトクダイヤル	○(利用する)、×(利用しない)、事業者識別番号(最大 10 桁)の登録	P.47
	IP デンワ　カイジョ	○(解除する)、×(解除しない)、IP 電話解除番号(最大 16 桁)の登録	P.47
	ホリュウ　メロディ	ホリュウ　メロディ 1、ホリュウ　メロディ 2	P.77
	デンワチョウ　テンソウ	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	P.38
	WIFI BAND	セッテイ 1、セッテイ 2 、セッテイ 3、セッテイ 4	P.74
3 ファクス・コピー キノウ	ヨミトリ　ノウド	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	P.51
	カンタン　ジュシン	○（する）、×（しない）	P.54
	カイガイ　ツウシン	○（する）、×（しない）	P.53
	フタツ　レポート	○（出力する）、×（出力しない）	P.54
	ジュシンシュクショウ	85%、90%、93%、100%	P.56
	ブンカツ　キロク	○（する）、×（しない）	P.56
	メモリ　ジュシン	○（する）、×（しない）	P.55
	ダイヤルトーンケンシュツ	○（する）、×（しない）	P.53
	メモリブンショ　ショウキョ	メモリ受信したファクスを消去する	P.56
4 ルスバンデンワ キノウ	ゼンヨウケン　ショウキョ	全ての用件を消去する	P.58
	オウトウメッセージ　ロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ 1・応答メッセージ 2）	P.58
	オウトウメッセージ　ショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ 1・応答メッセージ 2）	P.58
	トールセイバ	○（する）、×（しない）	P.60
	リモート　ソウサ	○（リモート操作する）、×（リモート操作しない） リモートパスワード（4 桁）の登録	P.59
	ヨウケン　テンソウ	○（用件転送する）、×（用件転送しない）、用件転送先電話番号（最大 40 桁）の登録、転送回数の設定（1 ～ 10 回）	P.61
	オヤスミモード　タイマキリカエ	オヤスミ　オン：○（する）、×（しない）、おやすみ開始時刻の設定 オヤスミ　オフ：○（する）、×（しない）、おやすみ終了時刻の設定	P.62
	サカノボリ　ロクオン DA220/220Wのみ	○(する)、×(しない)、保持時間の設定(0 フン、5 フン、ムセイゲン)	P.44

メインメニュー		機能メニュー		設定／登録（□はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
⑤ナ	ナンバー ディスプレイ キノウ	ナンバーディスプレイ		○（利用する）、×（利用しない）	P.63
		以下はナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定した場合のみ			
		チャクシンナリワケ　シテイ ＆プライベートコール　シテイ		着信鳴り分け指定（シテイナシ、ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C））、プライベートコール指定（全て、内線番号 *）	P.65
		トクテイ　コール		○（する）、×（しない） 電話帳設定 ：電話帳全て、電話帳個別選択 公衆・圏外 ：なし、公衆電話、表示圏外、公衆＆圏外	P.65
		バンゴウリクエスト		○（する）、×（しない）	P.66
		チャクシンキョヒ		○（する）、×（しない）	P.67
			コウシュウデンワ	○（拒否する）、×（拒否しない）	P.67
			ヒョウジケンガイ	○（拒否する）、×（拒否しない）	P.67
		チャクシンキョヒ　リスト ヘンシュウ		着信拒否リスト（最大 20 件）の登録、確認	P.66
		オウトウメッセージ　センタク		○（選択する）、×（選択しない）	P.64
		キャッチホン		○（利用する）、×（利用しない）	P.70
		ダイヤルイン		○（利用する）、×（利用しない）	P.72
				以下はダイヤルインを「利用する」に設定した場合のみ	
				ファクス専用（○（登録する）、×（登録しない））、 ファクスと親機の番号（4 桁）の登録、 共通鳴動（○（する）、×（しない））、 子機用番号（4 桁）の登録	P.72
⑥ハ	リスト　プリント	デンワ　リスト　プリント		親機の電話番号リストをプリントする	P.77
		チャクシンデータ　プリント		親機に記録された着信データをプリントする	P.77
		システム　リスト　プリント		各種設定内容をプリントする	P.77
		ツウシンカンリ　レポート		通信管理レポートをプリントする	P.77
⑦マ	シュッカジ　ヘ　モドス			記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去する	P.95

* 内線番号　・親機…………内線 1
　　　　　　・付属の子機…内線 2
　　　　　　・増設子機……1 台目：内線 3**、2 台目：内線 4
**SP-DA120W/SP-DA220W では内線 3 も付属の子機となります。

索　引

ア　行

カ　行

サ　行

タ　行

ナ　行

ハ　行

マ　行

ヤ　行

ラ　行

ワ　行

文字入力のしかた

文字はダイヤルボタンで入力します。電話帳の相手先の名前など文字を入力する操作のときに、ダイヤルボタンを押すと文字や記号が表示されます。

ダイヤルボタンには50音の各行の最初の文字が記されています。同じボタンを何度か押すとその行の文字が順番に表示されます。さらに押すと数字や英字、記号が表示されます。表示された文字がそのまま入力されます。

ダイヤルボタン		押す度にこの順で表示されます→													
親機	**子機**	**カタカナ**					**数字**	**英字／小文字（カタカナ）／記号**							
1ア	1ア	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ			
2カ	2カ	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C					
3サ	3サ	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F					
4タ	4タ	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ				
5ナ	5ナ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L					
6ハ	6ハ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O					
7マ	7マ	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S				
8ヤ	8ヤ	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ャ	ュ	ョ				
9ラ	9ラ	ラ	リ	ル	レ	ロ	9	W	X	Y	Z				
0ワ	0ワ	ワ	ヲ	ン	0	ー	.	(スペース)	(	)	・	’	＊	#	&
#	#	゛	゜												

「スズキ」を入力するときの手順を以下に示します。

1 3サ（**サ行**）を3回押す

表示：ス

サ行の 3 番目の文字（ス）が表示されます。

2 ［**右**］を押す

表示：ス_

・同じ行の文字を続けて入力する場合は、カーソルを右に移動してからダイヤルボタンを押します。
・［**左**］または［**右**］で、カーソル（入力位置）を移動できます。

3 3サ（**サ行**）を3回押す

表示：スス

文字消去の方法

親機：［**消去**］を押す。
・カーソルのある1文字が消えます。

子機：［**保留 消去**］を押す。
・カーソルのある1文字が消えます。
・全ての文字を消去するには、続けて2秒以上押します。

4 # を1回押す

表示：スズ_

#の1番目の文字（゛）が表示されます。
・濁点（"）、半濁点（゜）も一文字になります。

5 2カ（**カ行**）を2回押す

表示：スズキ

カ行の 2 番目の文字（キ）が表示されます。

保　証　書

＜保証規定＞

1．取扱説明書、ラベル等の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、故障箇所を無料修理させていただきます。
2．修理は、直接持込みいただくか、当社指定の宅配業者が製品と本保証書を無料で引き取りに伺う「引取りサービス」をご利用ください。また、出張修理をご希望される場合は、有料となることがありますので、事前にご確認ください。
3．ご転居やご贈答品等でお買い上げの販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社相談窓口にご相談ください。
4．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負わないものとします。
5．海外で使用された場合、あるいは不当な改造については、当社は一切の責任を負わないものとします。
6．次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
　①本保証書のご提示がない場合。
　②本保証書に保証期間、お客様名および販売店名の記入のない場合、または書き替えられた場合。
　③お客様による輸送､移動時の落下､衝撃等、お客様の取扱が適正でないために生じた故障および損害。
　④お客様による使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
　⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、ゴキブリ等の虫の侵入などの外部要因に起因する故障および損害。
　⑥本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
　⑦正常なご使用でも自然消耗、摩耗、劣化した場合。
7．ご不明な点や保証期間経過後の修理などについては、当社相談窓口にお問い合わせください。
8．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.

修理メモ（修理箇所、年月日、修理者名等）

※修理メモは、修理伝票等で代替する場合があります。

※この保証書による保証のほかに、販売者は使用者に対して瑕疵担保責任などの法律上の責任を負っており、本保証書の発行は、こうした販売店の責任を軽減または免除するものではありません。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

このマークはNECの定める環境配慮基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/
（平成18年8月現在）

一般消費者様　製品廃棄方法について	事業者様　製品廃棄方法について
この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。 詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。	この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。 詳細はこちらのページ http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html（平成18年8月現在）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本取扱説明書が掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」をご覧ください。

お使いの製品に関するお問い合わせは

AM1-000339-002
2006年11 第2版

NECアクセステクニカ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は、70%再生紙を使用しています。